

令和4年度

# 教育委員会点検・評価報告書

令和5年10月

登別市教育委員会

# 目 次

I 教育委員会の点検・評価について	2
II 評価の手法	2
1 点検・評価の対象	
2 実施の流れ	
III 評価結果	3
1 教育委員会の活動状況の概要報告	3
2 重点施策の評価	8
3 重点施策の評定結果	6 1
IV 点検・評価に関する学識経験者の意見等	6 4
V 評価のまとめ	6 6
VI 参考資料	
1 令和4年度教育行政執行方針（6 7）	
2 教育に関する具体的な計画とその点検・評価の流れ（7 1）	

## I 教育委員会の点検・評価について

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下「地教行法」という。）の改定により、毎年教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに公表することとされ、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関する学識経験を有する方の知見の活用を図ることとされた。

登別市教育委員会では、効率的な教育行政の推進を図るとともに、市民への説明責任を果たしていくため、地教行法に基づき、令和4年度の教育委員会の活動状況の報告と基本方針及び重点項目の主な施策（19項目）について点検・評価を行い、教育に関する学識経験を有する方々の意見を付して「教育委員会点検・評価報告書」としてまとめた。

本報告書を公表することにより、市民の皆様は教育に関する事務の管理及び評価の状況について説明するとともに、今後の施策・事業の展開に活用し、より一層効果的な教育行政の推進を図ることとする。

## II 評価の手法

### 1 点検・評価の対象

登別市教育委員会の点検・評価は、教育委員会の活動状況の他、令和4年度の教育行政執行方針に位置づけられた施策・事業を点検・評価の対象として実施した。

### 2 実施の流れ

#### (1) 教育委員会の活動状況の概要報告

教育委員会の1年間の様々な活動について

#### (2) 令和4年度の重点施策の管理及び執行状況の評価

- ・教育行政執行方針に位置づけられている重点施策を評価した。

点検内容	当該年度の教育行政執行方針の重点内容
取組状況	当該年度内に実施した取組の概要
評価	取組の実施状況に対する評価
今後の方向性	今後の取組を進める上での課題や対応の方向

#### (3) 教育行政執行方針における重点施策の評定結果

- ・4段階（A～D）で、評価を実施した。
  - A：達成しているもの
  - B：おおむね達成しているもの
  - C：達成見込みであるが一部課題があるもの
  - D：達成に向け困難な課題があるもの

#### (4) 点検・評価に関する学識経験者の意見等

- ・点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する行政外部の方からの意見、助言をいただいた（令和5年9月28日）。

氏名	所属等
引地政征氏	日本工学院北海道専門学校 副校長
大屋敷俊裕氏	登別市退職校長会 会長
吉野幸広氏	元登別市郷土資料館 館長

### Ⅲ 評価結果

#### 1 教育委員会の活動状況の概要報告

##### (1) 教育委員会の活動状況

教育委員会の会議については、毎月一回、開催した。令和4年度は、必要に応じて開催する臨時会議を開催しなかった。

会議においては、登別市教育委員会教育長に対する事務委任規則に従って、教育長委任事務以外の事務における議案の提案理由や説明が行われた後、各委員からの質問・意見などの審議を経て、いずれも可決、了承された。また、事務局からの情報提供や各種課題、事業の進捗状況、その他事項の報告について、意見交換を行った。

##### (2) 令和4年度 登別市教育委員会「定例会議」の概要

第1回 会議	4/28 16:30	<p>情報提供</p> <p>(1) 令和4年度 学校施設等の工事計画について</p> <p>(2) 令和4年4月10日時点登別市立学校児童生徒数・学級数調書について</p> <p>(3) 令和4年度 登別市立学校主要行事等予定一覧について</p> <p>(4) 令和5年度文教施策に関する要望事項(案)について</p> <p>意見交換から(委員の意見・感想)</p> <p>○幼保小連携の実務者会議の中で子どもたちの様子などを伝えているが、4月の段階でどのように活かされているのか。</p> <p>○35人学級の運営について、どんな配慮がなされているのか。</p> <p>(事務局) 学校全体では、幼保小の引き継ぎを元に、1年生の担任だけではなく、全教職員の中で共有を図っており、一人一人教職員が手をかけ、目をかけられる体制としている。</p> <p>35人学級は教頭先生や教務主任が入るなど、複数体制によりで運営している。</p>
第2回 会議	5/26 16:30	<p>議案第1号 登別市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について</p> <p>議案第2号 登別市社会教育委員の委嘱について</p> <p>議案第3号 登別市スポーツ推進委員の委嘱について</p> <p>議案第4号 登別市立図書館協議会委員の任命について</p> <p>情報提供</p> <p>(1) 携帯電話やスマートフォン等のアンケート調査分析結果について</p> <p>(2) 令和3年度巡回パトロール活動及び該当指導等状況について</p> <p>(3) 令和3年度不審者等出没状況調書について</p> <p>意見交換から(委員の意見・感想)</p> <p>○新聞報道で2020年から2021年で比較した時に、スマホやゲームの時間が1時間増えたというデータが出ていたが、登別市の傾向はどうか。</p> <p>(事務局) 登別市全体としても、小中ともに長くなっている。コロナも一つの要因とは推測するが、スマホ調査状況から所持率も増え複数の要因があると捉えている。</p> <p>○パトロールや不審者に関する情報など、家庭への周知の仕方はどうしているか。</p> <p>(事務局) 市の一斉メール配信システムで登録されている方に配信している。内容によっては、児童生徒にも学校からお伝えいただいている。犯罪に繋がるようなものであれば、早めに伝えなければいけないというところを懸念している。</p> <p>○スマホの依存症について、今の子育て世代の親は、親自体がゲームだとかスマホに依存している状況にある。子どもを教育しても親が依存しているので、イタチごっ</p>

		<p>こになってしまうため、別に考える必要があると思う。</p> <p>(事務局)本市では「携帯・スマホ3つのルール」を作り、校長会や市P連を巻き込んで、親にも一緒に考えてもらった。それを周知・徹底して来たが、学校に掲示したり、毎年同じ時期に保護者へ配布するだけでは、なかなか難しいと考えている。</p>
第3回 会議	6/30 16:30	<p>報告第1号 令和4年第2回市議会定例会一般質問について</p> <p>報告第2号 登別市議会定例会提出議案に関する意見に係る臨時代理について</p> <p>報告第3号 教職員人事の内申に係る臨時代理の報告について</p> <p>議案第5号 令和3年度教育行政事務の管理執行状況の点検・評価に係る学識経験者の活用及び選任について</p> <p>情報提供</p> <p>(1) 公立高等学校配置計画案(令和5~7年度)について</p> <p>(2) 国立アイヌ民族博物館特別展について</p> <p>意見交換から(委員の意見・感想)</p> <p>○隣町の不登校が増えたという新聞報道があったが、登別市の状況はどうか。</p> <p>(事務局)全国や全道の平均と比べ、低く抑えられている。</p>
第4回 会議	7/28 16:30	<p>議案第6号 登別市文化財審議会委員の委嘱について</p> <p>報告第4号 教育委員会事務局職員の人事異動に係る臨時代理について</p> <p>情報提供</p> <p>(1)「こども110番スタディちゃんの家」駆け込み訓練の実施について</p>
第5回 会議	9/1 16:30	<p>情報提供</p> <p>(1) 令和4年度外国語指導助手の配置状況について</p> <p>(2) 令和4年度全国学力・学習状況調査の分析結果について</p> <p>(3) 市民スポーツ・健康フェスティバルについて</p> <p>(4) 郷土資料館特別展「上武やす子と刺繍」について</p> <p>意見交換から(委員の意見・感想)</p> <p>○全国学力学習状況調査を見ると、それぞれ努力されて、成績は良くなってきていると感じる。学校に行くのが楽しいという項目が下がっているので、コロナの状況を差し引いても、工夫が必要なのかなという感じをもった。</p> <p>○人の役に立つ人間になりたいというところが、小中ともに、全国よりも下回っているので、機会があれば、その辺も探索していただきたい。</p> <p>(事務局)1つだけの設問ということではなくて、それ以外の設問との関連性を見ていきたい。</p>
第6回 会議	9/29 16:30	<p>報告第5号 令和4年第3回登別市議会定例会一般質問について</p> <p>報告第6号 教職員人事の内申に係る臨時代理の報告について</p> <p>報告第7号 登別市教育委員会委員の任命について</p> <p>報告第8号 登別市教育委員会教育長の任命について</p> <p>情報提供</p> <p>(1) 令和4年度登別市「鬼っ子フォーラム」の開催について</p> <p>(2) 登別市におけるスポーツ・文化部活動改革(市立中学校部活動の地域移行)の方向性について</p> <p>(3) 一人芝居「神々の謡」の上演について</p> <p>意見交換から(委員の意見・感想)</p> <p>○部活動の地域移行という言葉が出てきているが、現在は指導要領に則って、教育活</p>

		<p>動の一環として進めてきている。小学校はクラブ活動以外は、完全に地域の活動になっているが、中学校の部活動は、学校の教育活動の一環として、実施したところから、この先どのような形になるのか。</p> <p>(事務局) 小学生年代の少年団と同じような状態になっていくと思いますが、今、実施している部活動へ指導員が参加する方法や生徒に来ていただく方法の他、指導員の確保の問題があるので、どのような手法が良いかは、学校の部活動の顧問や校長先生方と協議をしながら、よりよい方向に進めていきたいと考えている。</p>
第7回 会議	10/27 15:00	<p>議案第7号 令和3年度教育行政執行事務の管理執行状況の点検・評価報告の作成について</p> <p>情報提供</p> <p>(1) 令和4年度外国語指導助手の着任について</p> <p>意見交換から(委員の意見・感想)</p> <p>○例年実施していた授業参観の今年度の開催はどうなるのか。</p> <p>(事務局) なかなかコロナの状況が収まらないため、校長会と協議し、3年連続地域公開は中止とした。土曜授業は実施している。</p> <p>○コロナの状況がありなかなか学校に行くことが出来ないで、実際の活動状況がなかなか見ることができない。その辺、情報を発信してくれるような方法を模索していただけるとありがたい。</p> <p>(事務局) 各学校でも工夫して授業参観できないか模索をしている。例えば ZOOM で公開授業を見れるようにしたり、YouTubeで配信したりとか、学校と様々な方法を検討しながら情報共有し、知り得る限り、委員の皆様にお知らせしたい。</p>
第8回 会議	11/24 16:30	<p>議案第8号 登別市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について</p> <p>議案第9号 登別市立学校学校医等表彰について</p> <p>議案第10号 登別市立図書館条例施行規則の一部改正について</p> <p>情報提供</p> <p>(1) 令和4年度文化芸術による子供育成推進事業(巡回公演事業)の実施について</p> <p>(2) 市民会館大ホールステージ上ぶどう棚鉄骨台座のコンクリート剥離について</p>
第9回 会議	12/22 16:30	<p>報告第9号 令和4年第4回登別市議会定例会一般質問について</p> <p>報告第10号 登別市議会定例会提出議案に関する意見に係る臨時代理について</p> <p>議案第11号 令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査市町村結果掲載について</p> <p>情報提供</p> <p>(1) 令和5年度教育行政執行方針(案)概要について</p> <p>(2) 令和5年度の学校給食費について</p> <p>(3) 令和5年登別市二十歳のつどいについて</p>
第10回 会議	1/26 16:30	<p>議案第12号 令和5年度教育行政執行方針について</p> <p>情報提供</p> <p>(1) 登別市教育委員会デジタルフェローの就任について</p> <p>(2) 登別市における学校部活動の地域移行に向けた取組について</p>
第11回 会議	2/16 16:30	<p>報告第11号 登別市議会定例会提出議案に関する意見に係る臨時代理について</p> <p>議案第13号 登別市指定文化財の指定について</p> <p>議案第14号 登別市文化財審議会委員の委嘱について</p> <p>情報提供</p>

		<p>(1) 令和5年度登別市教育行政執行方針について</p> <p>(2) 市内小中学校の令和4年度卒業式及び令和5年度入学式の日程について</p> <p>(3) 令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について</p> <p>(4) 北海道明日中等教育学校 市内小学校受検状況について</p> <p>(5) 令和4年度小・中学生の読書感想文コンクールについて</p>
第12回 会議	3/23 15:00	<p>報告第12号 令和5年第1回登別市議会定例会一般質問について</p> <p>報告第13号 市議会定例会提出議案に関する意見に係る臨時代理について</p> <p>報告第14号 教職員人事の内申に係る臨時代理について</p> <p>議案第15号 登別市立図書館条例施行規則の一部改正について</p> <p>報告第15号 教育委員会事務局職員の人事異動に係る臨時代理について</p> <p>報告第16号 教育委員会事務局職員の人事異動に係る臨時代理について</p> <p>情報提供</p> <p>(1) 登別市立小中学校「土曜授業」令和4年度実績・令和5年度計画について</p> <p>(2) 令和4年度コミュニティスクール（学校運営協議会）の実施状況について</p> <p>(3) 【幌別小学校・幌別東小学校】統合後の環境整備等に関する方針の策定について</p> <p>(4) 令和4年度 進路状況について</p> <p>(5) 郷土資料館特別展「はじめまして！」について</p> <p>(6) 令和4年度 図書館要覧について</p> <p>意見交換から(委員の意見・感想)</p> <p>○土曜授業について、開始から年数もたち、色々工夫されていることは理解しているが、コロナ禍の中で、どのような取組が行われているのか、気になっていた。始めた時の主旨にもう少し立ち返って、授業という言葉に捉われるのではなく、もっと自由な取組があってもいいのではないかと。安易に授業を選んでないかという印象を持っている。改めてあり方を考えてもらう必要があると思う。</p> <p>○違法薬物の売買について、ネット上の取引が4割以上で、購入者も低年齢化してきているという記事があり、SNSの使い方や薬物の使用防止教室を単体でやるのではなく、それらを一連でテーマにすることも必要かと思う。闇バイトもSNSがきっかけになるようで、SNSに触れる中で目に入る可能性はあるので、その辺も含めて対策する必要があるのではないかとと思う。</p> <p>○コロナ禍が終息し、人と人との距離が近くなっていくので、その中で、運動会や発表会をはじめ、保護者と学校の関係を少しずつ戻していければと思っている。英語教育について、ALTにも積極的にお手伝いいただき、義務教育の間に、英語に触れる時間を長くする取組も必要かと思う。</p> <p>○幼児教育側からの情報が学校側に伝わっていないケースがあったので、密に連携をとっていくことが大切だと感じている。不登校で苦しんでいる子供達の様子を見て、何かできることはないかと日々考える。アフタースクールという場があるが、そこには来ても、幼稚園には来たがらないケースがある。そうしたケースを見ていると、家庭と学校に加えて、もうひとつの場所があれば、子どもたちの気持ちを救ってあげられるのではないかと。教育委員会としても、そうした子どもたちの居場所づくりに繋がる取組ができればと思っている。</p> <p>(事務局)色々貴重なご意見をいただくことができた。今後の委員会で検討させていただきます、少しでも充実させていければと考える。</p>

(3) 調査活動の実施状況

教育委員会委員による小中学校の教育活動の視察や研修活動の概要

①公開研究会等の視察

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、実施なし。

②教育ふれあいウィーク

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、実施なし。

③各種会議・研修会の参加

・北海道都市教育長会春季定期総会（富良野市）4/26、秋季定期総会（登別市）11/16

・全国都市教育長協議会（山口県山口市）

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、参加を見合わせた。

・胆振管内教育長会議 4/12, 12/27

・北海道都市教育委員会連絡協議会定期総会（滝川市）8/23, 8/24 武田教育長

・胆振管内教育委員会委員研修会（室蘭市）2/17 安宅教育長・赤井委員

④入学式出席

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、参加を見合わせた。

⑤運動会参観

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、参加を見合わせた。

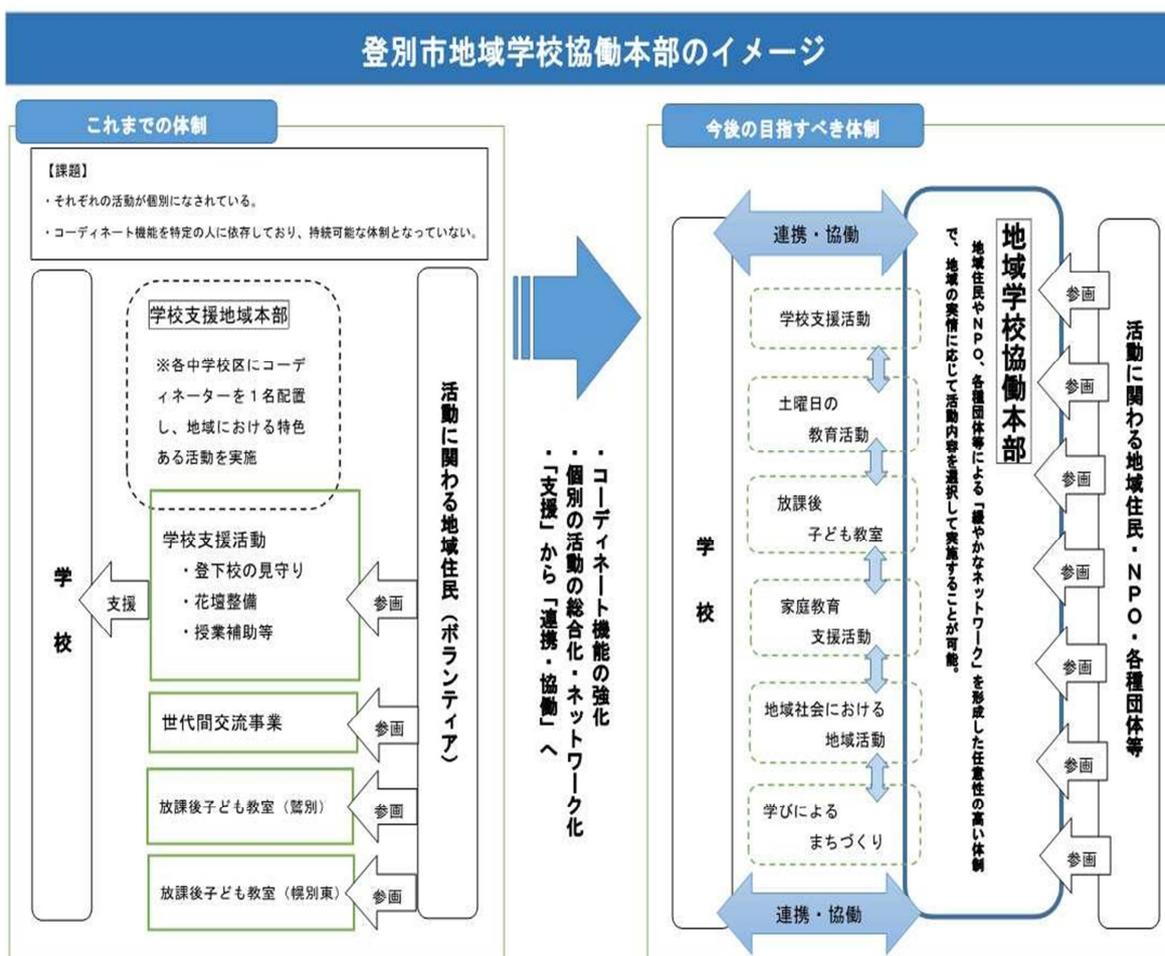
⑥卒業証書授与式出席

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、参加を見合わせた。

## 2 重点施策の評価

項目	1 地域とともにある学校づくり
点検内容	<p>本市においては、これまでも地域と学校が連携・協働して、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支え、地域づくりを進める地域学校協働活動に対し、様々な学校支援を進めてきた。</p> <p>今後も、地域学校協働本部を通して、幅広い地域の方々の参画により、創意ある体験活動や交流活動が展開される環境づくりに取り組んでいく。</p>

### 取組状況



#### ○学校コーディネーターの配置

【推進計画】令和元年度末までに5名 令和2年度末までに3名 令和3年度末までに5名（計13名）  
→ 地域の実情に応じて段階的に整備し、令和4年度末で11校は配置済みとなっている。

#### ○学校運営協議会の話し合いの内容

	月	日	主な議題（学校経営方針以外）	次年度の方向性
幌別小	7	14	学力向上・基本的な生活習慣・豊かな心の育成 いじめアンケート結果	学校統合委員会からの情報提供を受け、熟議を進める
	11	5	全国学力・学習状況調査結果分析 いじめ防止の取組	
	2	21	学校評価集計結果 学校関係者評価	

登別小	7	21	学力向上プラン 働き方改革 いじめ防止基本方針		幼保小中連携を一層充実させ、家庭と地域と一体となり取組を推進する
	10	7	前期学校評価 全国学力・学習状況調査結果		
	2	1	【幼小中合同】睡眠時間等から見る学習・生活習慣上の実態と課題	書面	
	3	2	後期学校評価 全国体力・運動能力・運動習慣等調査結果		
若草小	5	26	若草地域交流祭り等の実施予定と今後の展望		感染症対策を踏まえた、地域交流祭りの改善充実に努め、地域の活性化を目指す
	7	14	1学期の教育活動 今後の予定	書面	
	9	22	鷺中校区小中一貫教育 1学期の経営の反省 2学期の経営の重点		
	12	15	鷺中校区小中一貫教育 2学期の経営の反省 3学期の経営の重点		
	3	7	学校評価結果 今年度の反省 次年度の教育活動		
鷺別小	6	29	新型コロナ感染防止対策 鷺別子ども獅子舞保存会の現状		地域と家庭、学校が一体となった教育活動を進める
	12	8	学校運営の進捗状況 学校評価の実施		
	2	28	学校関係者評価		
幌東小	5	30	校区の子どもの教育の在り方 今年度の取組 いじめ対応	中止	統合に向けて委員会設立の準備を進めていく
	2	21	学校評価結果と改善策 統合に向けての準備委員会の設立	書面	
幌西小	7	25	役員選出 1学期の様子と今後の教育活動	書面	小中連携事業への協力(CSとの一体化を目指して)
	11	26	令和4年度の年間行事予定 子どもの総合的な学力形成	書面	
	2	15	【小中合同】令和4年度を振り返って 学校評価結果(共通項目)	書面	
富岸小	5	30	令和4年度の教育活動について いじめ問題への取組について		「できることをできるだけ」のスタンスで地域・保護者の目で活動支援
	第2回		【小中合同】運営事項中間報告 学校生活の様子	中止	
	11	5	運営事項中間報告 学校運営協議会全体計画 学校評価委員会の選定		
	3	7	学校運営協議会会務報告 学校評価について		
青葉小	第1回	第3回		中止	家庭と学校の情報等の共有を考える取組
	第2回		【小中合同】運営事項中間報告 学校生活の様子	中止	
	2	17	学校評価について 次年度の継続意向について		
幌別中	8	25	本年度の教育活動について 生徒の様子 第1回いじめアンケート結果		合同運営委員会を実施し小中連携体制の充実を図る。
	11	24	2学期の教育活動 前期学校評価分析 第2回いじめアンケート結果		
	2	21	【校区合同】3学期の教育活動 意見交流		
西陵中	6	29	生徒の生活や学習状況について いじめ・不登校の状況について		生徒の姿を見ていただき個別に懇談できる機会をもつ
	11	16	全国学力・学習状況調査、全国体力・運動能力・運動習慣等調査結果		
	2	15	【小中合同】令和4年度を振り返って 学校評価結果(共通項目)	書面	
鷺別中	6	14	今年度の活動について 第1回地域いじめ防止対策委員会結果		小中一貫教育と学校運営協議会の一体化した取組の推進
	8	8	【地域連携事業】大津波避難訓練(9月10日土曜授業)について		
	12	16	小中一貫教育の取組について 第2回地域いじめ防止対策委員会結果		
	2	22	学校評価報告 ピンクシャツデーの取組 第3回地域いじめ防止対策委員会結果		
登別中	第1回	第3回		中止	3つの支援機能 ①学習②文化伝承 ③安全環境を継続
	12	16	登別中学校グランドデザイン 登別市の学校適正配置の説明		
	3	16	後期学校評価結果 学校適正配置のまとめ		
緑陽中	6	8	委員の確認・活動計画 いじめ・不登校の状況 今後の教育活動		地域・家庭と学校が共通した指導を行えるようにする
	第2回		【小中合同】運営事項中間報告 学校生活の様子	中止	
	11	9	いじめ・不登校の状況 GIGAスクール体験 部活動の地域移行		
	2	28	今年度の教育活動 後期学校評価アンケートについて		

○各校の土曜授業取組状況

	月	日	1校時	2校時	3校時	授業	行事	振替	備考
幌別中	4	16							中止
	5	28	授業	授業	授業	2	1	夏季休業	2年環境学習(2h) 3年地域清掃(3h)
	8	27	防災学習	避難訓練	避難訓練	1	2	冬季休業	防災学習(1h) 小中合同避難訓練雨天中止のため単独開催
	11	5	授業	授業(全校道徳)	授業(全校道徳)	3	0	冬季休業	全校道徳※命を大切に作る教室
幌別小	4	23	授業	授業	授業	3	0	夏季休業	3校時に校外班会議を予定していたが延期
	7	9	オンライン学習①	授業	授業	3	0	夏季休業	3校時終了後、「児童引き渡し訓練」を実施
	8	27	授業	授業	授業	1	0	冬季休業	2・3校時に津波避難訓練(幌中・幌東小との合同開催予定)を予定したが雨天のため中止
幌東小	11	5	オンライン学習②	授業	携帯スマホ安全教室	2	0	冬季休業	携帯スマホ教室(低・中・高)
	4	23	授業	授業	授業	3	0	夏季休業	参観日、学校説明、PTA総会
	8	27	授業	避難訓練	避難訓練	1	2	夏季休業	CS事業 地域合同避難訓練(幌中と合同)
	10	22		学習発表会		3	0	冬季休業	教科
	12	3	授業	「東っ子タイム」発表会		3	0	冬季休業	参観日・懇談会、総合的な学習の時間・生活科の発表会
西陵中	7	9	①②③教科	①②③教科	道徳(全校)	3	0	夏季休業	3校時全校道徳(いじめ)
	9	3	①②③教科	①②③教科	①②③教科	3	0	夏季休業	(連町合同避難訓練)
	11	5	①②③教科	①②③教科	道徳	3	0	冬季休業	新型コロナウイルス蔓延防止のため学校閉鎖
	12	10	①②③教科	①②③教科	①②③教科	3	0	冬季休業	オンライン授業・祈願餅の配布
幌西小	7	2	授業	授業	授業	4	0	夏季休業	
	10	1	授業	授業	授業	3	0	夏季休業	
	11	5	授業	授業	授業	4	0	冬季休業	ふれあいDAY(中止) タブレット接続訓練
	11	26	授業	授業	授業	3	0	冬季休業	学校運営協議会委員による授業参観(中止) マンドリン演奏会
鷺別中	7	16	教科	教科	1年道徳、2年教科、3年進路説明会	3	0	夏季休業	3年進路説明会
	9	10	学校祭部門活動	学校祭部門活動	避難訓練	2	1	夏季休業	学校祭部門活動、避難訓練(津波)
	10	22	教科	教科	1・2年教科 3年合唱集	3	0	冬季休業	教科、合同音楽
	12	17	教科	教科	学活	3	0	冬季休業	教科、3校時学活、新入生保護者説明会
鷺別小	4	23	授業	授業	授業	3	0	夏季休業	
	7	9	授業	授業	授業	3	0	夏季休業	運動能力テスト(屋内) 学習端末でオンライン朝の会後、登校
	10	22	授業	授業	授業	3	0	冬季休業	1日防災学校
若草小	12	3	授業	授業	授業	3	0	冬季休業	保護者参観 道徳の日
	7	9	授業	避難訓練事前指導	津波避難訓練	1	2	夏季休業	3時間対応 避難訓練
	9	3	総合(リモート練習)	総合(リモート練習)	引き渡し訓練	2	2	夏季休業	4時間対応 4校時～引き渡し訓練
	10	22	授業 国語	授業 算数	生活科・総合	4	0	冬季休業	ふれあいDAYなし 4時間対応 4h授業(発展・補充)
	12	10	標準学力検査(国語)	標準学力検査(算数)	授業	3	0	冬季休業	標準学力検査 3時間対応
登別中	4	9	授業	授業	PTA総会	2	0	夏季休業	携帯スマホ安全教室・PTA総会・懇談会
	9	3	授業 道徳	避難訓練	避難訓練	1	2	冬季休業	いじめ撲滅集会、地域との合同避難訓練
	10	22	授業	授業 道徳	授業 道徳	3	0	冬季休業	生き方、人との関わり方、心のもち方を考える(命、認知症、薬物乱用防止)
	2	25	授業	授業	授業	3	0	冬季休業	総合まとめ発表会・熊舞引継式
登別小	4	16	授業	授業	授業	3	0	夏季休業	PTA総会、学校運営説明会、学級懇談 →児童は登校、各種参観等はオンラインで実施
	7	16	授業	行事1.2.3年OMB観覧 行事4.5.6年OMB出演	行事1.2.3年OMB観覧 行事4.5.6年OMB出演	1	2	夏季休業	わくわく広場(OMB参加4.5.6年 観覧1.2.3年) →雨天によりわくわく広場のOMB参加は、体育館で実施
	8	27	授業・2年収穫祭	授業・2年収穫祭 行事4.5.6年(OMB)	授業・2年収穫祭 行事4.5.6年(OMB)	3(1)	0(2)	冬季休業	4.5.6年OMB地獄祭り参加 2年ふるさと農園収穫祭 →地獄祭り参加取りやめのため、OMBはグラウンドで実施
	11	5	授業	スマホ安全教室(低)道徳(高)	スマホ安全教室(高)道徳(低)	3	0	冬季休業	ふれあいWEEK(地域参観日) 全学級道徳科公開 携帯スマホ安全教室 →保護者参観は携帯スマホ教室のみ
緑陽中	4	16	授業	授業	—	2	1	夏季休業	保護者公開中止(PTA総会・学年懇談会は中止)
	9	10	避難訓練	避難訓練	避難訓練	2	1	冬季休業	小中一貫 地区避難訓練
	10	22	授業	授業	防止教室	3	0	冬季休業	ふれあい参観Day中止 SNSにかかわる防止教室
	1	28	授業	授業	授業	2	1	年度末休	学級・学年懇談会中止 修学旅行説明会中止
青葉小	5	7	授業	授業	授業	3	0	夏季休業	引渡訓練
	9	10	避難訓練(地震津波)	授業	授業	3	0	冬季休業	地域連携避難訓練(青葉地区連合町内会)三校同時日
	10	15	授業	授業	授業	3	0	冬季休業	
	11	5	授業	授業	授業	3	0	冬季休業	「ふれあいデー」は、コロナウイルスの感染拡大のため中止
富岸小	5	7	授業	授業	オンライン授業試行	4	0	夏季休業	4時間対応 クロム接続
	9	10	津波対策避難訓練	津波対策避難訓練	学級活動 お迎え下校	1	3	夏季休業	小中一貫・地域連携避難訓練 お迎え下校訓練
	11	5	授業	授業・メディアトラブル講座	授業・メディアトラブル講座	4	0	冬季休業	地域一斉参観日
	12	3	長縄跳び記録会・授業	長縄跳び記録会・授業	学級活動	3.5	0.5	冬季休業	縄跳び記録会(各学年1時間) 4時間対応

○ふれあいウィーク(10/22～11/5の2週間)

11/1「北海道教育の日」に合わせて、平成16年から「ふれあいデー」として市民に市内の小中学校を公開してきたが、その取組をさらに発展させ、平成23年からは「ふれあいウィーク」として、その時期に学校公開のほかに講演会や懇談会など各種事業の取組を進めている。学校や地域、保護者が、登別の教育のあり方について考えを深め合う期間として位置付ける。

- ・学校公開（保護者や地域の方、市民への公開） 10/22 か 11/5 のどちらかで実施する予定だったが、コロナ感染状況を考慮し、地域公開は中止とした。※授業や活動内容は「土曜授業取組状況」を参照。
- ・中学校吹奏楽部定期演奏会 10/30 緑陽中 11/6 登別中 10/23 幌別中
- ・特別支援学級作品展 10/21～27 市民会館1F廊下

○鬼っ子フォーラム(11/15)

教職員や保護者、地域住民が登別の教育の在り方を考える「教育フォーラム(令和元年度まで隔年実施)」を開催していたが、令和3年度から市内小中学校・高等学校・中等教育学校の児童会・生徒会の代表が一堂に会し、いのちの重さや人としての生き方、人との関わりについて考えを深める「鬼っ子フォーラム」を開催することとした。

<p><b>評価</b></p>	<p>コミュニティ・スクールを導入し9年が経過した。年に3回程度、学校運営協議会を開催することができたものの、小中合同あるいは幼保小合同での開催を控える中学校区もあった。地域学校協働本部事業は、令和4年度も新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、事業や活動の縮小・中止を余儀なくされた。</p> <p>各学校に一人配置する予定である学校コーディネーターの選出は、PTA役員経験者を中心に声掛けを行ったものの、令和4年度までの選出を完了することができなかった。様々な機会を捉えて、地域学校協働活動の目的やコーディネーター配置の趣旨を説明する必要がある。</p>
<p><b>今後の方向性</b></p>	<p>本市においては、近隣の自治体に先駆けて、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進していく。</p> <p>令和5年度は、市内全小中学校に学校運営協議会を設置して10年の節目となるので、これまでの成果と課題を検証し、今後の方向性を明らかにする一年にするとともに、地域の皆様のお力添えをいただきながら、地域と学校の連携・協働体制の構築を推進し、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えていく。</p>

<p><b>項目</b></p>	<p><b>2 小中一貫教育 幼保小連携</b></p>
<p><b>点検内容</b></p>	<p>幼保小中連携については、円滑な学校間連携や接続を実現するために、相互参観や教職員・子どもの交流を継続するとともに、スタートカリキュラムの改善など、発達段階や学びの連続性を踏まえた活動の充実に努める。</p> <p>また、「登別市小中一貫教育基本方針」に基づき、小中学校9年間を見通した学習指導や生徒指導の充実に努めるとともに、「中1ギャップ問題未然防止事業」を推進し、実践校の成果を市内小中学校に還元していく。</p>

**取組状況**

○令和4年度の幼稚園・保育所と小・中学校の連携事業

事 案	発 信 元	内 容
不審者情報・凶悪事件	社教G・学校	・警察・胆振教育局からの情報：市、学校区の対応
行事案内	学校	・年間行事予定・学芸会・運動会・卒入学式案内

学校だより	学校	・月1回作成 1部配付
教育ふれあいウィーク案内	学教G	・事業一覧(掲示用) コロナ禍のため中止
教育委員会広報	学教G	・教育行政全般の活動報告

○日常の情報交流、指導者・子どもの交流について

幼保・小・中 連携協議会	幼保小中	6/20 登別市幼保・小・中連携協議会(代表者会議) 出席:幼稚園代表・保育所代表・校長会代表・教育委員会 内容:令和4年度の取組と連携の在り方について
	幼保小	11/14 実務担当者会議 ～幼稚園教諭4名 保育士4名 各小学校教諭8名 子育てG2名 市教委6名 就学前、就学後の実態や課題について情報交流・意見交換を実施。 3/27・28 「幼・保・小」実務担当者会議(合同引き継ぎ会) 出席:白菊幼稚園4名 リリー文化幼稚園2名 コロボックルの森3名 カトリック幼稚園2名 室蘭の幼稚園他8園11名 市内保育所8名 市内小学校25名 個々における就学前の実態やアレルギー等配慮が必要な事柄、就学後 予想される課題について、情報や意見の交換を実施
1日体験入学	小学校	1～2月 新1年生と現1年生の交流を生活科の授業体験などを通して実施。 コロナ禍により、書面開催のみや保護者説明会・教材購入のみの学校 新1年生への説明・校内見学を行い交流活動は行わない学校などがあ った。
	幌別小	2/2 新1年生と現1・2年生の交流を生活科の授業体験などを通して実施 同日、保護者説明会と教材購入も実施
	登別小	2/3 次年度就学予定幼児を対象に実施、同日に保護者を対象とした学校 説明会・PTA説明会、教材販売を実施
	幌西小	2/2 1日入学 体育館にて保護者のみ説明会を実施 本校児童と新1年生の交流はなし。
	富岸小	2/7 1日入学
	若草小	12/3 新1年生1日入学・保護者説明会を実施
	登別中	1/17 小6年生対象で体験授業を実施
	幌別中	1/31 新入生体験入学 教育活動等の説明、授業体験、部活動見学を実施
	西陵中	11/9 小6年生対象の体験入学を実施、午後から保護者向け説明会を実施
	緑陽中	11/21 新入生体験入学・保護者説明会を実施(概要説明、授業見学)
鷺別中	10/25・26 新入生体験入学Ⅰ 学校の概要説明、授業・部活動見学を実施 11/24・25 新入生体験入学Ⅱ 授業体験(理科・英語)を実施	
交流活動	西陵中校区	小中合同挨拶運動(朝、西陵中生徒会と幌西児童会)→中止 出前授業→中止 8/31・2/21 小中交流会(両校分掌代表教員による研究協議を2回実施) 年4回定期テスト前、小中同時に家庭学習強化週間設定
	幌西小	年間、授業参観や校内研修に合わせた相互の授業見学 →中止 10/20 登別明日生徒による英語学習サポート 11/7～8 登別明日生徒 インターンシップ受入(2名) 11/9 6年生西陵中学校1日体験入学

	鷺別中校区	8/29 中学校区教員合同研修（鷺別小学校授業を参観） 5/20, 7/28, 10/14, 1/19, 2/24 鷺別中学校区小中連携協議会
	鷺別中	10/27 鷺別中学校公開研
	鷺別小	10/25・11/25 鷺別中学校体験入学（6年生）
	若草小	2/17 3/8 リリー文化幼稚園児との交流（2回） 7/12 居住地校交流 9/8 室蘭東翔高校インターンシップ受入れ（～9日） 10/26・11/24 鷺別中学校体験入学（6年生）
	幌別中校区	5/30 校区内合同研修会（幌別小授業参観、グループ別協議）
	幌別中	11/21 登別明日中等教育学校2回生による職場訪問 11/28・29 登別明日中等教育学校4回生によるインターンシップ
	幌別小	3/13 音楽科教員による幌別小6年生対象合唱指導 10/29 カトリック幼稚園年長児と1年生の交流（ハロウィン）⇒中止 カトリック幼稚園の園児を招いて、1年生と交流。学習発表会の際のダンスの交流とプレゼント交換を行った。 11/10 本校職員カトリック幼稚園授業参観 11/25 カトリック幼稚園年長児と1年生の交流（秋のたからものランド） カトリック幼稚園の園児を招いて、生活科で準備してきた「秋のたからものランド」で楽しんでもらう交流を行った。
	幌東小	2/24 出前授業（社会科授業1時間～村上教諭 学校紹介～坂本校長、木村教諭 幌中から来校） 運動会総練習を幌別保育所の幼児が見学 10/22 学習発表会に東保育所幼児招待→中止
	登別中	7/14・15 登別小学校での職業体験
	登別小	10/14・15 登別中生徒の職業体験受け入れ 計8名 11月 コロボックル年長 1・2年生生活科に参加 →中止 2年生が生活科でおもちゃを作成しビデオレターで届ける形で実施
	緑陽中校区	2/27 緑陽中学校区三校交流会（分科会オンライン開催・授業交流中止）
	富岸小	2/27 緑陽中学校区三校交流会 11/21 緑陽中学校1日体験入学（6年生） 11/21 緑陽中学校1日体験入学（6年生）
	青葉小	1/30 出前授業（6年生）…中止
小中合同 避難訓練	幌別中地区	8/27 幌別小・幌別東小・幌別中合同避難訓練→雨天中止
	西陵中校区	7/30 登別市総合防災訓練を実施
	緑陽中校区	9/10 地区避難訓練（津波）
	鷺別中校区	9/10 鷺中・鷺小で避難訓練同日開催→日程調整上合同開催は中止
	登別中地区	登別小・コロボックルの森と避難訓練同日開催
家庭科 ～保育体験	鷺別中	3年生 鷺別保育所で保育体験→保育所と相談の上計画段階で中止
	登別中	10/25, 27 3年生 コロボックルの森 保育実習
	緑陽中	10/17～11/4 3年生 保育実習→中止
総合的な学習 の時間	登別中	職業体験 2年生 コロボックルの森・登別小他、校区内事業所→中止
	幌別中	1/20 2年生 日本工学院でのキャリア教育（コース別体験学習）
	西陵中	10/28 職業体験 2年生 市内各受入先にて体験 →中止（学年閉鎖）

	鷺別中  緑陽中	11/4 職場見学 → 中止 (学校閉鎖) 10/7 1年生 講師を招き、ふるさと (キャリアに関して) 講演会 10月 1年生 地域探索 (キャリアプランの作成を絡めて) 11/24, 29, 30 2年生 日本工学院体験授業 (職業体験学習に代わって) 12/12・15・16 日程を3クラスに分け、工学院を訪問 (4コースを体験) 企業等で行う一般的な職業体験 →中止
幼稚園・保育所視察	幌別小 幌西小 登別小 鷺別小 富岸小 登別中 鷺別中 緑陽中 幌別中 西陵中	11/10 本校職員カトリック幼稚園授業参観 白菊、カトリック、富士保育所との交流 →中止 コロポックルの森 入学式、発表会、参観日等に視察→中止 保育所参観時に視察 保育所発表会(鷺別・栄町)参観 →中止 3/15 リリー文化幼稚園訪問 保育実習や職業体験の時に合わせてコロポックルの森を視察 鷺別保育所園児に手作りおもちゃを贈呈→中止 (訪問中止のため) 保育体験の時に合わせて富岸子育て広場を視察→中止 東保育所の避難訓練場所として敷地内を提供 職業体験に合わせて市内幼稚園や保育所を視察→中止

○小中一貫した教育の推進

市内全中学校区で推進協議会の立ち上げ～めざす子ども像の検討、取組内容の検討、企画、実行。  
中学校区内で合同研修会開催～校区内の教職員で目的や課題の共有。具体的な取組内容の確認。  
全ての中学校区で、学校評価の項目の一部を統一し、成果と課題の共有化を図る。  
10月6日(木) 校長会教頭会合同研修会～各校の実践交流。

評価	<p>これまで、コロナ禍で交流活動が十分できなかったことを踏まえ、令和4年度は、各施設関係者が参集することやその場で各施設の考え方が共有できるような協議の場を設定することを意識してきた。実務者担当者会議において実施した「スタート・カリキュラム」を活用した協議では、小学校はカリキュラム改善に向けて幼稚園・保育所から示唆が得られるとともに、幼稚園・保育所は小学校で実際に使用されているカリキュラムを目の当たりにし、どんな指導が必要かを考えることができた大変好評であった。</p> <p>コロナ禍であったが、新入学児童が円滑に学校生活をスタートできるよう、幼稚園・保育所・小学校の担当者が一堂に会し、子どもたちの様子等について引継ぎを行った。</p>
今後の方向性	<p>幼保小中連携については、引き続き登別市幼保小中連携協議会や登別市幼保小実務担当者会議等を通じ、円滑な学校間連携や接続を実現するために、相互参観や教職員・子どもの交流を継続するとともに、スタートカリキュラムの改善など、発達段階や学びの連続性を踏まえた活動の充実に取り組んでいく。</p> <p>また、「中1ギャップ問題未然防止事業」を推進し、その成果を市内小中学校に還元するとともに、「登別市小中一貫教育基本方針」や各中学校区に設定する「目指す子ども像」に基づき、小中学校9年間を見通した学習指導や生徒指導のさらなる充実努めていく。</p>

<b>項目</b>	<b>3 確かな学力の向上 学校図書館</b>
<b>点検内容</b>	<p>確かな学力の向上については、各学校における検証と改善のサイクルに基づく学習上の課題について、登別市教育課程課題検討委員会で共有するとともに、学習指導要領が示す「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を促していく。</p> <p>また、学校図書館については、学校司書の活用により、環境整備や授業支援、読書支援を通して、機能の充実を図っていく。</p>

### 取組状況

○全国学力・学習状況調査（対象：市内小6年生・中3年生）

#### 【調査の概要】

本調査は、義務教育の機会均等と水準の維持向上の観点から、児童生徒の学力・学習状況を把握し、教育施策の成果と課題の検証により改善を図るとともに、学校での児童生徒への学習指導の充実や改善等に役立てること、加えて教育に関する継続的な検証改善サイクルの確立を目的として、全国の小学6年生と中学3年生を対象に平成19年度から継続実施されてきた。

昨年度は、国語と算数・数学と理科の3教科に関する調査と、生活習慣や学習習慣等についての質問紙調査が行われ、登別市では、小学校265名、中学校315名が参加した。

#### 【教科に関する調査】

- ・小学校では、国語で全道及び全国の平均正答率を上回っている。算数で全道の平均正答率とほぼ同等で、全国と比べると下回っている。理科で全道及び全国の平均正答率を上回っている。
- ・中学校では、国語で全道及び全国の平均正答率をやや下回っている。数学で全道の平均正答率を下回っている。理科で全道及び全国の平均正答率を下回っている。
- ・無解答率については、小学校で、3教科とも全道及全国と比べて低い設問が多い。中学校で、3教科とも全道及全国と比べて低い設問もあるが、特に記述式の設問における無回答率の高さがうかがえる。
- ・教科ごとの傾向は、次の通り。

#### [国語]

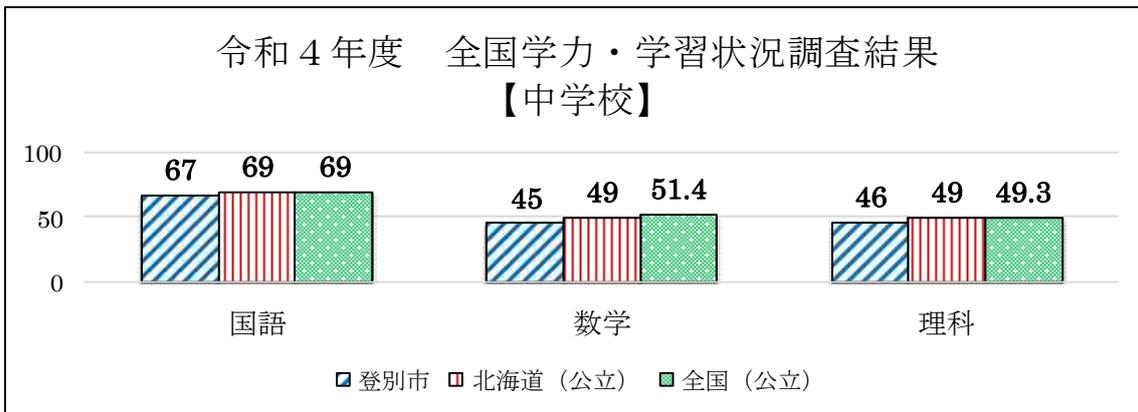
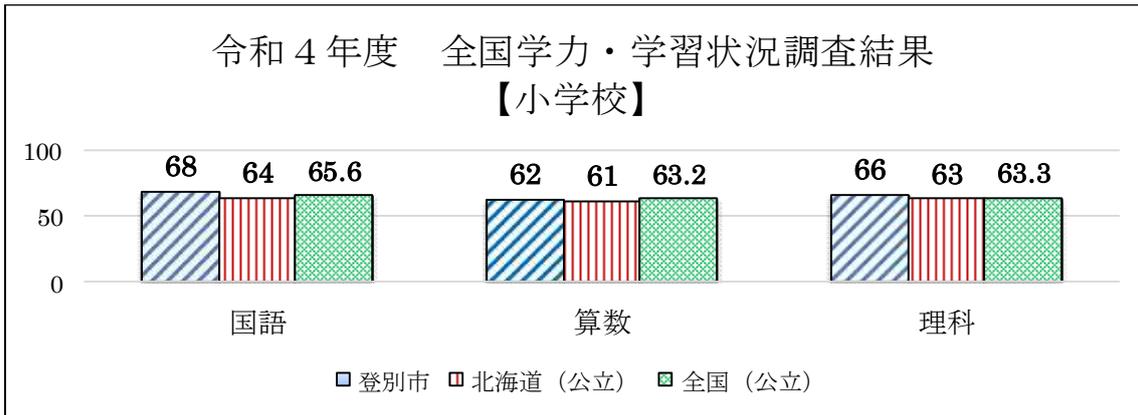
- ・小学校では、漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くことはよくできている。登場人物の相互の関係について、描写を基に捉えること表現の効果を考えることに課題がある。
- ・中学校では、聞き手の興味・関心などを考慮して、表現を工夫することはよくできている。自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話すことや表現の技法について理解することに課題がある。

#### [算数・数学]

- ・小学校では、示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述すること、目的に応じて円グラフを選択し、必要な情報を読み取ることはよくできている。百分率で表された割合を分数で表したり、百分率で表された割合と基準量から、比較量を求めることに課題がある。
- ・中学校では、(目的に応じて、式を変形したり読み取ったりして事柄が成り立つ理由を説明したり、事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。

#### [理科]

- ・小学校では、メスシリンダーという器具の理解や観察などで得た結果を、結果からいえることの視点で分析して解釈し、自分の考えをもつことはできている。日光は直進することや昆虫の体のつくりの理解に課題が見られる。
- ・中学校では、化学変化に関する知識及び技能を活用して、水素の燃焼を分子のモデルで表した図を基に化学反応式で表すことはできている。考察の妥当性を高めるために、測定値の増やし方について、測定する範囲と刻み幅の視点から実験の計画を検討することや仮設と異なる結果が出る場合について、結果の意味を考え、観察・実験の操作や条件の制御などの探求の方法について検討し、探求の過程の見通しをもつことに課題がある。



**【児童・生徒質問紙調査】**

[自分について]

- ・「将来の夢や目標をもっている」「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている」「いじめは、どんな理由があってもいけない」と回答した小中学生の割合が、全国と比べて高い。

[地域や人との関わりについて]

- ・「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した小中学生の割合が、全国の割合と比べて高い。

[家庭生活・家庭学習について]

- ・「毎日、同じくらいの時刻に起きている」と回答した小・中学生の割合が、全国と比べて高い。
- ・「家で自分で計画を立てて勉強する」と回答した小学生の割合は全国と比べて高い。

[メディアについて]

- ・「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている」と回答した小中学生の割合は、全国と比べて高い。
- ・「1日あたり、2時間以上テレビゲームをする」「1日あたり、スマホで1時間以上SNSや動画視聴をする」と回答した小中学生の割合は、全国の割合と比べて高い。

[学校での学習について]

- ・「学習した内容について、わかった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる」「授業では、課題の解決に向け、自分で考え自分から取り組んだ」と回答した小・中学生の割合が、全国と比べて高い。

[ICT機器の活用について]

- ・「ICTは学習の役に立つと思う」と回答した小学生の割合は、全国の割合と比べて高い。また、「意見交換の場面において週1回以上ICTを活用する」と回答した中学生の割合は、全国の割合と比べて高い。

○各学校の取組に対する支援

①教育課程課題検討委員会

参加者：校長会研修担当、全小中学校教頭、教務主任、学力向上・研修担当等の教諭

第1回～令和4年7月21日（木）

第2回～令和5年1月23日（月）

全国学力・学習状況調査の自己採点結果から子どもの状況や課題を校種間で共有するとともに、「学習内容の定着」に向けた取組を推進し、学力向上に結び付けることを目的に実施※「思考力・判断力・表現力の育成」を中心に協議

②登別市学力向上プランの作成

市内13校の全国学力・学習状況調査自己採点結果から考えられた課題や授業改善のポイント等をまとめ、市内小中学校に周知（令和4年6月15日）

③学習支援専門員の配置と学校支援

・配置 教育指導室に学習指導員2名を配置。

・取組

4月 全国学力・学習状況調査の実施に向けた「心構え」と「鬼っ子チャレンジテストはじまり号・復習問題（算数）」の作成、及び、各小学校への配布

鬼っ子算数教室用教材「鬼っ子チャレンジテスト」（4～6年生）の改善

「鬼っ子算数教室」実施に向けた準備（各校の年間実施予定の調整及び年間指導計画の策定 指導者用解答の印刷及びファイル詰め、児童用問題の印刷及び封筒詰め、教室掲示用の作成）

5～7月 「鬼っ子チャレンジテスト」1～6年生（全学期分）の作成と教育委員会

ホームページへのアップロードの準備

「鬼っ子算数教室」の実施（幌別東小以外の7小学校）

「鬼っ子算数教室」の実施に向けた準備（指導者用解答の印刷及びファイル詰め、児童用問題の印刷及び封筒詰め、教室掲示用の作成）

全国学力・学習状況調査（算数）の調査結果をもとに「解答のポイント」をパワーポイントで作成して各校に配布

8～12月 「鬼っ子算数教室」の実施に向けた準備（指導者用解答の印刷及びファイル詰め、児童用問題の印刷及び封筒詰め、教室掲示用の作成）

「鬼っ子算数教室」の実施（幌別東小以外の7小学校）

全国学力・学習状況調査結果（算数）の分析及びチャレンジ問題への反映及び令和5年度用「鬼っ子チャレンジテスト」の問題・解答作成

1～3月 「鬼っ子算数教室」の実施に向けた準備（指導者用解答の印刷及びファイル詰め、児童用問題の印刷及び封筒詰め、教室掲示用の作成）

「鬼っ子算数教室」の実施（幌別東小以外の7小学校）

令和4年度「鬼っ子算数教室」成果と課題作成、報告

登別市児童の課題を踏まえた、次年度に向けた学習教材の改善等

令和5年度「全国学力・学習状況調査」実施に向けた「鬼っ子チャレンジテストはじまり号」の作成

○小学校放課後学習実施状況

新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の発令等により、登別小学校1回、富岸小学校1回、若草小学校2回、幌別西小学校2回が中止となった。

富岸小学校 予定10回 → 実施 9回      若草小学校 予定12回 → 実施10回

幌別小学校 予定12回 → 実施12回      幌別西小学校 予定10回 → 実施8回

鷺別小学校 予定10回 → 実施10回      青葉小学校 予定 8回 → 実施8回  
 登別小学校 予定10回 → 実施 9回

- ◆ 登録指導者数                                      63名
- ◆ 参加指導者数(延べ人数)                      300名
- ◆ 登録児童数                                      第4学年 17名      第5学年 58名      第6学年 62名
- ◆ 参加児童数(延べ人数)                      第4学年108名      第5学年370名      第6学年399名

(1) 登録児童生徒数・経年比較

学校名	若草小			登別小		富岸小		幌別小		鷺別小		青葉小		幌別西小		
	4	5	6	5	6	5	6	5	6	5	6	5	6	4	5	6
H26	-	23	16	16	23	24	21	22	11	-	-	-	-	-	-	-
H27	-	19	17	25	18	22	38	20	25	-	-	-	-	14	9	10
H28	-	22	11	11	20	16	23	26	15	26	35	24	9	13	11	5
H29	-	11	8	23	14	43	11	16	9	27	28	27	30	14	6	8
H30	16	10	4	18	13	32	19	9	11	16	16	23	29	12	13	6
R元	15	14	6	25	13	40	61	17	8	17	12	22	26	14	10	7
R2	7	5	13	-	-	19	24	7	10	9	13	17	14	6	10	4
R3	11	5	3	6	12	15	18	16	4	10	8	19	19	16	5	7
R4	11	9	4	5	16	12	12	9	9	5	7	6	11	6	12	3

(2) 実施の形態

- ・今年度の新型コロナウイルス感染拡大による中止は5件、他行事との重複による中止が1件となり、実施回数については、前年度と比較して大幅に増加し、各校とも計画していた学習はほぼ実施することができた。
- ・中止の場合は、予定していた学習問題を学校から対象児童へ渡し、家庭内等で取り組むこととした。取り組んだ学習を次回の算数教室開催時に持参するよう呼びかけたが、残念ながら持参する児童は見られなかった。
- ・算数教室実施に際しては、学校(管理職)及びコーディネーターの協力をいただきながら、会場設営等の準備作業を行い、スムーズに運営することができた。
- ・各校の指導ボランティアの皆さんの協力体制が強みであり、児童とのコミュニケーションを図りながら懇切丁寧に指導する様子が多くみられ、地域住民と学校との良好な関係を垣間見ることができた。
- ・指導時には学校から管理職や学級担任等が児童の様子を参観し、時には指導を行う姿も見られた。

(3) 成果と課題

【成果】

- ・算数教室で取り組む学習内容は、既習事項の復習が中心であり、指導者のアドバイスや児童同士の学び合いで、既習内容の定着を図ることができたものと考えている。
- ・既習内容の理解度や定着度に応じた個別指導が指導形態の中心であり、理解に時間を要する児童に対して、きめ細かな指導が可能となっている。
- ・指導ボランティアの皆さんの多くは、学習指導の経験が少ないと思われるが、実際の指導場面で困難に直面することはほとんどなかった。これは、事前に配付した解答集に目を通すなど、自主的に準備を重ねた結果であろうと考えられる。
- ・児童が同じ地域に住んでいる方々とふれ合う貴重な機会であると考えられる。学習内容に関すること

はもちろん、教室終了後には学習以外のことで対話している様子があり、良好な関係づくりが随所に見られる。

- ・指導ボランティアの皆さんにとっては、算数科の指導や児童との何気ない対話を通して、学校教育の一端を知る機会となっている。そのことで、毎回楽しみながら協力いただいている方々が多い。

【課題】

- ・算数教室の回数を重ねるごとに、徐々に学習意欲が低下し、真剣に取り組んでいる児童に迷惑をかけてしまい、学習指導員が注意を促す場面が数回あった。各校には、算数教室のねらい等について、参加児童へ十分な説明を行うよう引き続き促していく。
- ・同一校でも、学年によって参加児童数に大きなばらつきが見られる。児童の日常の学習方法とは違って、地域の大人の指導を受けながら学習を進める体験をより多くの児童に味わわせるために、各校の参加に対する積極的な声掛けを引き続き行っていく。

○各学校の朝読書と図書ボランティアなどの活動状況

学校名	朝読書	図書ボランティア	その他
幌別小	毎朝10分	読み聞かせ・貸出返却・ALT読み聞かせ 図書館掲示	図書委員の読み聞かせ おはなしぼけつによる読み聞かせ
幌西小	月水金10分	読み聞かせ・環境整備・貸出返却	図書だよりの発行 読書通帳
鷺別小	月火木金 学習+読書 15分	環境整備・新刊紹介・図書便り発行 学級文庫の設置、児童作品の展示	図書委員によるおすすめの本 コンクール 読書啓発活動 お話しぼんによる読み聞かせ
登別小	火金15分	読み聞かせ(感染状況に応じて、複数回実施)	図書館の環境整備
富岸小	火曜10分	朝の読み聞かせ(5月から31回実施)	図書館環境整備
幌東小	毎朝10分	活動なし	目標設定・読書ノート
若草小	月～金15分	読み聞かせ中止・環境整備・新刊紹介	図書委員読み聞かせ中止
青葉小	木曜10分	飾付・環境整備、朝の読み聞かせ	図書ボランティアの読み聞かせ
幌別中	毎朝10分	(学校司書) 週2回程度、貸出返却・環境整備 新刊紹介・テーマコーナー・学級文庫入れ替え	委員会補助
鷺別中	毎朝10分	3年生への読み聞かせ(3/8)	図書館環境整備
登別中	毎朝10分	活動なし	委員会による運営 ビブリオバトル実施(2回)
西陵中	毎朝10分	11/25 12/23 3/1 3/9 3/15 3/17 計6回 (図書館司書対応)	学級文庫入れ替え ペーパービブリオバトルの実施
緑陽中	毎朝10分	(学校司書) 適切な環境整備と季節ごとに開催するイベントによる読書啓発	図書委員会による学級文庫の入替 新刊の紹介

○学校図書担当者・学校図書ボランティア連絡会議

6月24日(金) 「学校図書館で映えるPOPの作り方について」

講師 道立図書館職員 参加者 20名

○登別市学校司書連絡会議～年3回実施（コロナのため1回中止 ①10/31 ②2/9）

- 1 ねらい 市内小学校に配置されている学校司書の連携を図り、互いの知識を共有することにより、さらに有効な学校図書館整備の充実を図る。
- 2 内容 活動内容の交流・図書館だよりなどの意見交換・本の整理や選書に関する情報交換・読み聞かせに関する情報交換 その他

○長期休業中の学校図書館の開放～（小学校及び司書の配置がある中学校）

読書活動推進の一環で、休業中の日時を設定し児童生徒に対し学校司書による貸出業務等を行った。

<利用状況>夏休み 夏休み 98名 貸出冊数 168冊

冬休み 冬休み 70名 貸出冊数 129冊

○小学校への団体貸出

「わくわく文庫」を除籍処理し、市内小学校全8校に1学年2コンテナ委譲。3学級以上は追加。

実績：76学級に貸し出し。（実施率100%）提供冊数3,465冊（小学校99コンテナ×35冊）

○小・中学生の読書感想文・感想画コンクール

令和4年度より感想画コンクールは廃止。感想文コンクールの応募点数を小学校も中学校に合わせ、

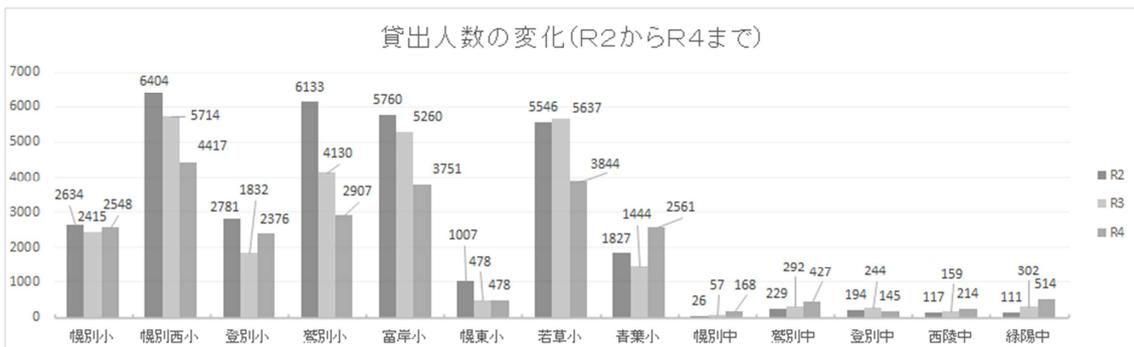
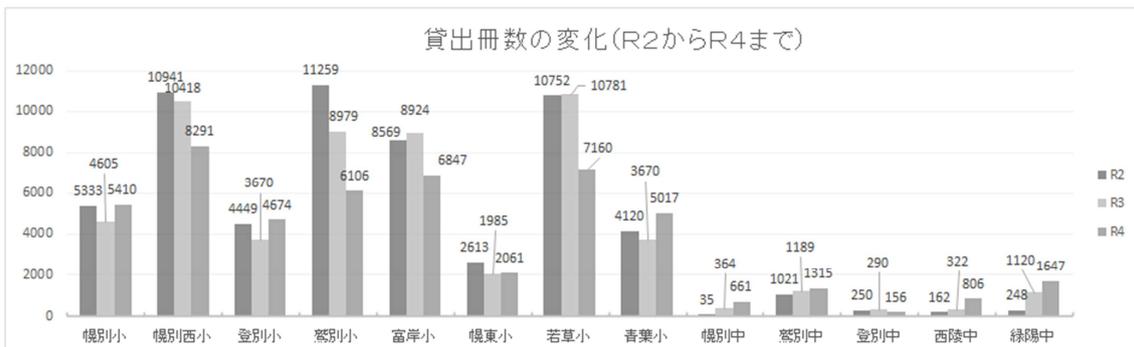
1学級あたり3点以内とした。応募件数 148作品（入選 31作品）

○学校図書館担当職員（学校司書）の配置

図書館司書等の有資格者を段階的に2校に1人の割合で配置した。

- ・H25～H26年度 2人を4校に配置（幌別西小、青葉小、鶯別小、若草小）
- ・H27年度以降 4人を8校に配置（上記に加え、登別小、幌別東小、幌別小、富岸小）
- ・R3年度 モデル事業として中学校に司書を1名配置（緑陽中・西陵中兼務）

○貸出冊数と貸出人数の変化（R2からR4まで）



<p><b>評 価</b></p>	<p>全国学力・学習状況調査において、小学校は、国語と理科で全国の平均正答率を上回り、算数で全国の平均正答率をやや下回った。中学校は、国語で全国の平均正答率をやや下回り、数学と理科で全国の平均正答率を下回った。算数・数学に課題があることが明らかになった。</p> <p>また、「家で自分で計画を立てて勉強している」と肯定的な回答をしている児童生徒の割合は、小中学校ともに全国と比べると上回っているので、学校における質の高い授業を基盤に予習・復習を中心とした家庭学習の充実と保護者の協力を得ながら習慣化することを目指し、算数・数学における学力向上の取組について、一層の充実を図る必要がある。</p>
<p><b>今後の方向性</b></p>	<p>確かな学力の向上については、本市の児童生徒の課題となっている算数・数学科の学習支援として、小学校4年生から6年生までを対象に新たにオンライン演習教材を導入し、学習内容の確実な定着と学力の底上げを図っていく。</p> <p>1人1台端末を活用した学びの充実については、北海道立教育研究所や登別市情報教育推進協議会と連携するとともに、市教委のDXフェローの知見を活かした、教職員研修を開催することで、ICTを積極的かつ効果的に活用した教育環境を整備し、児童生徒ならびに教職員の情報活用能力の育成に努める。</p> <p>学校図書館については、中学校の学校司書を増員し、授業支援や読書支援の一層の充実を図るほか、児童生徒が気軽に立ち寄ることができる場所として、学校図書館の環境改善を進めていく。</p>

<p><b>項 目</b></p>	<p><b>4 英語教育</b></p>
<p><b>点検内容</b></p>	<p>英語教育については、外国語専科教員や外国語指導助手を効果的に活用しながら、児童生徒の「聞く・話す・読む・書く」など、バランスのとれた英語力と積極的にコミュニケーションを図ろうとする資質・能力を育むとともに、生きた英語に触れる機会の拡充に努める。</p>

### 取組状況

- 「登別市小中学校英語教育推進プログラム」の内容を基に、小学校では新学習指導要領の全面実施を見据えて取り組んだ北海道教育委員会の小学校外国語活動巡回指導教員研修事業の成果を踏まえ、教員個々が努力を重ねて継続して授業実践に取り組み、授業力を高めることができた。
- 中学校においても、円滑な学校間接続の観点から、中学校の外国語科教員の系統的指導に対する意識化が図られるとともに、従前より本市で取り組む小中一貫教育の機能を最大限活用し、専門性を発揮した授業が行われ、義務教育9年間を見通した英語教育が一体的に展開された。特に英語専科を活用した外国語活動や外国語が効果的に行われている。
- 小学校1・2年では、年間10時間程度外国語活動として実施する予定になっており、令和4年度の実施時数平均は11.8時間となっている。

<参考：ALTの小中学校年間派遣実績>

小学校への年間派遣回数～449回（昨年度385回）

中学校への年間派遣回数～248回（昨年度205回）

評価	本市では例年、外国語指導助手（ALT）を4名配置し、各学校に派遣している。（令和4年度はALT2名の変更があった。） 小学校の外国語活動・外国語、中学校の英語の授業で教員とのチーム・ティーチング形態による指導を行うとともに、休み時間や放課後なども活用しながら、児童生徒がネイティブな英語に触れる機会を創出するように努めている。特に中学校では、聞く・話す機会が多くなり、有効に活用されている。
今後の方向性	英語教育については、外国語専科教員や外国語指導助手を効果的に活用し、学校生活において日常的に英語に親しむ時間を充実させることにより、とりわけ児童生徒の「聞く・話す」能力の向上を図っていく。

項目	5 教職員の指導力の向上 働き方改革
点検内容	教員の指導力の向上については、登別市教育実践研究奨励校や登別市教育研究会の活動を支援するとともに、授業力向上を目指した研修を充実させるなど、対面での指導とICTを効果的に活用した指導の最適な組み合わせにより「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現を図っていく。 また、校務支援システムの効果的な活用や道教委の指定を受けた「学校力向上に関する総合実践事業」の成果をもとに、業務改善や効率化を図り、教職員が子どもと向き合う時間をさらに確保できるよう努める。

## 取組状況

○登別市教育実践研究奨励校

学校名	領域・教科	研究主題	年度
幌別小	学習指導	自ら問いかけ、考えを深める子の育成 ～主体的に考える算数科の授業の在り方～	3・4
青葉小	学習指導	確かな読みの力を身に付け、言葉で豊かに表現する子どもの育成 ～「言葉による見方・考え方」を育む授業づくりを通して～	3・4
富岸小	学習指導	『読みの力を身に付け、豊かに表現する子の育成』 ～「言葉による見方・考え方」を働かせる言語活動の充実を通して～	3-5
幌別中	学習指導 情報教育	主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業づくり ～各教科における、「見方・考え方」を働かせるための学習指導の工夫～	3・4
登別中	学習指導	自己の課題を見つけ、乗り越えていく力を持った生徒の育成 ～協働的な学習を通して～	2-4
幌別西小	学習指導	西小プラスONE ～確かな学力を身に付けさせる授業を目指して～	4・5
鷺別中	学習指導	「学び合い」を通して、自ら物事を捉え、思考していける生徒の育成 ～各教科における主体的・対話的で深い学びを通して～	4・5
緑陽中	学習指導	見方・考え方を働かせ、自分の考えを深め、表現する生徒の育成 ～読解力・思考力・判断力・表現力を高める指導の工夫を通して～	4・5

○学校力向上に関する総合実践事業（中核校：幌別小、指定校：幌別西小、幌別東小、幌別中、西陵中）  
 実施報告書(概要)：市教委

	具体的な取組	実施状況
① 指定地域への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域協議会の実施計画（時期・内容等）</li> <li>・「登別市学校力向上マネジメントプラン」に基づいた実践とその蓄積</li> <li>・中核校及び指定校による授業公開や実践発表</li> <li>・地域協議会をとおした市内全体の学校力の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○年度当初に「登別市学校力向上マネジメントプラン」を作成し、中核校の取組を市内学校に周知したことや、校長会をベースに地域協議会を開催したことにより、市内全体の取組として、各種事業を推進することができたことができた。</li> <li>○地域協議会は予定通り年4回実施</li> <li>○9月27日（火）に市教研英語部会の場において授業公開を実施。31名が参加。</li> <li>○12月9日（金）に中核校学校公開を開催。市内外より約83名が参加。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・中核校の実践として「『社会に開かれた教育課程』の実現に向けた学校改善」と関連させた学校研究の説明を行った。</li> <li>・また、中核校で実践している日常実践につながる校内研修の在り方や、自分の考えを表現し伝える力の育成の在り方について協議を行った。</li> </ul> </li> <li>○第4回地域協議会で取組検証を行うために、マネジメントプランに示した事業内容や項目についてアンケートを実施した。協議会では、「本事業の取組検証」として、アンケート結果をレーダーチャート等を用いて可視化するとともに、数値目標に対する達成度を明示しながら各事業内容の検証を行った。</li> </ul>
② 指定地域の取組成果の普及	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各学校の改善状況や成果等の把握、検証方法</li> <li>・「登別市学校力向上マネジメントプラン」に基づいた実践</li> <li>・外国語専科教員の実践研究を踏まえたせいり資料の作成</li> <li>・中核校及び指定校による学校公開（授業公開・実践発表・研究協議）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中核校の取組成果を、自校の包括的学校の改善のために活用できた」と回答した割合が82.7%で達成した。</li> <li>○9月27日（火）の第2回地域協議会では外国語専科教員による授業を、12月9日（金）の第3回地域協議会では中核校の学校公開において、算数科の授業公開及び実践発表を実施した。</li> <li>○その他、市教研英語部会における交流や、外国語専科教員との交流（4回）、中学校外国語教員との交流（3回）、小中学校相互の授業参観（3回）を実施した。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○成果普及の方策</li> <li>・中核校及び指定校による学校公開や実践発表による成果普及</li> <li>・成果資料等のデータベース化</li> <li>・ミッション事務加配による校内の取組を発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中核校学校公開における授業公開及び実践発表のほか、外国語専科教員の成果として、これまでの実践資料等を、データベースとして公開し、市内学校に普及還元した。</li> <li>○教頭会の場を、年3回「働き方改革実務担当者会議」と位置付け、各校における働き方改革の取り組み内容、成果や課題等を実務者レベルで共有し、課題解決に向けた方策等を交流・協議しながら事項の実践に生かせるように企画運営した。</li> </ul>

実施報告書（概要）中核校：幌別小

○加配教員及び事務職員を活用した取組

<p><b>加配教員の活用方法</b></p> <p>○複数の小学校で効果的に教科担任制を実施するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度の外国語科アンケート（児童の授業評価）の分析を共有し、授業改善に生かす。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTの活用（1人1台タブレット端末や児童用デジタル教科書の活用、リモートによる交流・学習等）</li> <li>・実施3校での授業ルールやスタイルの共有（専科指導教員と3校教頭による確認）</li> <li>・市内他校専科指導教員や中学校英語担当教員と授業交流・情報交換を活性化させる。</li> </ul> </li> </ul> <p>○中核校・指定校の成果普及の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域協議会における成果の発表             <ul style="list-style-type: none"> <li>・登別市教育研究会英語部会等中学校英語教諭を交え、外国語科専科の授業公開と実践発表を実施し、市内小・中学校へ成果を発信する。</li> </ul> </li> <li>・市内小学校高学年担任が外国語科専科の授業を参観できる機会を設定する。（リモートでの参観や発信を積極的に行う。）</li> <li>・成果資料や作成物等を市内の他の小学校教員も活用できる「外国語お役立ちデータ・ベース」（市内共有サーバーの運用）</li> </ul>
<p><b>加配事務職員の活用方法（配置校：幌別小学校）</b></p> <p>○働き方改革推進のコアチームの構成員としての役割（加配事務職員配置地域のみ）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加配事務職員の視点からの業務改善の提案と実践（校務支援システムの積極的な活用の推進、会議資料や周知文章のペーパーレス化の促進、メール配信の利便性の向上、ホームページの充実等）</li> <li>・加配事務職員の校務運営参画機会の拡充（ICTを活用した授業における機器操作等のサポート、学年・学級事務の担任の負担軽減）</li> </ul>

○地域全体の学校が共通して取り組む事業内容

(1) 「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた学校改善

実施計画書			実施報告書
事業内容	具体的な取組	到達目標 (検証方法)	①到達目標に対する成果・課題 ②成果について、校長として工夫した点
<p><b>学習指導の充実</b></p> <p>ア 個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けた指導方法や教材等の工夫</p> <p>イ 1人1台端末の日常的な活用による授業改善</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し「主体的・対話的で深い学び」の実現を図る校内研修の推進</li> <li>・活用場面に応じた端末の効果的活用             <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導</li> <li>・学習以外</li> <li>・持ち帰り（オンライン学習含む）</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価（内部評価）の肯定的回答を80%以上</li> </ul>	<p>①</p> <p>○「個別最適な学び」と「協働的な学び」を充実させることで、「主体的・対話的で深い学び」を実現するための校内研修を推進し、授業改善を図った。</p> <p>② ICT校内委員会（H-ict委員会）を組織し、教職員が主体的にICT機器の効果的な活用を推進できる環境を整えた。また全教職員のICT活用を促した。</p>
<p><b>教員の資質・能力の向上</b></p> <p>ア 日常実践に直結する校内研修（ミニ研修、ICT活用指導力の向上を含む）の促進</p> <p>イ メンター研修の推進による中堅・若手教員の計画的な育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校におけるICTの効果的な活用に関する研修機会の設定</li> <li>・中堅・若手教員の育成にアプローチするメンター研修の在り方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTに係る研修3回以上実施</li> <li>・中堅・若手の育成に関する学校評価（内部評価）の肯定的回答80%以上</li> </ul>	<p>①ICTに係る研修8回実施</p> <p>② 若手教員を講師としたICT機器活用研修を行い、教職員の知識・技能の習得と指導力向上を図る研修を計画的に実施できるよう設定した。</p> <p>※中堅・若手の育成に関する学校評価（内部評価）の肯定的回答100%</p>

(2) 「北海道アクション・プラン（第2期）」を踏まえた、質の高い教育活動を持続的に行う  
「手引 Road」を活用した働き方改革の実施

実施計画書			実施報告書	
事業内容	具体的な取組	到達目標 (検証方法)	①到達目標に対する成果・課題 ②成果について、校長として工夫した点	
改革プロセスの明確化	<p>ア 個々の教職員の課題意識を踏まえた改革の目標設定</p> <p>イ 改善効果の明確化と効果の定期的な検証</p> <p>ウ 全教職員の在校時間の客観的な計測とその記録の共有</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員が自ら考え取り組みながら業務の軽減や平準化、効率化を目指すプロセスの構築</li> <li>・改革推進に向けたチームの再編（コアチームの編成）</li> <li>・効果の定期的な検証（データの整理と教職員との共有）</li> <li>・月ごとの在校時間の変化を教職員と共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働き方改革に係る学校評価（内部評価）の肯定的回答を80%以上</li> </ul>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○校務支援システムを活用して客観的に月ごと・個人ごとの時間外在校等時間を記録し、グラフとして可視化したものを提示することで、自らの勤務実態を把握・意識させ、在校時間を縮減することができた。</li> <li>●コアチームによる定期的な提案・検証を、改善に向けての軌道に乗せることができなかった。</li> </ul> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各分掌や職員の気付きを働き方改革につなげることを奨励した。ゼロベース・ボトムアップを念頭に置き、教職員の業務負担軽減を実現した。</li> </ul> <p>※働き方改革に係る学校評価（内部評価）の肯定的回答81.0%</p>
組織体制の構築	<p>ア 課題に応じた「5つの業務改善・効率化の観点」の実践</p> <p>イ ICTの活用（教材作成等授業準備、朝の打合せや職員会議等でのペーパーレス化、教員研修の効率的な実施）</p> <p>ウ 部活動休養日等の完全実施、学校規模に応じた部活動数やシステムの見直し、地域との連携など部活動指導に係る負担の軽減（中学校）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SSSや学習指導員、学習支援員などのスタッフや地域・保護者、外部人材等の積極的な活用の推進</li> <li>・事務職員（加配）の校務運営への参画機会の拡大（ICT活用のサポートなど）</li> <li>・校務支援システムを活用した業務改善の推進</li> <li>・部活動について、学期中は、週当たり2日以上休養日を設定する。（平日1日以上、土曜日及び日曜日についても1日以上）また、年間の休養日を104日以上設定する。</li> <li>・R5年度から実施する「地域部活動の実施」に向けて、特に土・日の部活動については地域指導者が主体となった指導体制に移行する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の効率化に係る学校評価（内部評価）の肯定的回答を80%以上</li> <li>・部活動年間計画を作成し、休養日については適宜点検する。</li> <li>・担当者の部活指導時間を2割削減する。</li> </ul>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○SSSや学習指導員・、学習支援員を活用することで、外部化することができた。</li> <li>○事務職員を校務運営への参画機会を拡大させた結果、集金業務・印刷業務・ICT機器の操作のサポートなどにおいて、担任の業務負担を軽減させることができた。</li> <li>○ICTを活用した学校評価（保護者・教職員）の実施、職員会議のペーパーレス化、タブレット端末を活用した職員間の情報（日報・欠席情報）の共有などICT機器の活用を行い、業務改善を推進することができた。</li> </ul> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○事務職員の視点から、業務の改善点を提案させながら、実現に向けてサポートする体制を構築してきた。</li> </ul> <p>※業務の効率化に係る学校評価（内部評価）の肯定的回答は100%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○部活指導員の活用等で複数指導体制を確立することで、担当者の負担を平準化した。</li> <li>○部活動の指導時間をガイドラインに従い、平日2時間、休日3時間を順守するように指導し、指導時間の削減を行った。</li> </ul>

○働き方改革の推進

- ・「登別市立学校における働き方改革基本方針(平成30年10月策定・令和2年3月改定)」に基づき、教員が本来担うべき業務に専念できる環境の整備に努める。

【基本方針の目標】

教育職員の在校等時間から所定の勤務時間等を減じた時間(いわゆる「時間外勤務」)を1か月で45時間以内、1年間で360時間以内とする。

【目指す指標】

- 1 部活動休養日(平日週1日・休日週1日・学校閉庁日の年間合計=113日)を完全に実施している。
- 2 変形労働時間制を活用している。
- 3 定時退勤日を月2回以上実施している。
- 4 学校閉庁日を年9日以上実施している。 ※以上4指標は、令和元年度中に達成している。

【主な具体的取組】 令和元年度以降に検討または実施したもの(以前から実施済みの取組は除く)

- 1 教職員の事務負担を軽減する校務支援システムを導入(令和3年度末に試行、4年度から導入開始)。
- 2 給食費については、給食費管理システムを導入(令和3年度から導入開始)
- 3 部活動指導員を配置する(令和3年度は4名配置)。
  - 幌別中バレーボール部1名 西陵中バレーボール部1名
  - 緑陽中バスケットボール部1名・ソフトテニス部1名
- 4 在校時間を客観的に計測するシステムを導入する(平成31年4月から記録を開始)。
- 5 留守番電話の設定(平成31年4月から対応を開始)

<p><b>評価</b></p>	<p>登別市教育実践研究奨励校については、8校が指定を受け、各校の研究の経緯や実態に即した研究主題のもと、全校が学習指導をテーマに取り組んだ。研究紀要の作成・配布により研究の成果を発信するなど、研究の質を高めることができたとともに、1人1台学習端末が導入され2年目となり、各校が教育活動の実践をとおして、効果的な活用について研修を進めた。</p> <p>また、令和4年度の学校力向上に関する総合実践事業は「指定地域」として、幌別小学校を中核校、幌別中学校区と西陵中学校区の他の4校を指定校として実践を重ねてきた。中核校は地域全体で取り組む事業内容のほか、小学校高学年における英語専科教員の活用、指定校においては、その成果を学校公開や地域協議会の場を活用しながら市内各学校に普及還元してきた。また、市教委は市内全体の学校力の総合的な向上を目指してマネジメントプランの提示等を通じた「取組の可視化」「進捗状況の明確化」を意識してきた。</p>
<p><b>今後の方向性</b></p>	<p>教員の指導力の向上については、引き続き登別市教育実践研究奨励校や登別市教育研究会の活動を支援するとともに、研究成果の還元を工夫・充実していく。また、道教委や各種団体が主催する研修等を積極的に活用し、指導力の一層の向上に努める。</p> <p>登別市教育委員会デジタルフェローの知見を積極的に活用し、教員のニーズに応じた研修を充実させることにより、ICTを活用した指導力の向上を図り、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現に努める。</p> <p>また、デジタル教科書の本格導入に向けては、引き続き国が進める「学びの保証・充実のための学習者用デジタル教科書実証事業」に参加するとともに、指導者用デジタル教科書などを整備しながら、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげていく。</p> <p>さらに、道教委の指定を受けた「学校力向上に関する総合実践事業」における成果を生かしながら、学校の働き方改革を一層推進し、児童生徒に対して効果的で質の高い教育活動が持続的に行われるよう、努める。</p>

項目	6 ICTの活用
点検内容	ICTを活用した学びの充実については、GIGA スクール構想に基づき「1人1台端末」の整備を完了したので、登別市情報教育推進協議会と連携し、児童生徒の情報活用能力を育成するとともに、学校や家庭においてオンライン上で学習できる「文部科学省CBTシステム」を導入するなど、誰一人取り残すことなく学びを止めない環境を整備していく。

## 取組状況

### ○登別市情報教育推進協議会

- ・回数：10月、2月の年2回、各校の状況を集約し、紙面交流にて実施。
- ・主な内容：各校における端末活用や各種取組状況の共有

課題の明確化及び整理、課題解決に向けた取組の検証

### ○登別市教育情報セキュリティポリシーの策定（令和3年5月18日）

### ○登別市学校教育情報化推進計画の策定（令和3年5月25日）

これまで運用していた「登別市情報教育推進計画」を、一人一台端末をはじめとするGIGAスクール構想等の各種施策との整合性を図りながら再策定

### ○のぼりべつICTハンドブック【増補版】の作成配付

本市で目指す情報活用能力や端末活用の在り方、オンライン学習の在り方について、また教職員に求めるICT活用に関する資質・能力等を掲載

### ○令和4年度登別市教職員研修会（北海道立教育研究所「教育関係機関等連携」研修講座）

- ・日時：令和4年8月5日
- ・会場：市民会館2階中ホール
- ・参加者：市内小中学校教職員15名
- ・内容：授業における1人1台端末の効果的な活用について端末の機能や活用について研修を実施。
- ・日時：令和5年1月11日
- ・会場：幌別中学校
- ・参加者：市内小中学校教職員11名
- ・内容：GIGAスクール構想で求められている授業改善及び校務の情報化について理解を深め、自校における一人一台端末を活用した教育活動の充実を図る。

### ○のぼりべつICT情報交流（揭示版）

GoogleClassroomの機能を活用し、市教育指導専門員が運営し、定期的な更新を図る。主に各校の端末活用や授業の実際、国や道の最新動向、端末機能及び活用の実際、研修資料等を掲載。

### ○MEXCBT活用ミニ研修

- ・5/19 登別小、6/6 幌別小、6/8 幌別西小、6/22 鷺別小、8/3 幌別中、9/21 富岸小、10/3 西陵中
- ・文科省のCBTシステムMEXCBT（メグビット）活用のための校内研修を実施。

評価	GIGAスクール構想の実現に向けた環境整備を進めるとともに、一人一台端末の活用に係る研修会や諸会議などを企画・実施することができた。ICT掲示板を活用した情報発信や学校を訪問してのミニ研修会の開催を行いながら、児童生徒及び教職員のICT活用能力向上に努めた。
今後の方向性	1人1台端末を活用した学びの充実については、北海道立教育研究所や登別市情報教育推進協議会と連携するとともに、市教委のDXフェローの知見を活かした、教職員研修を開催することで、ICTを積極的かつ効果的に活用した教育環境を整備し、児童生徒ならびに教職員の情報活用能力の育成に努める。

項目	7 豊かな心の育成 キャリア教育
点検内容	<p>豊かな心の育成については、教育活動全般を通して、自尊感情や自己有用感を育むとともに、児童生徒に寄り添った授業を通して、誰もが自己の成長を実感し、達成感がもてるよう、取り組む。</p> <p>また、ふるさとを愛し、登別の歴史・文化・自然に誇りをもてるよう、地域資源を生かした体験活動やキャリア教育の充実に努める。</p>

## 取組状況

### ○自然体験や社会体験、ボランティア活動等、豊かな心を育む体験活動

幌別小	<p>通年 全学年による学級園を中心とした栽培活動 3年生による花壇への花の移植、草取り</p> <p>通年 栄養教諭による食育指導(全学年) 明治から講師を招いての食育指導。</p> <p>4/18 交通安全青空教室(交通指導員の協力) 2年生以上は実際に自転車に乗車して正しい自転車の乗り方について、1年生は路上に出て正しい歩き方についての練習を行った。</p> <p>5~12月 幌中地区ふるさとふれあい農園活動(地域学校協働本部事業)→中止</p> <p>5/25 田植え(地域学校協働本部事業)→中止</p> <p>6/29 2年生 世代間交流 昔の遊び体験 教育委員会社会教育・地域の方が協力</p> <p>7/4 室蘭警察署見学(4年)→中止 9/20 乗馬体験(地域学校協働本部事業)→中止</p> <p>10/6 ふれあい農園 稲刈り(地域学校協働本部事業)→中止</p> <p>11/22 5年総合 認知症キッズサポーター養成講座 包括支援センターあおいから講師を招き、地域の現状や認知症について学び、認知症患者に対してサポートすることの大切さについて理解を深めた。</p> <p>12/13 邦楽鑑賞会 6年(登別三曲協会協力)→中止</p> <p>12/21 ふれあい農園 収穫祭(幌小実施、地域学校協働本部事業)→中止</p> <p>2/7 スキー学習(5・6年)→保護者・地域ボランティアの方々のご協力をいただき、サンライバスキー場で実施。</p> <p>6/21 縄文出前講座(6年) 菅野学芸員から、登別周辺の縄文人の食生活にについての話を聞き、本物の土器や石器を触ることができた。縄文文化について、興味・関心を高め、理解を深めることができた。</p> <p>9/22 3年登別温泉見学学習 地獄谷や温泉街を散策し、施設見学や体験を通して、地元観光業の中心である登別温泉について理解を深めることができた。</p> <p>6/21 ふおれすと出前講座(5年)宿泊学習の事前学習として、ふおれすと鉾山から講師を招き、鉾山町の歴史や鉾山町でとれる岩石、鉾山町付近に生息する動物などについて理解を深めた。</p> <p>10/31, 11/1 3年社会科見学(ドービー建設工業見学) 「ドービー建設工業」の工場見学を通して、働く人たちの知恵や工夫・苦労について理解を深めた。</p> <p>10/26 4年総合 見学学習(ウポポイ) 社会科や総合的な学習でアイヌ文化について事前学習を行った。ウポポイ見学では、アイヌ文化の歴史や文化の多様性に気付き、深い学びにつなげることができた。</p> <p>11/5 スマホ・ケータイ安全教室(全学年) 講師：芳原先生 携帯電話の使用上のマナーや危険性、問題点に学び、正しい使い方について学んだ。</p> <p>12/15 消防出前講座 3年⇒中止</p>
-----	--

	<p>12/2 薬物乱用防止教室(5・6年 講師：室蘭警察署) 犯罪の現状について講話を受け、トラブルに巻き込まれないために気を付けるべきことについて理解を深めることができた。</p> <p>5/10 租税教室6年 室蘭税務署から広報官を招き、税金のない世界のアニメ視聴をすることを通して、税金の大切さについて理解を深めることができた。</p> <p>11/15 5年総合 福祉出前講座・あいサポート講座(講師来校) 視覚に障がいのある方を講師として招き、交流を通して、介助など自分たちにできるサポートの体験をし、理解を深めることができた。</p> <p>1/15, 22 サンライバ雪遊び(1・2年)⇒中止</p> <p>1/27 6年卒業制作 健千窯から講師を招き、陶芸体験を行った。製作した作品が卒業記念品となった。</p>
幌西小	<p>学級園等での栽培活動(全学年)</p> <p>4/15 交通安全教室 5/10 租税教室(6年) 6/29 縄文出前講座(6年)</p> <p>7/19 栄養教諭食育授業(2年) 9/3 ふれあい祭り(PTA)</p> <p>8/24 キウシト事前学習(2年、NPO法人キウシト)</p> <p>9/2 遠足(1-4年) 9/9 栄養教諭食育授業(4年) 9/21, 3/1 ふれあい清掃</p> <p>9/21 ふおれすと校外学習(3年) 9/29 キウシト現地学習(2年)</p> <p>10/5 お迎え訓練(災害時を想定した引き渡し訓練)10/25, 26 ドーピー工場見学(3年) 11/9, 1/25 おたすけ清掃(PTA) 11/18 人権教室(2・4年) 室蘭法務局</p> <p>11/25 アイヌ見学学習(4年) ※ウポポイ 11/26 マンドリン鑑賞会(3, 6年)</p> <p>2/2 川上公園校外学習(1年) 2/3 英検Jr(4年) 2/9 川上公園校外学習(2年)</p> <p>2/24 スキー学習(5・6年)</p>
鷺別小	<p>4/8 なかよし登校～12日</p> <p>6/16 租税教室(6年)</p> <p>6/22 縄文出前講座(6年)</p> <p>6/27 認知症キッズサポーター講座(5年)</p> <p>7/19, 20 ふおれすと鉾山自然体験学習(5年)</p> <p>9/16 パロマ工場社会科見学(3年)</p> <p>9/22 ウポポイ見学(4年) うがい手洗い教室(1, 2年)</p> <p>9/22 10/4 人権教室(3年)</p> <p>10/6 演劇鑑賞(4, 5, 6年)</p> <p>10/17～22 あいさつ運動(児童会)</p> <p>10/31 福祉学習(5年)</p> <p>11/15 食育指導(3年)</p> <p>11/18 登別温泉街・郷土資料館見学学習(3年) 11/18 福祉学習(5年)</p> <p>11/22 食育指導(4年)</p> <p>11/25 福祉学習(5年)</p> <p>11/30 文化芸術鑑賞(6年)</p> <p>2/13 スキー学習(5, 6年)</p> <p>2/22 ひなわし委員会によるピンクシャツデーの取組</p> <p>通年 学級園での栽培活動(全学年) 通年 ベルマーク回収</p> <p>通年 ひなわしの木へのメッセージ掲示(児童会) 世代間交流(1年)→中止</p>
登別小	<p>学級園等での栽培活動(全学年)</p> <p>4/22 交通安全青空教室(3・5年)登別市交通安全協会 ※1年生・2年生は学年閉鎖の為中止</p>

	<p>5/7 サケの稚魚放流(登別さけ・ます孵化場)地域支援本部事業 → 中止</p> <p>5/11 ふるさと農園でジャガイモの植え付け(2年)(地域ボランティア参加)</p> <p>6月 不審者対応訓練(全学年)・・・令和4年は未実施(隔年実施 R5は実施)</p> <p>7/16 OMB地域行事参加(5・6年)登別わくわく広場 →雨天の為、体育館で実施</p> <p>7/21 認知症キッズサポーター養成講座(5年)</p> <p>8/27 OMB地域行事参加(5.6年)地獄まつり →中止のため、グラウンドで実施</p> <p>8/27 ふるさと農園収穫祭(2年)地域ボランティア参加</p> <p>10/1 サケの採卵体験(登別さけ・ますふ化場)地域支援本部事業</p> <p>10月 登別中吹奏楽部演奏会参加(全学年) → 中止</p> <p>11/1 ウポポイ見学(4年) → 12/7に延期して実施</p> <p>11/5 携帯・スマホ安全教室(全学年)</p> <p>11/26 OMB定期演奏会(4・5・6年 保護者参観)</p> <p>1月 豆まき集会～いじめ撲滅や交通安全に対する標語作成(全学年)→中止</p> <p>1/28 世代間交流(1年)地域ボランティア参加 →中止</p> <p>2/15-16 福祉体験学習(3・4年)登別市社会福祉協議会</p>
富岸小	<p>7/12 縄文出前講座 6年</p> <p>春～秋 花壇や学年園、生活科での栽培活動</p> <p>通年 玄関ホール・各教室での飼育活動</p> <p>6・7・11・12月 児童会活動によるいじめ防止のためのあったか富岸小運動</p> <p>10/19 キウシト湿原学習 3年 湿原観察や外来植物の駆除を実施</p> <p>7/20・7/21 栄養教諭食育授業 6年・2年 9/8 芸術鑑賞(演劇鑑賞)</p> <p>8/30・12/6 4年福祉出前授業 視覚障害の方の講和, 体験学習</p> <p>11/10 ウポポイ見学 4年</p> <p>1/21 PTA 富岸小祭り 1/31 租税教室 6年</p> <p>2/4 PTA 餅まき</p> <p>2/21 人権教室 4年</p> <p>2/28 認知症サポーター養成講座5年</p> <p>2/16・2・21 スキー学習 6年・5年</p>
幌東小	<p>児童会による「いじめをなくすための取組」 学級園を中心に栽培活動と学級花壇のお世話(5～10月)</p> <p>ふれあい農園 田植え 稲刈り 収穫祭 →中止</p> <p>郷土芸能「幌別駒踊り」の継承(全校児童)→中止</p> <p>8～11月に月1回練習 12月幌別地区市民演芸会参加(全校児童)</p> <p>5/10 3年 市役所見学</p> <p>11/17年世代間交流「ふれあい集会」(地域お年寄りとの交流)</p> <p>校外班による校区のクリーン作戦(清掃活動)→中止 9/14 3年 ドービー建設工業見学</p> <p>10/3 3年 サンチャイルド、温泉街見学</p> <p>10/4 4年 ウポポイ見学</p> <p>10/5 3年 カントレラ 校外学習</p> <p>12/22 4年 認知症サポーター授業 12/5 3年 警察署見学</p> <p>2/7 3年 郷土資料館 見学(登別のあゆみ)</p> <p>2/15 6年 薬物乱用防止教室 2/15 5・6年 スキー学習</p> <p>3/10 1・2年 ふおれすと鉾山 きせつとなかよし(1年)冬の遊び(2年)</p>

若草小	<p>通年 児童会によるリングプル回収</p> <p>通年 学級・学年の昆虫等の飼育ですることにより生き物と触れ合える場としている</p> <p>4/20 町会下校指導：出会いのつどい 月2回程度、1・2年の下校を引率してくれる地域の方々とのふれあいの場</p> <p>5/9 ふれあい農園（じゃがいもの植栽 1・2年） 5/20 遠足(1～4年)</p> <p>6/17 縄文出前講座（6年） 7/12 食育授業(カルビー 4年)</p> <p>7/5 食育授業(ヤクルト 3年) 5/16 租税教室（6年） 10/12 食育授業(明治乳業 2年)</p> <p>9/22 ウポポイ見学(4年) 9/13～14 ふれあい学習(5年) 10/4 食育授業(栄養教諭 5年)</p> <p>9/16 見学学習（幌別郵便局 2年） 11/1 見学学習（地獄谷、カント・レラ 3年）</p> <p>10/18 見学学習（三好製作所、NHK放送局 5年） 9/30 食育授業(メグミルク 6年)</p> <p>12/15 認知症サポーター養成講座（5年） 6/22 食育授業(栄養教諭 1年)</p> <p>6/1 福祉出前講座（5年） 10/28 見学学習（郷土資料館、クリンクルセンター 4年）</p> <p>11/28 人権教室（2・4年） 11/30 芸術鑑賞（6年 能・狂言） 1/27 福祉体験講座（5年）</p> <p>7/8 世代間交流（2年）</p>
青葉小	<p>通年 リングプル回収（車いすへの交換活動、児童会活動）</p> <p>通年 たたら製鉄学習「総合的な学習の時間」（5年生）…中止 講師の体調不良のため</p> <p>通年 キウシト湿原学習「総合的な学習の時間」（3年生）</p> <p>4/27 交通安全教室（全学年） 5/7 ふれあい農園（2年生） ジャガイモ植え</p> <p>5/10 キウシト湿原の会の方による出前授業 4年生</p> <p>10/5 キウシト湿原での自然体験学習 3年生</p> <p>11/17 認知症サポーター養成講座(5年生) 10/27 見学学習(4年生)白老ウポポイ</p> <p>1/26 租税教室(6年生)</p> <p>6/20 福祉学習 出前授業（視覚障害者を招聘）⇒6/29 出前授業（車いす体験など）…4年生</p>
幌別中	<p>通年 毎定期テスト1週間前より、「携帯・スマホ制限期間」を設定(2小学校とも連携) 社明運動や人権、男女共同参画に係る作文コンクールや書道展への出品</p> <p>5/28 ふれあい農園作業（1年 中止）</p> <p>7/13 校外学習(1年 フォレスト鉱山における自然体験学習)</p> <p>7/19 DBA集会(いじめ撲滅集会)</p> <p>7/20 非行防止教室 講師：市教委社会教育G職員</p> <p>7/20 ボランティア局地域清掃</p> <p>8/27 幌別小・幌別東小・幌別中合同避難訓練→中止</p> <p>9/16 学校祭において、行灯行列を実施</p> <p>10/21 すばる学級校外学習(NHK、科学館等)</p> <p>11/5 「命の大切さを学ぶ教室」実施（土曜授業:交通死亡事故被害者遺族による講演）</p> <p>11/17 すばる学級職業体験(NPO法人エスポワール)</p> <p>11/24 認知症サポーター養成講座(2年 講師：登別市地域包括支援センター職員)</p> <p>11/29 校内主張大会</p> <p>12/14 保健指導（性の指導）(3年 講師：The Birds and Bees 代表)</p> <p>12/20 冬休み前啓発集会 講師：室蘭警察署員</p> <p>2/21 保健指導（性の指導）(2年 講師：登別市スクールカウンセラー)</p> <p>2/27 保健指導（性の指導）(1年 講師：登別市保健師)</p>

<p>鷺別中</p>	<p>           通年 生徒会によるペットボトルキャップ、書き損じはがきの回収                → 海星学院に届け、ワクチン支援などに協力            4/14 3年による通学路清掃 1・2年による通学路清掃(9/30)            5月 花壇の土おこし 6月 花壇の花苗植え(ボランティア部、特別支援学級)放課後等を活用            6/6～6/24 11/7～11/29 生徒会生活向上週間 各委員会の取組実施            8/19 ウポポイ見学(1年)            8/24 携帯安全教室(N T T) 11/7～11/29 生徒会生活向上週間 各委員会の取組実施            6/10 「いのちをいただく」の朗読劇(チームいちばん星)による全校道徳            10/4 命の授業 室蘭警察署による全校道徳            11/28 校内主張大会            1年 10/7 地域探索(ふるさと学習講演会)            2年 7/21 市観光経済部による講演 11/19 認知症サポーター養成講座(けいあい)→中止                12/14 性教育講話会(性教育)            3年 保育実習(鷺別保育所)→保育所と相談の上計画段階で中止            ギター・マンドリン部 地域演奏 →中止         </p>
<p>登別中</p>	<p>           4/ 9 携帯・スマホ安全教室(KDDI)            6/10 1年 洞爺湖有珠山ジオパークでの見学学習            7/14・15 2・3年職業体験            7/19 校下の清掃奉仕活動(町内クリーン作戦)による地域の環境美化            7/23 登別ブランドまるしえ 熊舞披露            ・わくわく広場祭典 吹奏楽部演奏 中止            通年 熊舞保存会による指導            ・J R 登別駅で熊舞披露(外国人観光客向けに英語・中国語で紹介)→中止            ・地獄まつり参加 鬼みこし運行、熊舞披露、吹奏楽演奏実施                外国人観光客に向けて英語や中国語で紹介 →中止            9/18 登別イオンでの熊舞披露            10/18 思春期教室(性教育講座)妊婦体験            ・3年 幼児とのふれあい体験(コロポックル)→中止            10/22 土曜授業 1年：職業講話                2年：認知症サポーター養成講座(地域包括支援センター)                3年：薬物乱用防止教室            11/ 3 「いじめを生まないために必要なことは」いじめ撲滅集会            11/25 JICA講演会 講師：津田晴香さん(ブラジルで日本語教師を経験)            1/30 2年 救急救命講習            2/25 熊舞引継式            2/28 ヌプルオープニングセレモニー 熊舞披露         </p>
<p>西陵中</p>	<p>           6/6 事前アンケート、ほっと実施 生徒会執行部に「いじめ防止」のためのスローガン考            案依頼            6/28 「いじめを考える会」について、全校協議会を開催し、アンケートのまとめ、スロー            ガン、学級の意見を発表            7/9 全校道徳「いじめ撲滅宣言」行動宣言読み上げ、My Action Card の記入            8/25 1年生自然体験学習ふおれすと鉱山 10/6 2年生認知症サポーター養成講座            6/2 1年生ウポポイ見学         </p>

	<p>1 年生職場訪問～新日鉄住金、室蘭工業大学 → 職場体験学習（登別漁港・工学院）→学校閉鎖の為中止</p> <p>2 年生思春期教室～誕生学講座 講師：公益財団法人たん学協会認定講師 → 思春期の健康 12/13</p> <p>11/18 JICA 出前講座(セネガル派遣経験者報告)</p> <p>2/22 全市一斉ピンクシャツデーへの取組(生徒会執行部作成啓発動画視聴も含む)</p>
緑陽中	<p>7/8 1年自然体験学習(ふおれすと鉱山)</p> <p>11/21 2年思春期教室</p> <p>1/18 2年認知症サポーター養成講座</p> <p>2/22 全市一斉ピンクシャツデーへの取組</p>

○ 「スキー授業」及び「温泉入浴体験」

○スキー授業実施日～全ての学校において、予定通り実施。

【5・6年生】

2/7 幌別小、2/9 青葉小、2/10 若草小、2/13 鷺別小、2/15 幌別東小、  
2/16 富岸小6年、2/21 富岸小5年、2/24 幌別西小

【登別小（全学年）】

1/24（3・4年）、1/31（5・6年）、2/2（3・4年）、2/6（5・6年）、2/8（1・2年）

○教職員向け研修

実施日：令和5年1月12日 参加者：15名

教職員だけでなく、地域ボランティアも対象に含め研修を実施した。

指導は、登別スキー連盟指導員3名。

○温泉入浴体験は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止

評価	<p>昨年度、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により実施できなかったため、6年生で初めてスキーを体験する児童も多かったが、多くのスキー連盟指導員、地域ボランティアの協力があり、事故なく実施することができた。子供たちのみならず、スキー経験のない教職員も多いため、研修機会の継続と充実を図っていきたい。</p> <p>温泉入浴体験については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったが主に総合的な学習の時間や道徳科の授業において、各校の目指す児童生徒像や指導目標のもと、本市の豊かな地域資源や人材を生かしながら、可能な限り実体験を重視した実践を継続することで、豊かな心を育む体験活動を発展させることができた。</p> <p>キャリア教育については、平成29年度から令和2年度までの4年間、日本工学院北海道専門学校校長・副校長、北海道登別青嶺高等学校校長、登別市校長会会長・副会長などが出席する「キャリア教育懇談会」、教頭や課長などが出席する「キャリア教育実務担当者会議」を開催してきた（令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、未実施）。令和4年度は「登別市キャリア教育研修」とし、市内小中学校の教頭が工学院北海道専門学校を訪問し、工学院の教育内容に関する研修、施設の見学等を行った。</p>
今後の方向性	<p>豊かな人間性の育成については、学校行事や学級活動、児童会・生徒会活動を通して、自己肯定感や自己有用感を醸成し、人権を尊重し他者を思いやる教育を展開していく。</p> <p>また、地域を担う人材の育成という観点から、地域資源を生かした体験活動やキャリア教育のさらなる充実努めるとともに、地域社会に対する理解を深める取組や教育活動の一層の推進に努める。</p>

項目	8 いじめ・不登校対策
点検内容	<p>いじめ・不登校対策については、「いじめ・不登校等対策会議」での事例研修や情報交流を通して、問題の未然防止や早期発見・早期対応に努めるとともに、スクールカウンセラーの配置拡充や各種相談体制の充実、さらには適応指導教室の充実などにより、個に応じた指導が適切に実施されるよう努める。</p> <p>特に、「鬼っ子フォーラム」の開催や「ピンクシャツデー」への参画を通して、児童生徒がいじめ問題を主体的に考え、各校の児童会・生徒会活動の成果と課題を共有する機会を設けるなど、引き続き「みんなが通いたくなる学校づくり」の取組を推進する。</p>

## 取組状況

○いじめの起さない環境づくりや不登校に対する体制づくり

期日	内容
5月11日	<p>【コロナ感染拡大防止のため 書面会議】</p> <p>第1回いじめ・不登校等対策会議（状況報告、情報交流についての資料送付） 指導力向上研修①：いじめの定義、いじめの認知等についての資料送付</p>
5月下旬配信	<p>教職員研修会（講演）*Googleclassroomによるオンデマンド配信 講師：特定医療法人社団千寿会三愛病院 医療福祉相談室係長 竹内 亮平 氏（精神保健福祉士・社会福祉士） 内容：いじめについて（重大事案の再発防止策等について）</p>
7月7日	<p>第2回いじめ・不登校等対策会議 *不登校児童生徒への対応：事例研修 *いじめ防止対策：情報交流</p>
9月下旬配信	<p>第3回いじめ・不登校等対策会議 指導力向上研修② *Googleclassroomによるオンデマンド配信 講師：幌別西小学校 荒木教頭先生 演題：『子ども達と先生達の笑顔のために～不登校対応について考える～』</p>
10月6日	<p>第4回いじめ・不登校等対策会議 *不登校児童生徒への対応：事例研修 *いじめ防止対策：情報交流</p>
1月下旬	<p>第5回いじめ・不登校等対策会議 指導力向上研修③ *Googleclassroomによるオンデマンド配信 講師：胆振教育局 實福指導主事 内容：生徒指導提要の改訂、学校におけるいじめ対応、不登校児童生徒への支援</p>
2月1日	<p>第6回いじめ・不登校等対策会議 *各学校の取組の成果と課題の交流</p>

- ・適応指導教室「スタディ広場」週1回 学校の申し出で協議し随時実施 7名通級(昨年度7名)
- ・体験教室「陶芸教室」(健千窯)水曜午前 学校の申し出で協議し随時実施 13名通級(昨年度13名)
- ・自然体験 鷲別岳登山 8月4日予定 ※参加希望が無く未実施
- ・教育指導専門員による相談(電話・来室・メール) 21件(昨年度11件)
- ・教育指導専門員による学校訪問 年3回(6月、12月、2月)
- ・不登校等支援関係者情報交流懇談会(S・C・S・S・W・心の教室相談員) 2月1日に実施
- ・保護者相談～希望により随時開催
- ・いじめ関係 アンケート調査(年2回) 取組状況調査(年2回) 対応状況調査(年3回)
- ・不登校児童生徒への支援状況の把握(年2回)

○不登校出現件数・いじめ認知件数の推移

(単位：件数)

不登校出現件数の推移 (病欠以外の欠席累計30日以上)							いじめ認知件数の推移						
	H29	H30	R1	R2	R3	R4		H29	H30	R1	R2	R3	R4
小	2	1	1	3	6	10	小	3	11	17	21	34	61
中	19	21	29	26	19	31	中	11	5	7	6	19	39
計	21	22	30	29	25	41	計	14	16	24	27	53	100

○S C・S S W・心の教室相談員の支援 ※( )は昨年度

・S C (スクールカウンセラー) の相談内容

相談者	不登校	いじめ	暴力	友人関係	教師との関係	親子関係	心身健康	発達障害	学業進路	合計
児童生徒	70(44)	0(0)	0(0)	18(14)	1(1)	9(5)	2(12)	10(5)	5(5)	115(86)
保護者	63(20)	0(0)	0(0)	2(0)	1(0)	3(2)	1(6)	11(1)	1(1)	81(30)
教職員	19(31)	0(0)	0(0)	5(5)	1(1)	1(8)	3(17)	8(3)	0(2)	37(67)
その他	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

・S S W (スクールソーシャルワーカー) ～2名配置 活動状況 全学校を訪問

活動時間	10:00～15:45
対象	支援児童生徒 保育所0(0)人 小学校7(13) 中学校6(7)人 その他0(0)人
問題別	家庭環境3(9)件 不登校8(14)件 児童虐待0(1)件 発達障害0(3)件 友人関係1(0)件 教職員関係1(0)件
訪問回数	学校34(55)件 関係機関8(14)件 家庭26(20)件

・心の教室相談員 相談件数 計 192(84)件

勤務日数 鷲別中 80(81)日・幌別中 107(101)日・緑陽中 0(80)日・西陵中 81(80)日・登別中 117(80)日

<b>評価</b>	<p>登別市いじめ・不登校等対策会議や教育指導専門員による学校訪問、アンケート調査等を通して、いじめ・不登校の実態把握に努めるとともに、具体的手だての共有を図り、福祉部局等の関係機関との連携により効果的な指導を展開した。</p> <p>S N S等のデジタルコンテンツの発展や、コロナ禍の生活により、インターネット等の依存症や、生活リズムの乱れなど児童生徒が抱える問題が多様化、複雑化していることから、心の教室相談員やスクールカウンセラー等への相談が増加傾向にある。</p> <p>また、利用者数は少ないものの、陶芸教室や適応指導教室では登校への意欲を高めるために、きめ細やかな支援を行うことができた。支援を必要とする児童生徒が効果的に利用することができるよう、引き続き学校・保護者への適切な働き掛けをする必要がある。</p>
<b>今後の方向性</b>	<p>いじめ・不登校対策については、引き続き登別市いじめ・不登校等対策会議での事例研修等を通じて、学校現場に携わる関係者一人ひとりがいじめ・不登校を最重要課題の一つと捉えるとともに、いじめの未然防止や早期発見・早期対応、不登校となった児童生徒に対して個別最適な支援を推進するため、教育支援センター機能の充実に努める。</p> <p>また、いじめられていると感じたらすぐに自分の身を守るため、一人で悩まずに誰かに知らせる行動がとれるよう、「S O S の出し方に関する教育」を推進し、体験的な活動を取り入れた授業にも取り組んでいく。</p> <p>そのほか、令和3年度から実施している「鬼っ子フォーラム」の開催や「ピンクシャッター」への参画を継続し、児童生徒がいじめ問題を主体的に考え、各校の児童会・生徒会活動の成果と課題を共有する機会を設けるなど、引き続き「みんなが通いたくなる学校づくり」の取組を推進していく。</p>

項目	9 安全対策
点検内容	<p>安全対策・安全指導については、学校が実施する避難訓練や一日防災教室などを通して、災害等が発生した場合に児童生徒自らが適切に対応することができるよう支援する。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症対策については、国や北海道の通知に準拠して本市が作成した基本対応マニュアル等に基づき、登別市校長会と協議の上、感染状況に対応しながら、感染症の拡大防止と円滑な教育活動の両立に努める。</p>

## 取組状況

### ○交通安全指導

小学校～入学前、学校説明会で通学路地図を保護者に手渡し、実際に保護者と歩くことを推奨。新学期に合わせ交通安全教室実施。入学後、教職員による登下校指導や自転車の実地指導実施。

中学校～新学期に合わせ交通安全教室実施。自転車通学を認めている学校ではパンフレット等作成し指導を重ね、安全意識啓発。

### ○ネットパトロールによる取組

- ・道教委委託から情報提供に基づき、その状況に応じて全体あるいは当事者に指導し、保護者に協力を求めるもの。令和4年度の情報提供の数は8件（委託会社）、2件（学校）。すべて解決済み。

### ○通学路の安全

- ・危険箇所の把握と改善～各校から通学路危険箇所の報告を受け、道路管理者など関係機関と通学路の合同点検を実施後、通学路安全推進協議会を開催し、合同点検箇所の結果の共有や危険箇所に対する対策メニューを決定し、一部の危険箇所について対策を実施した。

通学路安全プログラムに基づく危険箇所は26箇所であり、市HPや各校通学路安全マップ等で周知を図っている。

※ 協議会参加予定者：北海道開発局室蘭開発建設部・胆振総合振興局室蘭建設管理部・室蘭警察署交通課・登別市都市整備部・市民生活部・登別市教育委員会学校教育グループ

- ・地域や保護者の協力を得た見守り活動～町内会等地域ボランティアによる見守り活動のほか、保険会社や郵便局など、市が協定を結ぶ企業と情報共有をして進めた。

### ○防犯教室

幌別小	4月（4/25～4/28） 安全指導週間 不審者対応等 室蘭警察署よりビデオ借用、各学級で視聴と指導 12/2 薬物乱用防止教室（5・6年 講師：室蘭警察署） 犯罪の現状について講話を受け、トラブルに巻き込まれないために気を付けるべきことについて理解を深めることができた。
幌西小	7/14 不審者対応教室（1～3年、4～6年の2回実施） 講師：室蘭警察署生活安全係
鷺別小	2/21 放送による非行防止教室（非行防犯に関する講話）講師：室蘭警察署員 対象：全学年
登別小	6月 不審者対応訓練（全学年）・・・令和4年は未実施（隔年実施 R5は実施） 11/5 携帯・スマホ安全教室（全学年）
富岸小	5/16・5/20 安全教室（低・高に分けて実施）
幌東小	5/25 不審者対応避難訓練
若草小	12/20 薬物乱用防止教室（6年）講師：室蘭警察署員
青葉小	5/24 防犯教室（3～6年生） 6/15 不審者対応訓練
幌別中	7/20 非行防止教室 講師：市教委社会教育G職員 12/20 冬休み前啓発集会 講師：室蘭警察署員

鷺別中	8/24 1年携帯安全教室(N T T) 3/6 3年薬物乱用防止教室(室蘭警察署)
登別中	4/ 9 携帯スマホ安全教室(講師：KDDI社員) 10/22 3年薬物乱用防止教室
西陵中	11/24 薬物乱用防止教室(3年学年道徳)
緑陽中	4/12 交通安全教室 3/7 薬物乱用防止教室(3年)

○情報モラル教育～インターネット安全教室

幌別小	11/5 スマートフォンや携帯電話の利用方法・マナーについて学ぶ。 対象 全学年児童、全保護者 講師：芳原先生
幌西小	携帯スマホの安全な利用法やネットトラブルなどについて、担任から指導。(高学年)
鷺別小	12/15 携帯電話教室(5, 6年)
登別小	11/5 携帯・スマホ安全教室(全学年) 外部講師：携帯電話会社職員 実際の被害事例に基づき、危険性と安全な使用の仕方についての講話。
富岸小	「ケータイ・スマホ3つのルール」強調ウィーク 11/5 メディアトラブル講座(保護者対象)
幌東小	7/20 4年生以上対象 ネット安全教室
若草小	8/23 携帯安全教室(5年 LINE) 7/6 スマホ携帯安全教室(ドコモ 6年) 10/6 スマホ・ケータイ安全教室(KDDI 3・4年)
青葉小	5/24 防犯教室「スマートフォン・ネットトラブル等」(4・6年生) 室蘭警察署
幌別中	7/20 非行防止教室 講師：市教委社会教育G職員 12/20 冬休み前啓発集会 講師：室蘭警察署員
鷺別中	7/14 3年生 8/25 2年生 9/2 1年生 スクールカウンセラーによるメンタルヘルス授業 8/24 1年携帯安全教室(N T T) 12/17 スマホ携帯の危険性について 新入生保護者説明会にて新入学生保護者対象(室蘭警察署員)
登別中	4/ 9 携帯スマホ安全教室(講師：KDDI社員)
西陵中	6/29 スマホ・ケータイ安全教室(全学年対象：全校道徳)
緑陽中	10/22 SNSトラブル防止教室(LINEみらい財団の講師によるオンライン・ワークショップ)

○インターネット使用に関わる指導や啓発の取組

- ・小4から中3まで、ゲーム機やスマートフォン等インターネット機器に関する調査を年1回(5～6月)実施
  - ※「自分専用のインターネットが使用できる機器の所有率」 令和4年5月調査結果 ※( )は昨年度  
小4 83.3% 小5 76.1% 小6 87.6% 中1 93.2% 中2 95.8% 中3 98.4%  
(小4 75.5% 小5 81.3% 小6 85.8% 中1 88.1% 中2 93.5% 中3 93.0%)
  - ※「スマホ所持率」 令和4年5月調査結果 ※( )は昨年度  
小4 31.5% 小5 46.8% 小6 47.8% 中1 74.1% 中2 80.7% 中3 87.3%  
(小4 23.2% 小5 28.0% 小6 41.8% 中1 71.0% 中2 75.7% 中3 75.7%)
  - ※「スマホ・携帯の1日の使用時間が3時間以上の割合」 令和4年5月調査結果 ※( )は昨年度  
小4 12.8% 小5 20.4% 小6 18.2% 中1 20.7% 中2 32.3% 中3 29.5%  
(小4 15.8% 小5 16.2% 小6 15.5% 中1 20.6% 中2 19.5% 中3 19.1%)
- ・各学校では「ケータイ・スマホ3つのルール」に基づき、児童生徒への指導や保護者への啓発を強化。学校運営協議会で協議する場面も多く見られた。

○避難訓練

学校名	取組内容
幌別小	避難訓練(地震・火災) 5/12 教室から避難 7/5 休み時間の避難 集団下校訓練 学期1回 校外班ごとによる下校訓練 8/27 幌東小・幌別中合同で津波対策避難訓練実施 小学生は中学生や地域の方に見守られながら避難所に向かう計画だったが雨天により合同開催を中止。1年生単独開催で幌中グラウンドへ避難訓練。
幌西小	5/16 火災想定避難訓練 9/6 津波想定避難訓練(西陵中との合同避難訓練)
鷺別小	5/24 火災避難訓練 講師:消防署職員 9/1 北海道シェイクアウトに参加 9/6 胆振防災教育デー(全校朝会校長講和) 10/22 一日防災学校津波避難訓練(全校児童による高台避難経路確認)
登別小	4/25 火災避難訓練 7/13 立ち止まり訓練(中休み) 9/7 地震・津波避難訓練(高台避難:時代村社宅まで) 12/14 立ち止まり訓練(中休み) 2/15 身支度訓練 3/8 身支度訓練
富岸小	4/21 地震・火災時の避難訓練 7/14 休み時間を想定した地震・火災時の避難訓練 9/10 小中一貫・地域連携避難訓練(津波避難) 亀田公園まで避難、富岸町内会による避難誘導協力・引き渡し訓練
幌東小	4/26 火災避難訓練 5/25 不審者対応避難訓練 8/27 幌東小・幌小・幌別中合同で津波対策避難訓練を実施 →雨天のため9月26日に実施 2/3 津波を想定した避難訓練、工学院女子寮ドミトリーまで避難
若草小	5/23 火災想定避難訓練 9/1 北海道シェイクアウト(地震想定避難訓練) 7/9 地震・津波想定避難訓練 9/3 児童引き渡し訓練 9/6 胆振防災の日
青葉小	5/17 避難訓練(火災想定) 9/10 避難訓練(地震・津波想定)…「地域合同」
幌別中	6/1 火災想定避難訓練を実施 8/27 幌別小・幌別東小・幌別中合同避難訓練が中止ため、単独で津波想定訓練を実施
鷺別中	6/24 避難訓練(火災) 9/10 避難訓練(津波) 高台(室蘭自動車学校方面)の避難場所への移動
登別中	5/1 火災を想定した避難訓練 9/3 地震津波を想定した高台避難訓練
西陵中	4/28 火災を想定した避難訓練 8/16 安全研修(災害時避難器具救助袋の使い方等) 9/6 胆振防災教育デー(小中合同避難訓練)
緑陽中	5/2 火災避難訓練 9/10 津波避難訓練

評価	<p>防犯教室は、近年の不審者通報や実際の被害の増加に伴い、各学校が警察署等の協力を得て、身を守るための具体策を講話や訓練によって学ぶ機会を設定することができた。</p> <p>携帯・スマホの所持率増加を受け、生活リズムの乱れや人間関係のトラブルに対応するため、携帯電話会社やNPO法人の協力を得て、情報モラルに関する教室・授業を行った。</p> <p>通学路の安全については、通学路安全推進協議会を開催、報告のあった危険箇所について、関係部署に情報提供した。</p>
----	--

今後の方向性	<p>安全対策・安全指導については、学校が実施する避難訓練や一日防災教室などによる防災教育のほか、災害等が発生した場合に児童生徒自らが適切な対応がとれるよう、平時からフェーズフリーの視点を生かした教育活動を推進していく。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症対策については、国や北海道の通知に準拠して教育委員会が作成している基本対応マニュアル等を常に見直ししながら、感染状況を的確に把握し、感染症の拡大防止と歩みを止めない教育活動の両立に努める。</p>
--------	---

項目	10 体力の向上
点検内容	<p>健康・体力づくりについては、社会環境や生活様式の変化、コロナ禍の影響などもあり、児童生徒の運動機会の減少や体力の低下が生じているので、スポーツ指導員の派遣などを通して、学校における体育指導の充実や運動の習慣化を図る。</p> <p>また、「ノーゲームデー」の啓発や「登別市ケータイ・スマホ3つのルール」の周知徹底を通して、家庭における規則正しい生活習慣の定着を促していく。</p>

### 取組状況

○令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果と分析（実施時期：令和3年4～7月）

※ 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となった。

#### 小学校 5年男子

	実施数	身長 (cm)	体重 (kg)	握力 (kg)	上体 起こし (回)	長座体 前屈 (cm)	反復 横とび (点)	20m シャトル ラン (回)	50m走 (秒)	立ち 幅とび (cm)	ソフト ボール 投げ (m)	体力 合計点 (点)
全国	501.742	139.5	35.5	16.2	18.9	33.8	40.4	45.9	9.5	150.8	20.3	52.3
北海道	11.894	140.1	37.5	17.2	18.7	34.2	41.5	43.9	9.9	151.2	20.7	52.2
<b>R4 登別</b>	<b>152</b>	<b>140.0</b>	<b>37.6</b>	<b>15.7</b>	<b>18.6</b>	<b>36.3</b>	<b>42.7</b>	<b>46.9</b>	<b>9.9</b>	<b>154.4</b>	<b>19.7</b>	<b>53.0</b>
R3 登別	168	139.6	36.5	15.6	18.4	35.1	42.4	50.4	9.8	150.4	20.3	52.8
R1 登別	184	138.6	35.0	16.7	19.9	37.2	44.8	53.1	9.6	154.9	21.6	55.1

#### 小学校 5年女子

	実施数	身長 (cm)	体重 (kg)	握力 (kg)	上体 起こし (回)	長座体 前屈 (cm)	反復 横とび (点)	20m シャトル ラン (回)	50m走 (秒)	立ち 幅とび (cm)	ソフト ボール 投げ (m)	体力 合計点 (点)
全国	484.114	141.3	35.4	16.1	18.0	38.2	38.7	37.0	9.7	145.6	13.2	54.3
北海道	11.709	141.8	36.5	16.9	18.0	38.1	40.0	36.0	9.9	145.2	13.9	54.5
<b>R4 登別</b>	<b>158</b>	<b>142.3</b>	<b>36.8</b>	<b>16.0</b>	<b>17.3</b>	<b>40.1</b>	<b>40.9</b>	<b>37.9</b>	<b>9.9</b>	<b>149.0</b>	<b>13.9</b>	<b>55.1</b>
R3 登別	159	142.2	36.5	16.7	17.8	40.3	41.2	41.1	9.8	146.7	14.8	56.1
R1 登別	186	140.3	35.2	16.3	19.0	41.0	42.1	39.5	9.8	146.7	13.8	56.3

中学校 2年男子

	実施数	身長 (cm)	体重 (kg)	握力 (kg)	上体 起こし (回)	長座体 前屈 (cm)	反復 横とび (点)	持久走 (秒)	20m シャトル ラン (回)	50m走 (秒)	立ち 幅とび (cm)	ハンド ボール 投げ (m)	体力 合計点 (点)
全国	466,965	161.1	50.5	29.0	25.7	43.9	51.1	409.8	78.1	8.1	196.9	20.3	41.0
北海道	11,410	161.9	52.3	29.6	25.3	42.3	49.7	431.0	73.6	8.3	193.4	19.9	39.6
<b>R4 登別</b>	<b>152</b>	<b>161.1</b>	<b>51.5</b>	<b>27.8</b>	<b>24.1</b>	<b>42.7</b>	<b>48.6</b>	<b>422.1</b>	<b>71.5</b>	<b>8.4</b>	<b>196.7</b>	<b>18.6</b>	<b>37.6</b>
R3 登別	167	161.4	50.0	27.9	26.4	43.4	51.1	445.5	82.8	8.1	200.7	20.3	41.0
R1 登別	163	161.5	50.6	29.2	24.8	44.5	51.1	424.3	77.1	8.4	198.5	19.2	39.9

中学校 2年女子

	実施数	身長 (cm)	体重 (kg)	握力 (kg)	上体 起こし (回)	長座体 前屈 (cm)	反復 横とび (点)	持久走 (秒)	20m シャトル ラン (回)	50m走 (秒)	立ち 幅とび (cm)	ハンド ボール 投げ (m)	体力 合計点 (点)
全国	443,699	154.9	47.1	23.2	21.7	46.1	45.8	302.9	51.6	9.0	167.0	12.5	47.4
北海道	11,233	155.2	47.6	22.9	20.7	44.6	44.3	313.7	46.9	9.2	162.0	12.2	44.9
<b>R4 登別</b>	<b>142</b>	<b>154.2</b>	<b>46.5</b>	<b>21.4</b>	<b>19.7</b>	<b>44.4</b>	<b>41.9</b>	<b>309.7</b>	<b>44.2</b>	<b>9.3</b>	<b>161.0</b>	<b>11.7</b>	<b>41.4</b>
R3 登別	156	155.3	47.9	22.5	20.5	46.8	44.7	317.9	51.9	9.0	168.1	12.7	46.7
R1 登別	139	155.3	47.3	23.4	20.1	46.9	45.0	291.3	57.2	9.2	170.5	12.6	47.4

<小学校男子>

- ・体力合計点は、全国平均とほぼ同程度である。
- ・「反復横跳び」「長座体前屈」は全国平均を上回り、「立ち幅跳び」は全国平均をやや上回っている。「握力」は全国平均をやや下回り、「50m走」は下回っている。
- ・力強さを示す「握力」が全国平均をやや下回っていることから、筋力を向上させる取組を推進していく必要がある。また、疾走能力を要素とする「50m走」が全国平均を下回っていることから、走力を挙げる取組を推進する必要がある。

<小学校女子>

- ・体力合計点は、全国平均とほぼ同程度である。
- ・「長座体前屈」「反復横跳び」「立ち幅跳び」は全国平均を上回り、「ソフトボール投げ」は全国平均をやや上回っている。「50m走」「上体起こし」が全国平均をやや下回っている。
- ・疾走能力を要素とする「50m走」が全国平均をやや下回っていることから、走力を上げる取組を充実させる必要がある。

<中学校男子>

- ・体力合計点は、全国平均とほぼ同程度。
- ・「立ち幅跳び」は全国平均とほぼ同程度である。「50m走」「上体起こし」等は全国平均を下回っている。
- ・疾走能力を要素とする「50m走」が全国平均をやや下回っていることから、走力を上げる取組を充実させる必要がある。

<中学校女子>

- ・体力合計点は、全国平均を下回っている。
- ・「持久走」「長座体前屈」が全国平均をやや下回り、「反復横跳び」「握力」などで全国平均を下回っている。
- ・全身持久力を要素とする「持久走」や敏捷性を要素とする「反復横跳び」が全国平均を下回っていることから、改善に向けた取組を推進する必要がある。

○体力向上一校一実践内容

幌別小	短縄 記録カードをもとに練習(全学年、通年) 長縄記録会(全学年 12月)全校で記録会実施
幌西小	短縄による日常的な体力づくり(全学年、通年) 11/25 短縄記録会(2学年ごとの実施)
鷺別小	12/9アスリート先生(ダブルダッチ1, 2年) 12/9~16 縄跳び記録会を2学年ごと実施。「がんばりカード」の年間活用
登別小	なわとび(全学年、通年)自己目標を設定 体力づくりの時間に取り組む。 前期:90秒間持久跳び → 中止 中期:持久走(5分間走) 後期:長縄跳び →短縄跳びに切り替えて実施 長縄発表会(全学年 12月) →中止 全校遊び(2月) → 中止 すもう(全学年、5~9月)体育の時間に実施、夏・秋場所を設定する。 → 中止 持久走(全学年 8~9月) 自己目標を設定、体力づくりの時間に取り組む。 9/26、29 持久走記録会(全学年) スキー(全学年 1~2月) 裏山(主に1・2年使用) スキー場(1・2年1回、他2回)
富岸小	なわとび道場(全学年、通年)毎朝のなわとび実施 短縄大会(全学年、6月) グラウンドにドッジボールコート常設 マイペースラン(全学年、9月) 長縄大会(全学年、12/3) とんけし運動広場(おにスポ主催)
幌東小	全校児童「新体力テスト」の実施 校内体力づくりの実施~短縄跳び、全校表現(よさこい) 体力強化週間(持久走への取組) 10/14 全校持久走記録会 朝の体力づくり 週1回 金曜日に実施
若草小	なわとび 休み時間に「なわとびカード」の名人を目指して取り組む(6月~12月) 「短縄記録会」(6~12月)の開催 2/10 スキー学習(5・6年)
青葉小	「新体力テスト」実施(全学年) 短縄跳び(全学年、6~2月)学級ごとに取り組む。
幌別中	ダンス指導学年単位で発表(3学期) 保体専門委員会による球技交流会の実施(3学期)
鷺別中	2年生 新体力テストの結果を受けて、体育科通信の発行と体育授業での補強運動を実施 2年生 2月ダンス指導及び発表会の実施
登別中	導入5分間アップ(全学年・通年)授業導入時筋トレ、コーディネーショントレーニング実施 体力アップイベント(全学年)体幹トレーニングなど生徒による企画と実行 9/22・29 ダンス指導(全学年)インストラクターによる指導
西陵中	保健体育の授業において毎時間必須の基礎体力作り運動を実施 (年間 1,050回以上を超える体力運動実施)
緑陽中	「新体力テスト」実施(全学年) 長縄跳び(全学年体育科で実施)

○体育コーディネーターの活用による体育授業及び体力向上の支援(子ども健康・体力改善事業)

委託先 NPO法人「おにスポ」

市内全小学校にスポーツ指導員を1校あたり授業で年間209.25時間以上、放課後の運動教室で年間24時間以上開催。

- 実施内容 ①「体育の授業」質向上支援~・柔軟性・俊敏性を養う動きを取り入れた準備運動の導入。  
②実技の手本を見せ、児童へ体の動かし方やコツ、練習のポイントのアドバイスを実施。

- ③準備運動で、単位時間の中で行う運動に必要な筋肉を使う体操を導入。
- ④体力向上を図る取組の支援～・おにごっこや球技を取り入れた遊びへの参加について、積極的に児童に働き掛けることで、運動への意欲の向上を図るとともに、運動不足の解消、持久力、瞬発力を高められるような取組を実施。
- ⑤新体力テストの実施に関する指導補助。

実績

①授業実施時間

鷺別小	若草小	富岸小	青葉小	幌別小	幌東小	幌西小	登別小
209.25	209.25	209.25	209.25	209.25	209.25	209.25	209.25

②放課後の運動教室開催時間

鷺別小	若草小	富岸小	青葉小	幌別小	幌東小	幌西小	青葉小
18	18	18	18	18	18	16	18

※ 放課後の運動教室開催については、新型コロナウイルス感染症の影響により、全ての小学校で予定する開催時間に満たなかった。

○栄養教諭による食育・給食指導

・勤務校での指導状況

幌別小 ※ 給食指導～毎日学級訪問

- 1年 4/13 給食について知ろう 6/17 うがい手洗い教室（明治食育教室）  
9/5 給食ができるまでを知ろう
- 2年 9/26 元気が出る朝ごはん（明治食育教室） 1/24 おはし名人になろう
- 3年 7/6 食べ物の3つの働きを知ろう 2/20 牛乳ができるまで（明治食育教室）
- 4年 5/17 朝ご飯のよさ、働きを見直そう 12/22 丈夫な骨を作ろう（明治食育教室）
- 5年 10/28 運動と食事（明治食育教室） 12/8 食べ物の働きについて知ろう
- 6年 7/11 考えよう明日の体作り（明治食育教室） 11/21 給食メニューを考えよう  
特支 12/15 よくかんで食べよう

※ 給食指導～毎日学級訪問 食育掲示の充実～年10回程度、  
給食だよりの発行年12回発行（内11月は、校区3校の養護教諭と連携し発行）

幌別東小

- 1年 6/5 給食について知ろう
- 2年 7/12 手洗い名人になろう 2/3 かむことについて考えよう
- 3・4年 10/31 食べ物の3つの働きを知ろう
- 5年 5/25 ほうれん草を茹でよう 8/30 畑のジャガイモからポテトチップスを作ろう  
12/7 五大栄養素について知ろう 12/7～9 給食を五大栄養素に分ける活動
- 6年 7/13 給食メニューを考えよう 9/14～15 修学旅行での食指導
- 1・2年 10/18 ミルク教室 乳牛について（明治食育教室）
- 3・4年 10/12 おやつのみみつ（ヤクルト）
- 5・6年 10/18 ヨーグルトのみみつ（明治食育教室）

※ 給食指導～毎日学級訪問、食育掲示の充実～年10回程度、ポピュレーションアプローチの徹底、  
給食だよりの発行年12回発行（内11月は、校区3校の養護教諭と連携し発行）

・派遣先での指導状況

- 幌西小 7/19 2年（好き嫌いせず食べよう） 9/9 4年（朝ご飯のよさを知ろう）
- 若草小 6/22 1年（給食ができるまで） 10/4 5年（食べ物の働きについて知ろう）

登別小 12/6 2年（好き嫌いせず食べよう） 12/13 5年（食べ物の働きについて知ろう）  
 青葉小 10/28 2年（給食ができるまでを知ろう） 11/18 4年（食べ物の3つの働き）  
 鷺別小 11/15 3年（食べ物の3つの働き） 11/22 4年（よりよい朝ご飯について）  
 富岸小 7/20 6年（バランスのよい給食メニューを考えよう） 7/21 2年（給食ができるまでを知ろう）

○薬物乱用防止教室

幌別小	12/3 5・6年 危険ドラッグも含めた非行の実態について室蘭警察署員による講話の予定だったが、スマホの危険性についての講話が中心になった。担任から各学級で薬物について追加で指導。
幌西小	薬物乱用防止に関する資料等を活用し学級担任が保健の時間に指導
鷺別小	6年 シンナーや麻薬の恐ろしさについて、担任による指導（保健の授業で実施）
登別小	薬物乱用防止に関する資料等を活用し学級担任が保健の時間に指導
富岸小	2/10 6年薬物乱用防止教室 室蘭警察署員から薬の恐ろしさと使用は絶対にいけない旨の講話（喫煙も含む）
幌東小	2/24 6年 薬物乱用防止教室（資料を取り寄せ養護教諭が実施）
若草小	12/20 薬物乱用防止教室(6年) 講師：室蘭警察署員
青葉小	薬物乱用防止に関する資料等を活用し学級担任が保健の時間に指導
幌別中	7/20 非行防止教室 講師：市教委社会教育C職員 12/20 冬休み前啓発集会 講師：室蘭警察署員
鷺別中	3/6 3年 薬物乱用防止教室(室蘭警察署)
登別中	10/22 3年薬物乱用防止教室
西陵中	11/24 3年 室蘭警察署員による、薬物全般に関する講話
緑陽中	3/7 薬物乱用防止教室(3年)

<b>評価</b>	<p>全国体力・運動能力、運動習慣等調査は、小学校男子・小学校女子で全国平均とほぼ同程度以上であった。一方で、中学校男子・中学校女子は全国平均を下回る結果であり、令和3年度の調査結果と比べても下回る結果であった。</p> <p>小学校・中学校ともに「50m走」が全国平均を下回っていることから、「走ること」に課題があることが明らかになった。</p>
<b>今後の方向性</b>	<p>健康・体力づくりについては、コロナ禍の影響により、学校における児童生徒の運動機会が減少しており、毎年実施される「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果からも体力の低下が確認できることから、引き続き小学校へのスポーツ指導員の派遣などを通して、体育指導の充実や運動の習慣化を図っていく。</p> <p>また、「ノーゲームデー」や「登別市ケータイ・スマホ3つのルール」の周知徹底、家庭における「早寝早起き朝ごはん」の啓発など、登別市PTA連合会や登別市校長会等の協力を得ながら、規則正しい生活習慣の定着を粘り強く周知し、健全な心身の育成に努める。</p>

<b>項目</b>	<b>11 学校の適正配置</b>
<b>点検内容</b>	<p>幌別東小学校区においては、令和7年4月に予定される幌別小学校との統合に向けて、両校関係者の参加により新たに学校統合委員会を設置し、統合に向けた環境整備に関し具体的な検討を進める。</p> <p>また、登別中学校区においては、引き続き地区別検討委員会における議論の経過を見守り、その動向等も踏まえ、概ね本年度中には、幌別中学校との統合に関し一定の方向性を決定する。</p>

## 取組状況

令和3年8月、「登別市小中学校の適正規模・適正配置の指針～将来における小中学校のグランドデザイン～」(※)を新たに策定し、学校の適正配置に向け取組を進めてきた。

令和4年度においては、既に幌別小学校との統合を正式に決定した幌別東小学校に関し、両校関係者による学校統合委員会を設置し、統合後の環境整備や統合時に想定される課題への対応方法などについて検討を行い、その結果を踏まえ、教育委員会として、統合後の環境整備等に関する方針をまとめた。

また、令和3年10月より、保護者や地域住民による地区別検討委員会で統合の是非に関し検討が進められてきた登別中学校に関しては、同委員会の下に設けられた教育環境部会とまちづくり部会を中心に、それぞれの観点から、同校の今後のあり方と統合の是非に関し検討が行われた、令和5年3月までに、両部会で部会としての考えがまとめられたところ。教育委員会としても、議論の動向を見守りながら、地域の理解を得られるよう、各所との意見交換を重ねてきた。

※ 「登別市小中学校の適正規模・適正配置の指針～将来における小中学校のグランドデザイン～」は、令和3年度から令和37年度までの35年間を3つの期間に分け、各期の児童・生徒数の推計等に基づき、それぞれの期間における学校配置の想定を示す。このうち、令和3年度～7年度を期間とする第1期においては、幌別東小学校を幌別小学校に、登別中学校を幌別中学校に統合することを想定した。

### 【学校の適正配置に関する経緯】

令和3年8月 「登別市小中学校の適正規模・適正配置の指針～将来における小中学校のグランドデザイン～」策定

令和3年10月 幌別東小学校区及び登別中学校区で地区別検討委員会設置

#### (幌別東小学校に関する学校統合委員会)

令和4年5月20日	第1回学校統合委員会
令和4年7月1日	第1回東小学校区検討部会
令和4年7月5日	第1回新校区検討部会
令和4年8月5日	第2回東小学校区検討部会
令和4年8月9日	第2回新校区検討部会
令和4年9月7日	第3回新校区検討部会
令和4年9月9日	第3回東小学校区検討部会
令和4年10月14日	第4回新校区検討部会
令和4年11月30日	第4回東小学校区検討部会
令和5年1月25日	第5回東小学校区検討部会
令和5年2月28日	第2回学校統合委員会

(登別中学校区における地区別検討委員会)

令和4年4月17日	第1回まちづくり部会
令和4年4月19日	第1回教育環境部会
令和4年5月19日	第2回まちづくり部会
令和4年5月25日	第2回教育環境部会
令和4年6月1日	第3回教育環境部会
令和4年6月23日	第3回まちづくり部会
	第4回教育環境部会
令和4年7月20日	第5回教育環境部会
令和4年7月21日	第4回まちづくり部会
令和4年8月25日	第6回教育環境部会
令和4年9月1日	第5回まちづくり部会
令和4年9月22日	第7回教育環境部会
令和4年10月6日	第6回まちづくり部会
令和4年10月19日	第8回教育環境部会
令和4年11月17日	第9回教育環境部会
令和4年12月14日	第10回教育環境部会
令和5年1月27日	第7回まちづくり部会
令和5年2月27日	第8回まちづくり部会

<p><b>評価</b></p>	<p>基本方針策定時の想定を上回る速さで児童・生徒数が減少し、市内の複数の学校で、基本方針に掲げた規模の目安を満たさない状況が生じていることなどを踏まえ、令和3年8月に、「登別市小中学校の適正規模・適正配置の指針～将来における小中学校のグランドデザイン～」を新たに策定し、学校の適正配置に向け具体的な取組を進めてきた。</p> <p>グランドデザイン策定以降は、グランドデザイン第1期で他校との統合が想定された幌別東小学校及び登別中学校で具体的な取組に着手し、幌別東小学校については、令和7年4月1日に、幌別小学校と統合することを既に決定し、令和4年度は、統合後の環境整備等に関する方針を策定するなど、統合に向けた取組を着実に進めた。</p> <p>また、登別中学校については、令和3年10月以降、保護者や地域住民による地区別検討委員会で統合の是非に関し検討が行われてきたところであり、令和4年度は、同委員会の下に設けられた2つの部会を中心に、教育環境とまちづくりの観点から検討が進められ、年度内には部会としての意見がまとめられたが、地域の議論が長引いたため、年度内に一定の方向性をまとめることはできなかった。</p>
<p><b>今後の方向性</b></p>	<p>幌別小学校と幌別東小学校の統合については、両校教職員による協議・調整や児童による事前交流事業を行うなど、令和7年4月に向け準備を進める。また、登別中学校については、令和5年度前半には、地区別検討委員会本体として、統合に関する考えがまとめられる見込みであり、教育委員会としても、その結果を踏まえて早期に一定の方向性をまとめるなど、引き続き統合に向けた取組を進めていく。</p>

<p><b>項目</b></p>	<p><b>12 特別支援教育</b></p>
<p><b>点検内容</b></p>	<p>特別支援教育については、登別市教育支援委員会などによる教育相談の充実や関係機関との連携により、特別な支援や合理的な配慮を必要とする児童生徒が幼児期から一貫した支援を受けられるよう、体制の整備に努める。</p>

## 取組状況

○市内小中学校の特別支援学級の状況 ( )内は前年度

	小学校	中学校	担当教員	39名(39名)
知的障害学級	8学級32名(8学級30名)	5学級12名(5学級11名)	介助員	9名(9名)
自閉・情緒学級	10学級41名(10学級44名)	5学級13名(5学級13名)	学習支援補助員	20名(20名)
肢体不自由学級	1学級1名(1学級1名)	設置なし	担当教員はハーフ勤務6人含む	

○登別市教育支援委員会の取組

### ①就学前からの教育相談や就学指導

	担当	内容
パートナーティーチャー派遣事業	学教G	特別支援学校教員による小中学校の発達障がいを含む障害のある児童生徒に対する指導・支援 活用校～若小 6名 幌西小10名 幌東小3名 鷺別中4名 登別中5名
教育支援委員会 9月～12月	学教G	適正就学に向けた取組 ・委員の幼稚園・保育所訪問観察・検査、担当者との懇談 ・諮問：11/7 答申：12/12 (全委員出席) ・総合検査：11/11 検討審査：11/29～12/2
教育支援委員の学校訪問	学教G・対象校	9～11月実施
1日体験入学	全小学校	1～2月各学校で実施予定であったが、在校児童の新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため中止とした学校あり
新入学児童合同引き継ぎ	幼・保・小	3/27.28 幼保・小実務担当者会議(合同引き継ぎ会)

### ②その後の一貫した支援

・各種研修会

#### 【夏季研修会】

日時:令和4年7月27日(水) 14:00～16:00 場所:鷺別小学校 参加者:22名

内容:「発達検査(WISC-IV)の解釈と活用」

講師:北海道教育庁胆振教育局 教育支援課義務教育指導班 指導主事 油川 智史 氏

#### 【冬季研修会】

日時:令和5年1月25日(水) 15:45～17:00 場所:鷺別小学校 参加者:20名

内容:「保護者とのよりよい関係を築くために」

講師:登別市児童デイサービスセンターのぞみ園 臨床心理士 有澤 恵美 氏

・特別支援学級作品展 10/21(金)～10/27(木) 主催者:登別市特別支援教育振興協議会

目的:作品を通じた交流により間接的に思いを感じたり伝えようとしたりする態度を育成し、コミュニケーション能力の向上を図る。

・関係部局との連携

○5歳児相談(保健福祉部健康推進グループ) 年6回

子供の状況を早期から把握し、学教教育にスムーズにつながるよう、市内の小・中学校での特別支援の状況の説明や子供の様子に不安のある保護者との教育相談を実施する。

5月18日 初就学に向けた説明会 2名

7月20日 初就学に向けた説明会 10名

9月21日 初就学に向けた説明会 12名 教育相談 1名

11月16日 初就学に向けた説明会 11名

1月24日 初就学に向けた説明会 11名 教育相談 1名  
 2月9日 初就学に向けた説明会 13名 教育相談 3名

○就学説明会（保健福祉障がい福祉グループ）

次年度就学されるお子さんがいる家庭を対象に「就学の流れを知ろう」をテーマに実施する。  
 日時：令和4年8月2日(火) 鉄南ふれあいセンター 10:00～12:30  
 講話参加者：12名 個人懇談：6名

<p><b>評価</b></p>	<p>登別市教育支援委員会の活動に、各学校の特別支援教育コーディネーターや関係機関の担当者、保護者とのきめ細かな連携に努め、教育相談を適切に実施し、一人一人の教育的ニーズに応じた教育の充実を図るとともに、就学後も必要に応じて進めることができた。特に、新入学児童の就学に関わっては、教育支援委員会の調査員が幼稚園、保育所、療育機関を訪問し、児童の観察、担当者からの聞き取りを丁寧に行うなど、児童の適正な学習環境の整備を目指して取り組んだ。</p> <p>学校における支援ファイル「ふくはうち」の利用促進のほか、保健福祉部健康推進グループや障がい福祉グループが行う就学前の児童を対象とした相談の機会に、特別支援教育の説明や個別の教育相談を実施し、教育と福祉が連携することで、一貫した子育て環境を目指した取組を推進することができた。</p> <p>言語障害通級指導教室（幌別小・鷺別小）では、言語障害に加えてコミュニケーションや情緒面の困難を併せもつ児童の指導に取り組むことができた。</p>
<p><b>今後の方向性</b></p>	<p>障害のある子供たちが地域の中で豊かな生活を送ることをめざすインクルーシブ教育が求められる中、各学校において、一人一人のニーズに応じた合理的配慮と、通常学級との交流及び共同学習の適切な実施に努める。</p>

※登別市支援ファイル「ふくはうち」とは…障がいのある方や発達に心配のある方の情報を保健・福祉・医療・教育・就労などの関係機関で共有することで、地域の中で一貫した継続的な支援が受けられるよう、本市保健福祉部障がい福祉グループが作成したもの。

<p><b>項目</b></p>	<p><b>13 社会教育</b></p>
<p><b>点検内容</b></p>	<p>市民一人ひとりが生きがいを持ち、自分らしさを追い求めることができる生涯学習社会の実現に向け、「第6次社会教育中期計画」に基づき、各種施策に取り組む。</p>

**取組状況**

○「第6次社会教育中期計画」に基づいた主な各種施策

- ・人づくり①青少年世代～これからのまちづくりを担う青少年の健全な育成と地域教育力の向上

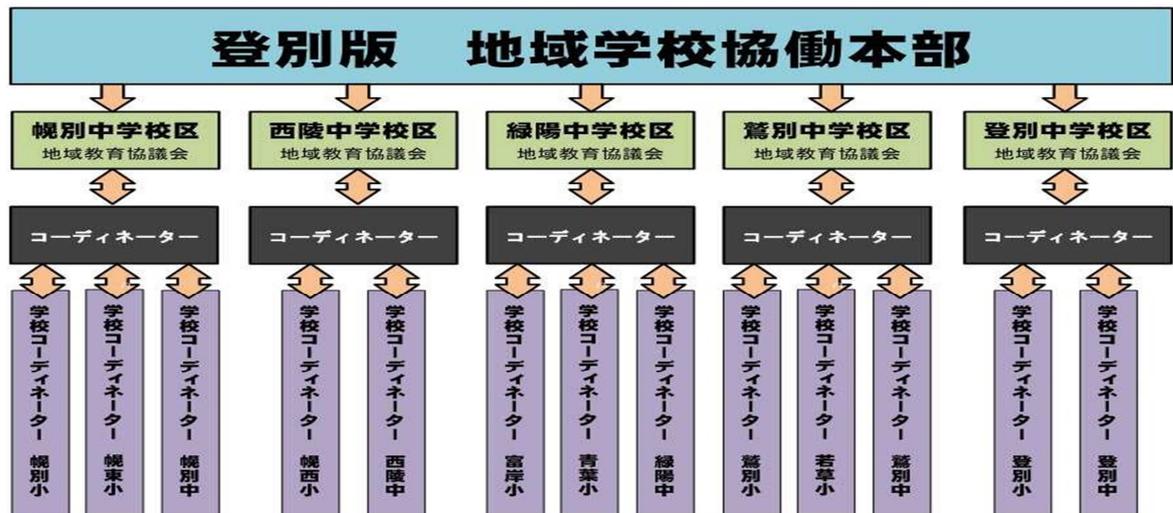
<p>地域学校協働本部事業</p>	<p>各中学校区</p>	<p>コーディネーターを配置し体験活動を実施</p>
<p>少年の主張大会</p>	<p>市民会館</p>	<p>中学生が日常生活での体験や日ごろ考えていること等について発表を行う少年の主張大会を開催した。 新型コロナウイルス感染対策を講じ、観客を制限して大会形式により実施した。</p>
<p>放課後子ども教室</p>	<p>鷺小・東小</p>	<p>放課後に子どもが安心して活動できる居場所づくり ひなわしメート118名登録 はまなすメート15名登録</p>
<p>二十歳のつどい</p>	<p>市民会館</p>	<p>市と実行委員による企画、運営 出席者 284/453名 R5.1.8</p>

- ・人づくり②成人世代～学習意欲の向上の奨励と地域活動の担い手の発掘・育成

- ・人づくり③高齢者世代～学習機会の充実と地域の模範となる高齢者の活動による地域教育力の向上

登別ときめき大学	63名登録	事務局主催の基礎コースと各団体の講座を連携コースとした生涯学習事業。基礎コース8講座
市民マイプラン講座	市内各所	サークル等が企画した講座や学習会を支援する。 利用団体=2団体（文化団体等）

- ・「学習環境の整備」生涯学習人材バンク登録者（個人：45名、団体：37団体、仲間募集：41団体）



- 「学校支援地域本部」「地域学校協働本部」への発展について

- ・これまで「学校支援地域本部」として推進してきた体制を基盤とし、令和元年度より「地域学校協働本部」へと移行し、「学校コーディネーター」を各学校に1名配置することを目指し、段階的に体制整備を進める。

評価	<p>市民一人ひとりが生きがいを持って自分らしさを追い求めることができる生涯学習社会の実現に向け、人づくりという観点から各世代に応じた事業を展開することができた。</p> <p>5つの中学校区に配置されているコーディネーターを中心に、学校コーディネーターの配置など体制の強化に努めた。</p>
今後の方向性	<p>市民一人ひとりの取組の成果が地域活動へつながり、活動で生まれた交流を通じて新たな地域活動が展開されていく生涯学習社会の実現に向け、各種施策に取り組んでいく。</p>

項目	<b>14 ふるさと学習</b>
点検内容	<p>ふるさと教育については、将来においても、市民が郷土への愛着と関心を深めながら心豊かに暮らしていくことができるよう、郷土資料館において本市のあゆみを形づくる歴史資料の保存・展示に努める。</p> <p>また、アイヌ文化の振興については、本年、『アイヌ神謡集』の作者であり、本市を生誕の地とする知里幸恵の没後100年を迎えることを機に、知里幸恵の生涯を描いた一人芝居の鑑賞会を開催するとともに、(仮称)登別市情報発信拠点施設「ヌプル」において、知里家に関連する資料の展示を企画する。</p> <p>さらに、NPO法人知里森舎が取り組むフォーラム等の各種事業を支援するなど、登別に縁のあるアイヌ文化への関心が高まるよう努める。</p>

## 取組状況

○郷土の歴史や文化に関する各種講座開催の奨励

○郷土の歴史を明らかにする文化財の保存、管理

○アイヌ文化の伝承や普及・啓発～登別アイヌ協会や関係NPO法人等の取組支援

登別アイヌ協会が実施する儀式の記録撮影のほか、NPO法人知里森舎主催事業の周知等で支援を行った。

(公財)北海道アイヌ協会主催事業に係る経費の一部を補助した。

アイヌ政策推進交付金を活用して、登別アイヌ協会に製作を委託し、観光交流センター「ヌブル」にアイヌ民族の伝統的な刺しゅうや切伏を施したタペストリーを展示した。

◇市指定文化財の指定 2/24 登別市指定文化財第11号として「丈草の記」を指定。

◇縄文出前講座 6～7月 市内小学校5校で実施(6年生257名参加)

◇古文書教室 1/22・2/5・2/12・3/12 古文書解読の講座・実践・見学編(計4回)を実施。延べ101名参加。

◇アイヌ文化講座(制作・体験)6・7月 登別アイヌ協会の会員等を講師にアイヌ民族の歴史や文化の講演やアイヌ文様の刺しゅうを施したランチョンマット制作、ウポポイ見学等全5回の講座を実施。参加者延べ85名。

(講演)11/27 北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授 養島栄紀氏より「ものと交易から見た東アジアのなかのアイヌ史」(参加者38名)と題して講演いただき、市民にアイヌ文化を学ぶ機会を提供した。

◇歴史交流事業 令和3年度は新型コロナウイルスの感染拡大により中止したが、令和4年度宮城県白石市等に学芸員を派遣し、本市に係る資料の調査等を行った。

◇郷土資料館特別展 9～10月「上武やす子と刺繍」  
3～4月「はじめまして！ー令和4年度新資料ー」

◇郷土資料館企画展 4～5月「五月武者人形展」  
5～6月「さくら写真展」  
10～11月「紅葉写真展」  
2～3月「おひなさま人形展」

◇体験学習事業

- ・郷土資料館事業 5/15 【中止】わんぱくサムライ体験
- ・文化伝承館事業 通年 ボランティアSLGによる、べこもちづくりなどの体験  
15事業(1事業を中止)を実施 158名参加
- ・のぼりべつ文化交流館 5～10月の間に7事業(1事業を中止)を実施 190名参加

◇各種講演等(学芸員派遣)

- 5/8 【ヨシキリの会主催】鷺別岬のウオッチング ガイド
- 6/4 【伊達市主催シンポジウム】北黄金貝塚と北の縄文遺跡
- 9/9 【登別市観光ボランティアガイド学習会主催講演会】北の縄文遺跡群
- 1/19 【のぼりん主催講演会】みんなでまちづくり

<b>評 価</b>	登別市アイヌ施策推進地域計画に基づき、アイヌ政策推進交付金を活用し、登別市観光交流センターへのアイヌ文様を施したタペストリーの設置や知里幸恵の生涯を描いた一人芝居の上演などの事業を実施し、市民のアイヌ文化への理解が深まるよう取組を進めた。新型コロナウイルス感染症の影響で、郷土資料館やのぼりべつ文化交流館での体験事業に一部影響があったが、ふるさと教育の基となる文化財の保存、普及・活用の取組を進めた。
------------	--

<b>今後の方向性</b>	<p>ふるさと教育については、学校等での学習やまちづくりなどで幅広く活用されるよう、郷土資料館の歴史資料について、デジタルアーカイブ化を推進する。</p> <p>また、アイヌ文化の振興については、本年、『アイヌ神謡集』の著者であり、本市を生誕の地とする知里幸恵の生誕120年、そして『アイヌ神謡集』出版100年を迎えることから、昨年に引き続き、知里幸恵の生涯を描いた一人芝居の鑑賞会を学校等で開催する。</p> <p>さらに、市民や観光客が彼女の生誕の地の森を散策できるよう、NPO法人知里森舎とともに整備に取り組むほか、観光交流センター「ヌプル」等との連携を図るなど、アイヌ文化への理解を深め、関心が高まるよう努める。</p>
---------------	--

<b>項目</b>	<b>15 家庭教育</b>
<b>点検内容</b>	<p>家庭教育については、家庭教育学級を開設し、子育てに関する啓発資料の提供や学習機会の充実とともに、保護者同士の交流や親子の時間の確保が図られるよう努める。</p>

### 取組状況

- 令和2年度より市が主体となって、保育所、幼稚園、小学校の保護者を対象に1学級を開設し、交流を図りながら、子育てに関する様々なことを学ぶことのできる学習会（講演会・体験講座等）を年に3回程度開催。参加者 98名

第1回	6/19	家族で足育！足を育てる知識と実践
第2回	7/29	我が家の生活習慣を再チェック～我が家の「いいね！」を増やすために～
第3回	10/16	お小遣いの渡し方がわかる！／楽しくお金の使い方が学べる親子ゲーム
第4回	11/5	おうちでできるポジティブ性教育
第5回	12/20	日常の会話が将来のスキルに！？～進路相談員から聞く自立を促す子育てコーチング～
第6回	2/20	普通救命救急講習Ⅲ

- 「放課後子ども教室」～放課後に子どもたちが安全・安心に過ごすことができる活動拠点づくり  
活動日時～平日2日間、4～9月午後5時まで 10～3月午後4時まで  
運営～コーディネーターや教育活動サポーターなど地域の方々による実行委員会が主体。  
鷲別地区放課後子ども教室「ひなわしメート」 計 93日間実施 計 4,891名  
幌別東小学校区放課後子ども教室「はまなすメート」 計 75日間実施 計 327名

- 「地域学校協働本部事業」 参加者数 計 6,581名（大人・児童・生徒とも）

#### 【鷲別中学校区（鷲別小・若草小・鷲別中）】

鷲別小学校	事業内容
6～2月	鬼っ子算数教室 10回
5～10月	畑・花壇整備 9回
2～3月	ひな人形飾り
2/13	スキー授業
10/22	その他学習支援（避難訓練）
若草小学校	事業内容
5/9	授業中のふれあい農園

7～2月	鬼っ子算数教室 10回
2/10	スキー授業
7/8	世代間交流
鷺別中学校	事業内容
4・10月	登下校見守り 4回
9/20	その他学習支援（避難訓練）

【緑陽中学校区（富岸小・青葉小・緑陽中）】

富岸小学校	事業内容
5月・9月	授業中のふれあい農園 2回
7～3月	鬼っ子算数教室 9回
4月	登下校見守り 3回
2月	スキー授業 2回
2/4	餅つき（3校合同）
1/29	冬祭り（3校合同）
7/7	世代間交流
青葉小学校	事業内容
6～2月	鬼っ子算数教室 8回
1/20	漢字検定学習支援
2/4	餅つき（3校合同）
1/29	冬祭り（3校合同）
9/7	世代間交流
2/9	スキー授業
緑陽中学校	事業内容
2/4	餅つき（3校合同）
1/29	冬祭り（3校合同）

【幌別中学校区（幌別小・幌別東小・幌別中）】

幌別小学校	事業内容
5～2月	鬼っ子算数教室 12回
2/7	スキー授業
7/6	世代間交流
幌別東小学校	
5～1月	鬼っ子算数教室 9回
2/15	スキー授業
11/17	世代間交流

【西陵中学校区（幌別西小・西陵中）】

幌別西小学校	事業内容
6～2月	鬼っ子算数教室 8回
7/25	夏休み学習サポート
9/6	地域との合同避難訓練
5～11月	畑・花壇整備 6回
11/26	マンダリン鑑賞会
1/24	世代間交流

2/24	スキー授業
西陵中学校	事業内容
9/6	地域との合同避難訓練等

【登別中学校区（登別小・登別中）】

登別小学校	事業内容
5月・8月	授業中のふれあい農園 2回
5～3月	鬼っ子算数教室 9回
10/1	鮭の採卵
5～10月	畑・花壇整備 6回
1～2月	スキー授業 5回
8/27	収穫祭

評価	<p>家庭教育学級では、さまざまな取組を通して、家庭の教育力の向上を図ることができた。一方で、保護者のライフスタイルが多様化する中、参加者の固定化が生じていることなどから、参加者のニーズ把握に努め、内容を企画することが必要である。</p> <p>放課後子ども教室、地域学校協働本部事業においては、地域ボランティアの協力のもと、子どもたちに豊かな学びの場を提供することができた。</p>
今後の方向性	<p>家庭教育については、引き続き「家庭教育学級」を開設し、子育てに関する知識や望ましい生活習慣などを学ぶ機会の確保を図るとともに、親子が共に学び、育ち合う家庭教育の充実に努めていく。</p>

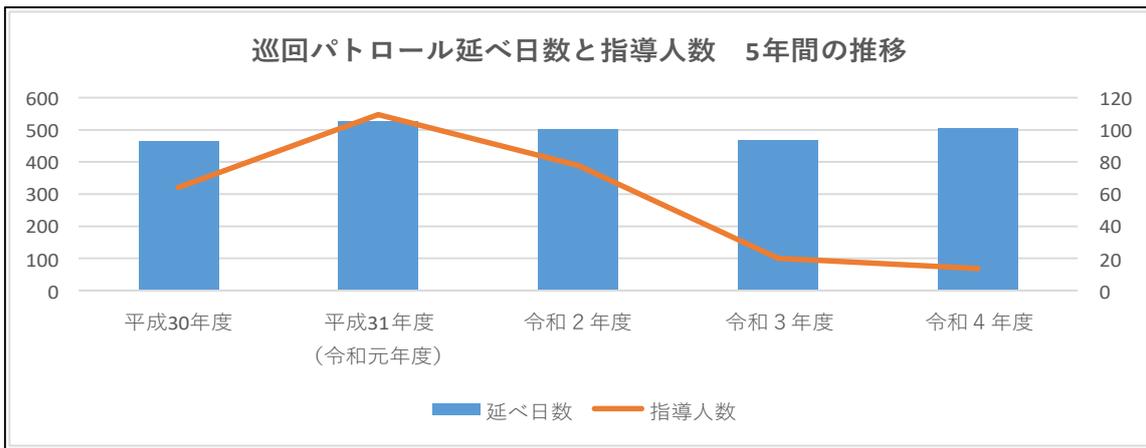
項目	16 青少年の健全育成
点検内容	<p>青少年の健全育成については、青少年センターを中心に、学校・家庭・地域・関係機関と連携し、街頭指導や巡回指導などに取り組み、子どもの非行防止と登下校時の安全確保に努める。</p> <p>また、不審者情報を地域と共有し、監視と巡回パトロールを実施するとともに、「こども110番スタディちゃんの家」を活用し、子どもが不審者と遭遇した場合に備える「駆け込み訓練」を実施する。</p>

取組状況

○登下校の見守り活動や街頭指導、巡回指導

・市内巡回パトロール（通常・特別）実施状況 ※（ ）内は昨年度実績

	通常巡回		特別巡回	合計
	鷺別・緑陽 校区	登別・幌別・西陵・明日 校区	(列車添乗・祭典その他)	
延べ日数	222日(204日)	232日(210日)	50日(50日)	504日(464日)
延べ巡回数	376回(313回)	408回(346回)	78回(80回)	862回(739回)
延べ人員	543人(419人)	601人(488人)	143人(159人)	1,287人(1,066人)
指導人数	12人(16人)	2人(2人)	0人(2人)	14人(20人)



※指導の内訳（その他にはゲームコーナーを含む） (単位：件数)

	自転車等			危険な行為			その他			合計		
	R2	R3	R4	R2	R3	R4	R2	R3	R4	R2	R3	R4
13歳未満	39	10	4	22	2	8	1	0	0	62	14	12
13歳	0	1	0	1	1	0	0	0	0	1	2	0
14歳	0	0	2	7	4	0	0	0	0	8	4	2
15歳	0	0	0	3	0	0	0	0	0	3	0	0
16歳	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0
17歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	43	11	6	33	7	8	1	0	0	78	20	14

指導内容と推移(前年度比)

「自転車等」急な飛び出し0件(-2件) 車道逆走2件(-6件) スマホしながら自転車運転0件(-1件) 自転車の二人乗り2件(+2件)

「危険な行為」スケートボード8件(+2件)

・万引き状況（調査を依頼し報告を受けたもの）

(単位：件数)

	小学生	中学生	高校生	小中高以外	合計
元年度	3	1	0	10	14
2年度	2	1	2	6	11
3年度	1	0	4	16	21
4年度	1	0	0	11	12

※市内大型店2店舗、市内コンビニ19店舗、その他21店舗、計42店舗の協力による。

・不審者・変質者出没状況

(単位：件数)

	温泉地区	登別地区	幌別地区	鷺別地区	その他	合計
元年度	0	0	9	5	0	14
2年度	0	0	9	8	0	17
3年度	0	0	8	6	0	14
4年度	0	1	6	11	0	18

○こども110番の家 地域住民・商店の協力による子どもの駆け込み場所 402件設置

内訳：鷺中校区91件 緑中校区99件 幌中校区117件 西陵中校区40件 登中校区55件

○情報の共有

- ・登別市青少年指導委員連絡会～学校教員と一般の指導員による交流、状況や指導の重点を確認。
- ・登別市小学校・中学校合同生徒指導担当者連絡会議～小学校・中学校他代表教諭による現状や課題などについての情報交流、協議、問題行動の早期発見や未然防止を図る。
- ・不審者出没状況調書、巡回パトロール活動及び街頭指導等状況調書による情報発信。

<b>評価</b>	巡回パトロールでは、突発的な事案発生に伴う特別巡回の実施など、状況に応じた対応を執ることができた。学校から「児童生徒が登校していない（あるいは、帰宅していない）」という通報を受けて、巡回した案件が数件あった。
<b>今後の方向性</b>	青少年の健全育成については、青少年センターを中心に、街頭指導や巡回指導などに取り組みとともに、「こども110番スタディちゃんの家」を活用し、子どもが不審者と遭遇した場合に備える「駆け込み訓練」を実施するなど、学校・家庭・地域と連携し、子どもの非行防止や登下校時の安全確保に努めていく。

<b>項目</b>	<b>17 文化・スポーツの振興</b>
<b>点検内容</b>	文化・スポーツの振興については、登別市文化・スポーツ振興財団や各関係団体と連携し、市民の文化・スポーツ活動への参加促進と文化講座、各種スポーツ教室の充実を図っていく。 また、少子化やスポーツ人口の減少が進む中、国の「地域運動部活動推進事業」を活用し、休日部活動の段階的な地域移行に関する実践研究を推進するとともに、本市の実情に沿った望ましいスポーツ環境の構築を目指していく。 さらに、トップアスリートと触れ合いながら、さまざまな種目のスポーツを体験する「SOMPO(ソンポ)ボールゲームフェスタ」を開催する。

**取組状況**

○西いぶり定住自立圏文化事業

公演 劇団四季ファミリー「人間になりたがった猫」

9/29 来場者904名 主管：伊達市

○小学校での文化芸術体験～文化芸術による子供育成推進事業（巡回公演事業）～

文化庁実施事業の活用。市内小学校6年生を対象に実施。演目は狂言、公演団体は萬狂言。

※会場の市民会館大ホールが使用不可となったため、本公演の会場を市民会館大ホールから、総合体育館に変更。

ワークショップ 10/28 代表校の登別小学校で開催 能の歴史や謡の練習

公演 11/30 能楽（敦盛等・柿山伏）総合体育館で開催 登別小児童16名出演

○学校での郷土芸能の伝承

鷺別小学校～鷺別子ども獅子舞（3/31付けで休止）

幌別東小学校～幌別駒おどり 新型コロナウイルス感染症により未実施

登別中学校～熊舞 7/23 登別ブランドまるしえ

8/29 登別駅前

9/18 登別イオン

2/28 スプルオープニング

○市民へ文化活動の発表の場を提供 市民会館サークル展 9/21～9/23

市民会館を中心に活動しているサークルの活動紹介と作品展示 13団体出展

○地域運動部活動推進事業（休日の段階的な地域移行に関する実践研究）

休日の部活動を学校から地域のスポーツ活動への移行に取り組む拠点校を定めるとともに、休日に指導にあたる部活動指導員及び当該活動の運営を担う事務局員を確保し、拠点校における休日部活動を地域スポーツ活動として実施

拠点校（部活動名） 幌別中学校（女子バレーボール部）

指導者属性 登別市バレーボール協会

地域スポーツとしての活動時間 117.5時間（令和4年5月～令和5年2月・43回）

※北海道教育委員会からの再委託事業として実施

○一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団が実施する文化・スポーツ事業への補助

【文化振興事業】

(1) 主催事業

初心者英会話教室	6/2, 6, , 9, 13, 16, 20 7名 10/3, 6, 13, 17, 20, 24 3名	一般の方を対象に市民会館にて実施
ハーブ教室	中止	コロナの影響を受け中止
筆ペン習字教室	8/3, 10, 17, 24, 31 9/7 5名	一般の方を対象に市民会館にて実施
ビーズアクセサリ教室	9/30 6名	一般の方を対象に市民会館にて実施
燻製作り体験	2/21 17名	一般の方を対象に市民会館にて実施
スイーツデコ教室	8/6 3名	小学生を対象に市民会館にて実施
楽しい工作教室	7/30 8名	小学生を対象に日本工学院にて実施
お菓子作り体験	中止	コロナの影響を受け中止
美味しいコーヒーの淹れ方教室	中止	コロナの影響を受け中止
親子木育体験	中止	コロナの影響を受け中止
道新ジュニアクラシック「登別市小・中学生のための札幌コンサート」	6/14 406名	富岸小・緑陽中の児童及び生徒を対象に市民会館にて札幌コンサートを開催
八神純子コンサート	12/4 338名	一般の方を対象に市民会館にて実施
春風亭一之輔独演会	3/29 589名	一般の方を対象に市民会館にて実施

(2) 共催事業

市民文化祭	9/3～11/20	各地区において実施
文化講演会	11/19 300名	一般の方を対象に市民会館にて講演会を実施
小中学生書初展	2/10～12 253名	市民会館にて小・中学生の書き初めの展示

【スポーツ振興事業】

(1) 主催事業

初心者レディースゴルフ教室	中止	コロナの影響を受け中止
温泉散策ウォーキング	5/21, 10/15 23名	登別温泉にて一般の方を対象に実施
ジュニアソフトテニス教室	8/8, 10, 12, 15 4名	岡志別の森運動公園にて小学生以上を対象に実施
ファミリーフィッシング	5/15 6名 (年間開催数2回を予定)	室蘭港にて親子を対象に実施 うち1回は悪天候により中止

走り方教室	6/4 14名	総合体育館にて小学生を対象に実施
初心者スノーボード教室	2/5, 12, 19 10名	サンライバスキー場にて小学生以上を対象に実施
キッズHIPHOP教室	1/14, 21 6名	市民プールにて幼児を対象に実施
ダンスレッスン派遣事業	9/22, 29 81名	令和4年度は登別中に派遣
スポーツテーピング講習会	中止	コロナの影響を受け中止
軽スポーツ指導者派遣事業	派遣なし	令和4年度は派遣要請無し
市民ソフトボール大会（夏）	6/26 48名	岡志別の森運動公園にて一般の方を対象に開催
市民ソフトボール大会（秋）	10/2 72名	岡志別の森運動公園にて一般の方を対象に開催
市民ボウリング大会（シニア秋）	9/28 23名	室蘭グランドボウルにて一般の方を対象に開催
市民ボウリング大会（一般冬）	2/9 27名	室蘭グランドボウルにて一般の方を対象に開催

(2) 共催事業

市民ミニバレー大会	12/11 22名	総合体育館にて一般の方を対象に開催
-----------	-----------	-------------------

○その他の健康づくり、スポーツ振興事業

市民ラジオ体操会	7/30	幌別小、若草小を会場に実施 参加人数250名
西胆振6市町小学生スポーツ交流会	5/21	西胆振3市3町の小学生を対象としたスポーツ大会（陸上競技）を室蘭市入江運動公園陸上競技場で実施 参加延べ人数 330名 うち、登別市民63名
市民スポーツ・健康フェスティバル	10/2	市内体育施設を会場とした市民スポーツ大会 岡志別の森運動公園：パークゴルフ・ソフトボール・あそびひろば・ノルディックウォーキング体験に251名参加 市民プール：水中玉入れ競争・水中障害物競争・水中宝探しゲーム・個人水泳タイム計測・トレーニングルーム・ボッチャ・ゲーリング体験に378名参加
学校体育施設開放事業	4月～2月	11施設（小8校、登中、緑中、幌中を開放 延べ開放日数1,404日 延べ利用団体1,670団体 延べ利用人数20,890名
オクトーバー・ラン&ウォーク2022	10/1～31	専用の無料アプリで10/1～31までの1ヶ月間、走行・歩行距離を計測しその結果を全国の参加自治体間で競い合うイベントを実施し、多くの方に参加していただいた。
SOMPOボールゲームフェスタin登別	9/4	トップアスリートと共に、子どもたちにスポーツの楽しさを伝えるイベント 【午前の部・あそびバ！】43組86名 対象 年中～小学3年生と保護者・引率者 内容 親子で運動・あそびの体験 【午後の部・キッズチャレンジ】42名 対象 小学3～6年生 内容 4種目（サッカー、バレーボール、バスケットボール、ソフトボール）をアスリートと共にローテーションで体験

放課後運動教室事業	通年	【実施小学校】 市内 8 小学校 【実施回数】 80回 【参加者累計総数】 3,121人 【実施内容】 バドミントン、跳び箱、マット遊び 等
-----------	----	---

評価	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、一部の事業が中止を余儀なくされたが、SOMPO ボールゲームフェスタや春風亭一之輔独演会など、昨年中止となった事業を開催することができた。</p> <p>各種事業を通じて、市民一人ひとりの豊かな感性や創造性を育み、心豊かな生活を送ることができるとともに、生きがいを感じることができるような文化活動を進めることができた。</p> <p>また、スポーツについても、市民スポーツ・健康フェスティバルや放課後運動教室事業などの既存事業に加え、SOMPO ボールゲームフェスタといった新規事業の実施により、地域の方々や子供たちにスポーツ活動の機会を提供することで健康増進や運動能力の向上を図ることができた。</p> <p>そのほか、地域運動部活動推進事業を通して、登別市にとって望ましい部活動のあり方のほか、持続可能な文化・スポーツの振興に向けた方向性を見出すことができた。</p>
今後の方向性	<p>文化・スポーツの振興については、人口減少や少子高齢化が進み、関係団体の会員の減少や活動の縮小が進むなど、課題が顕著化していることから、市民の多様な交流を基本に、世代や団体の垣根を越えた地域とともにある文化・スポーツの振興の実現に向けて、関係団体相互の連携の強化と役割の整理に取り組んでいく。</p> <p>また、学校部活動の段階的な地域移行の推進については、引き続き学校関係者等との協議を図りつつ新たな地域クラブを立ち上げ、これを運営する一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団を支援し、市立中学校の生徒が文化芸術やスポーツに継続的に親しむことができる環境づくりを構築していく。</p> <p>さらに、川上公園野球場などのスポーツ施設において、老朽化等により一部利用に支障が生じていることから、これらの解消を図るとともに、市民会館及び市民プールにおいて、照明のLED化を進めていく。</p>

項目	18 学校給食
点検内容	学校給食については、衛生管理の徹底を図り、安全で安心な給食を提供するとともに、郷土を実感できる食材を取り入れ、ふるさとへの愛着が深まる献立の提供に努める。

#### 取組状況

- 地元の食材を積極的に取り入れた献立づくり（使用回数 103 回 使用率 50.0% ※牛乳除く）
 

毎日提供している「のぼりべつ牛乳」をはじめ、だし昆布、鮭のダイスカット、ホッケ、登別牛など、地場産品を積極的に活用した。

また、「えんまラーメン」など、市内の業者と連携し、地元を身近に感じられる献立を実施。地場産品の使用内容を献立表やランチメールなどに記載して各学校や保護者に配布したほか、野菜などについては入札規格等において近隣市町村産品または道産品を指定し、広域的な地産地消の取組も実施した。
- 発達期にある児童・生徒に豊かでおいしい給食の提供
 

文部科学省の学校給食摂取基準等に基づき、学校栄養教諭が献立を作成するなど、児童・生徒の栄養価やエネルギーなどバランスの摂れた給食を提供した。児童・生徒の体力不足を補い丈夫な体をつくるため、学校教育Gと連携して各小学校に栄養教諭を派遣し、食育授業を年 12 回実施した。

○「和食」を伝えるための給食の実施

食育の日である毎月 19 日付近を「和食の日」とし、主食・主菜・副菜・汁物を揃えたメニューを提供した。

月	和食の日の献立表	月	和食の日の献立表
4月	ごはん、いも団子汁、さばの味噌煮、ひじき大豆煮	10月	ごはん、豆腐となめこのみそ汁、さばのしょうが煮、うの花
5月	ごはん、せんべい汁、いわしの梅煮、切干し大根煮	11月	ごはん、沢煮椀、いわしのゆず味噌煮、ひじき大豆煮
6月	ごはん、いも団子汁、さばの味噌煮、きんぴらごぼう	12月	ごはん、豆腐となめこのみそ汁、ぶり西京みそカツ、切干し大根煮
7月	ごはん、豆腐とわかめの味噌汁、鯖ごま衣焼き、刻み昆布の煮物	1月	ごはん、豆腐となめこの味噌汁、ほっけの塩焼き、ひじき大豆煮
8月	ごはん、豚汁、ぶりカツ、切干し大根煮	2月	ごはん、石狩汁、若鶏のごま照り焼き、切干し大根煮
9月	ごはん、豆腐とわかめの味噌汁、いわしのゆず味噌煮、ひじき大豆煮	3月	ごはん、豆腐とわかめの味噌汁、鯖の味噌煮、ごぼうサラダ

○食におけるアレルギー対応

①情報の共有

- ・学校や関係機関（医療関係や消防機関等）と、給食センターのアレルギー対応や各学校におけるアレルギーを有する児童・生徒の状況、緊急時の対応などの情報を共有し連携を図った。
- ・学校や保護者から連絡等があった場合は、一層きめ細やかな対応等に努めた。

②実際の対応～学校から教育委員会を經由し給食センターへ提出される「取組プラン」により対応。

牛乳アレルギー：小学校 10 名→緑茶に変更

中学校（北海道登別明日中等教育学校含む）8 名→緑茶に変更

③給食センターからの情報発信

予定献立表（小中学校及び児童・生徒へ配布、給食センターウェブサイトに掲載）

主食（パン・麺）や使用調味料の原材料及びアレルギー一覧表（給食センターウェブサイトに掲載）

ランチメール（小中学校へ配布、給食センターウェブサイトに掲載）

<b>評価</b>	<p>献立に地元食材及び近隣市町村産品や道産品を活用するとともに、その周知を図ることにより、児童・生徒が地域の食に対する関心を高め、郷土愛を育むことに貢献することができた。</p> <p>また、各小学校に栄養教諭を派遣して実施する食育授業が定着するとともに、栄養学的視点からの授業に偏ることなく、児童・生徒の健康維持・増進及び体位の向上に寄与することができた。</p>
<b>今後の方向性</b>	<p>学校給食については、衛生管理の徹底を図り、安全で安心な給食を提供するとともに、郷土を実感できる食材を取り入れ、ふるさとへの愛着が深まる献立の提供に努める。</p> <p>給食センターは供用開始から 50 年以上が経過し老朽化が著しいほか、衛生管理、作業効率、施設の耐震化など課題が山積していることから、広域設置も含め、具体的に今後のあり方を検討する。</p> <p>また、学校給食費については、今般の食材料費等の高騰から値上げせざるを得ない状況であるが、市長部局からの臨時的な財政支出を受けて、本年度においては据え置くこととし、保護者に対する間接的な経済的支援を行っていく。</p>

項目	19 図書館
点検内容	図書館については、市民活動サポーターとの協働により、郷土資料のデジタル化を進めるとともに、電子図書館を広く市民へ周知し利用の促進に努めるなど、市民一人ひとりが自己実現に向けて、豊かな時間を過ごすことができる図書館を目指す。

## 取組状況

○令和4年度 図書館での貸出冊数 155,028 冊、移動図書館車での貸出冊数 14,394 冊、購入冊数 4,975 冊

○図書ボランティアとの連携・協働

「おはなしげっこ」のおはなし会（12回）、「絵本を楽しむ会」のおはなし会（1回）、「朗読ボランティアの会」の「大人のための朗読会」（1回）、「図書館市民活動サポーター」による郷土資料のデジタル化。

○市民や関連機関との協働事業

特集展示「中高生の『この本、オススメ！』」（登別明日中等教育学校生、8/2～10）、幼稚園・保育所の年長児の読書感想画展（9/19～29、市内幼稚園・保育所）、講座「資料から読み解くイザベラバード」（2/18）、講座「日本古来の製鉄法 たたらを学ぶ」（3/18）、講演「吉村昭と北海道」（11/3、北海道立文学館）、公開講座「公共図書館ネットワークの発展」（12/1、胆振図書館協議会）

○市役所各部署との連携事業

「登別市立小中学校教科書展」（学校教育グループ、6/10～23）、「世界アルツハイマー月間展」（健康長寿グループ、9/1～15）、「自殺予防展」（健康推進グループ、9/16～29）

○ブックスタート・ライブラリースタート事業や図書館講座などを通して、利用者の増加を図る。

・ブックスタート（4か月児を対象に、絵本2冊とアドバイス集などを配布。実施数195人）

・ライブラリースタート（3歳児と保護者を対象に図書館で本1冊を選び送付。実施84人）

○図書館記念事業「開館50周年記念事業『登別図書館ってどんなカンジ』」（7/9～9/9、10/1～20）

○主なイベント等の事業（◇は「ふるさと学習」と関連）

4/23～5/13 こども読書週間「アイヌのせかい」「こどもの日 こども★フェスタ2022」

6/10～23 「登別市立小学校・中学校教科書展」

6/24 「学校図書担当者・図書ボランティア連絡会議」

7/27 「アーニス分館 夏休みのお楽しみ会」

7/31 「夏休み工作」

8/12～28 特集展示「SDGsを学ぼう」

9/1～15 「世界アルツハイマー月間」展示 共催：健康長寿グループ

9/16～29 幼稚園・保育所の年長児の読書感想画展

11/3 文化の日講演会「吉村昭と北海道」講師：北海道立文学館館長 平原一良氏

12/1 胆振図書館協議会公開講座「公共図書館ネットワークの発展」講師：森山光良氏（東京大）

12/17 「クリスマス工作」、展示「クリスマスの本」（12/8～25）

2/18 ◇郷土史講座「資料から読み解くイザベラバード」講師：土屋忠紀氏（郷土史家）

2/1～22 「雑誌の付録抽選会」

2/25 「小・中学生の読書感想文コンクール表彰式」

3/15～4/16 「本と雑誌のリサイクル市」

3/18 ◇郷土文化講座「日本古来の製鉄法 たたらを学ぶ」（室蘭登別たたら会）

○毎月 「こども映画会」「名画鑑賞会」「えほんのへやのおはなし会」「デジタル分館のおはなし会」

○新規事業 ①3階を参考資料室として整備した。（旧温泉配本所の書架、並びに寄附を活用し書架等を購入し、3階を参考資料室として整備した。これにより狭隘の解消と環境改善を図った。）

②登別市観光交流センター「ヌプル」開館に伴い、登別配本所を同施設に移転した。

<b>評 価</b>	長年の懸案である施設狭隘による資料の飽和について改善に取り組んだ。市民の寄附を活用して書架やカウンターを購入し、3階を参考資料室として整備した。これにより登別市の行政資料や郷土資料、辞事典などの参考資料、古書など「アイヌ関連収集事業」によって購入した資料のコーナーを3階に開設することができた。また3階にカウンターを設置したことで職員が常駐できるようになり、利用者のレファレンス（資料相談）に対応できる体制が構築できた。市民一人ひとりのニーズにしっかり対応できる質の高い図書館に向けて、資料・施設・サービスの向上に取り組んだ。
<b>今後の方向性</b>	図書館については、質の高い魅力ある図書館を目指して、資料の収集整備に努めるとともに、引き続き郷土資料のデジタル化に取り組むほか、子どもの読書環境の整備と施策の推進のため、「第4次登別市子ども読書活動推進計画」を策定していく。

### 3 重点施策の評定結果

	項目	点検内容	R3 評定	R4 評定
1	地域とともに にある学校 づくり	本市においては、これまでも地域と学校が連携・協働して、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支え、地域づくりを進める地域学校協働活動に対し、様々な学校支援を進めてきた。 今後も、地域学校協働本部を通して、幅広い地域の方々の参画により、創意ある体験活動や交流活動が展開される環境づくりに取り組んでいく。	B	B
2	小中一貫教育  幼保小連携	幼保小中連携については、円滑な学校間連携や接続を実現するために、相互参観や教職員・子どもの交流を継続するとともに、スタートカリキュラムの改善など、発達段階や学びの連続性を踏まえた活動の充実に努める。 また、「登別市小中一貫教育基本方針」に基づき、小中学校9年間を見通した学習指導や生徒指導の充実に図るとともに、「中1ギャップ問題未然防止事業」を推進し、実践校の成果を市内小中学校に還元していく。	B	A
3	確かな学力 の向上  学校図書館	確かな学力の向上については、各学校における検証と改善のサイクルに基づく学習上の課題について、登別市教育課程課題検討委員会で共有するとともに、学習指導要領が示す「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を促していく。 また、学校図書館については、学校司書の活用により、環境整備や授業支援、読書支援を通して、機能の充実に図っていく。	A	B
4	英語教育	英語教育については、外国語専科教員や外国語指導助手を効果的に活用しながら、児童生徒の「聞く・話す・読む・書く」など、バランスのとれた英語力と積極的にコミュニケーションを図ろうとする資質・能力を育むとともに、生きた英語に触れる機会の拡充に努める。	A	A
5	教職員の指 導力の向上  働き方改革	教員の指導力の向上については、登別市教育実践研究奨励校や登別市教育研究会の活動を支援するとともに、授業力向上を目指した研修を充実させるなど、対面での指導とICTを効果的に活用した指導の最適な組み合わせにより「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現を図っていく。 また、校務支援システムの効果的な活用や道教委の指定を受けた「学校力向上に関する総合実践事業」の成果をもとに、業務改善や効率化を図り、教職員が子どもと向き合う時間をさらに確保できるよう努める。	B	A
6	ICTの活 用	ICTを活用した学びの充実にについては、GIGAスクール構想に基づき「1人1台端末」の整備を完了したので、登別市情報教育推進協議会と連携し、児童生徒の情報活用能力を育成するとともに、学校や家庭においてオンライン上で学習できる「文部科学省CBTシステム」を導入するなど、誰一人取り残すことなく学びを止めない環境を整備していく。	A	A
7	豊かな心の 育成  キャリア教 育	豊かな心の育成については、教育活動全般を通して、自尊感情や自己有用感を育むとともに、児童生徒に寄り添った授業を通して、誰もが自己の成長を実感し、達成感がもてるよう、取り組む。 また、ふるさとを愛し、登別の歴史・文化・自然に誇りをもてるよう、地域資源を生かした体験活動やキャリア教育の充実に努める。	A	B

8	いじめ・不登校対策	<p>いじめ・不登校対策については、「いじめ・不登校等対策会議」での事例研修や情報交流を通して、問題の未然防止や早期発見・早期対応に努めるとともに、スクールカウンセラーの配置拡充や各種相談体制の充実、さらには適応指導教室の充実などにより、個に応じた指導が適切に実施されるよう努める。</p> <p>特に、「鬼っ子フォーラム」の開催や「ピンクシャツデー」への参画を通して、児童生徒がいじめ問題を主体的に考え、各校の児童会・生徒会活動の成果と課題を共有する機会を設けるなど、引き続き「みんなが通いたくなる学校づくり」の取組を推進する。</p>	A	A
9	安全対策	<p>安全対策・安全指導については、学校が実施する避難訓練や一日防災教室などを通して、災害等が発生した場合に児童生徒自らが適切に対応することができるよう支援する。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症対策については、国や北海道の通知に準拠して本市が作成した基本対応マニュアル等に基づき、登別市校長会と協議の上、感染状況に対応しながら、感染症の拡大防止と円滑な教育活動の両立に努める。</p>	A	A
10	体力の向上	<p>健康・体力づくりについては、社会環境や生活様式の変化、コロナ禍の影響などもあり、児童生徒の運動機会の減少や体力の低下が生じているので、スポーツ指導員の派遣などを通して、学校における体育指導の充実や運動の習慣化を図る。</p> <p>また、「ノーゲームデー」の啓発や「登別市ケータイ・スマホ3つのルール」の周知徹底を通して、家庭における規則正しい生活習慣の定着を促していく。</p>	A	A
11	学校の適正配置	<p>幌別東小学校区においては、令和7年4月に予定される幌別小学校との統合に向けて、両校関係者の参加により新たに学校統合委員会を設置し、統合に向けた環境整備に関し具体的な検討を進める。</p> <p>また、登別中学校区においては、引き続き地区別検討委員会における議論の経過を見守り、その動向等も踏まえ、概ね本年度中には、幌別中学校との統合に関し一定の方向性を決定する。</p>	A	A
12	特別支援教育	<p>特別支援教育については、登別市教育支援委員会などによる教育相談の充実や関係機関との連携により、特別な支援や合理的な配慮を必要とする児童生徒が幼児期から一貫した支援を受けられるよう、体制の整備に努める。</p>	A	A
13	社会教育	<p>市民一人ひとりが生きがいを持ち、自分らしさを追い求めることができる生涯学習社会の実現に向け、「第6次社会教育中期計画」に基づき、各種施策に取り組む。</p>	A	A
14	ふるさと学習	<p>ふるさと教育については、将来においても、市民が郷土への愛着と関心を深めながら心豊かに暮らしていくことができるよう、郷土資料館において本市のあゆみを形づくる歴史資料の保存・展示に努める。</p> <p>また、アイヌ文化の振興については、本年、『アイヌ神謡集』の作者であり、本市を生誕の地とする知里幸恵の没後100年を迎えることを機に、知里幸恵の生涯を描いた一人芝居の鑑賞会を開催するとともに、(仮称)登別市情報発信拠点施設「ヌブル」において、知里家に関連する資料の展示を企画する。</p> <p>さらに、NPO法人知里森舎が取り組むフォーラム等の各種事業を支援するなど、登別に縁のあるアイヌ文化への関心が高まるよう努める。</p>	A	A
15	家庭教育	<p>家庭教育については、家庭教育学級を開設し、子育てに関する啓発資料の提供や学習機会の充実とともに、保護者同士の交流や親子の時間の確保が図られるよう努める。</p>	A	A

16	青少年の健全育成	<p>青少年の健全育成については、青少年センターを中心に、学校・家庭・地域・関係機関と連携し、街頭指導や巡回指導などに取り組み、子どもの非行防止と登下校時の安全確保に努める。</p> <p>また、不審者情報を地域と共有し、監視と巡回パトロールを実施するとともに、「子ども110番スタディちゃんの家」を活用し、子どもが不審者と遭遇した場合に備える「駆け込み訓練」を実施する。</p>	A	A
17	文化・スポーツの振興	<p>文化・スポーツの振興については、登別市文化・スポーツ振興財団や各関係団体と連携し、市民の文化・スポーツ活動への参加促進と文化講座、各種スポーツ教室の充実を図っていく。</p> <p>また、少子化やスポーツ人口の減少が進む中、国の「地域運動部活動推進事業」を活用し、休日部活動の段階的な地域移行に関する実践研究を推進するとともに、本市の実情に沿った望ましいスポーツ環境の構築を目指していく。</p> <p>さらに、トップアスリートと触れ合いながら、さまざまな種目のスポーツを体験する「SOMPO(ソンポ)ボールゲームフェスタ」を開催する。</p>	B	A
18	学校給食	<p>学校給食については、衛生管理の徹底を図り、安全で安心な給食を提供するとともに、郷土を実感できる食材を取り入れ、ふるさとへの愛着が深まる献立の提供に努める。</p>	A	A
19	図書館	<p>図書館については、市民活動サポーターとの協働により、郷土資料のデジタル化を進めるとともに、電子図書館を広く市民へ周知し利用の促進に努めるなど、市民一人ひとりが自己実現に向けて、豊かな時間を過ごすことができる図書館を目指す。</p>	A	B

#### IV 点検・評価に関する学識経験者の意見等

- 地域とともにある学校づくり  
評価内容「学校と地域が連携・協働」について、評価の指標として学校運営協議会や土曜授業の回数を取り上げているが、回数よりも内容を評価の方が適切ではないだろうか。また、コーディネーターは、学校と地域の架け橋の役割であり、学校支援をどのように進めていくかに苦慮していると感じる。これまでの9年間の蓄積として、マニュアル化していくとか、より一層、地域で子どもを育てる環境をつくるような支援の充実をお願いしたい。
- 確かな学力の向上 学校図書館  
算数・数学に課題があることがわかったが、キャリア教育との関連で考えても、算数・数学の基礎的な力や活用能力は重要であると考えるので、学力向上に向けた取組を継続してほしい。  
コロナの影響もあると思うが、今の子どもたちは自然に親しむとか、自然にふれあう機会が少ないと感じる。学校では、できるだけ子どもたちに体験を通して、学びを身に付けるように進めてほしい。
- 教職員の指導力の向上 働き方改革  
学校の働き方改革を進めていると思うが、教職員が生き生きと働くためにも教職員の心身のケアが必要であると感じる。また、教員志願者が減少している状況が進んでいるので、教職員の余裕のある勤務体制の構築に努めてほしい。
- ICTの活用  
児童生徒の情報活用能力を育成するためにも、ICTを活用して学校や家庭においてオンライン上で学習できる機会を多く設定して、更なる推進をお願いしたい。
- 豊かな心の育成 キャリア教育  
児童生徒の心を育てる意味でも、体験活動は重要であると考え。地域資源を生かした体験活動となると、キウシト湿原とフォレスト鉦山の2つになるが、文化的な面では郷土資料館も含めて学習することもできる。また、評価の指標に関しては、検討すべきと感じる。
- いじめ・不登校対策  
ヤングケアラーの実態をきちんと把握するべきである。相談体制の充実の評価の指標については、年間相談件数が多い方が評価が高くなっているが、実は少ない方が良いのではと感じるので、評価の指標を改善するべきと考える。
- 安全対策  
小中学校の合同避難訓練の実施だけを評価するのではなく、各校の単独の避難訓練も効果的な取組と捉えて評価すべきである。

- 体力の向上  
全国体力調査において、市内小中学生は握力が全国平均よりも下回っているようだが、原因の一つとして家庭での役割や仕事をしていないこともあると考える。
- ふるさと学習  
評価内容の郷土への愛着と関心については、今後も児童生徒数は減少していく傾向だと思うので、参加人数で評価するのは的確ではないと感じる。また、歴史資料の保存・展示数についても、評価の指標を検討すべきである。
- ICTの活用  
児童生徒の情報活用能力を育成するためにも、ICTを活用して学校や家庭においてオンライン上で学習できる機会を多く設定して、更なる推進をお願いしたい。
- 青少年の健全育成  
スケートボードは、道路でやっていたら危険な行為ではあるが、公園などスケートボードができる場を提供していくことも考えてほしい。
- 図書館  
評価内容の郷土資料のデジタル化については、利用率や利用数にした方が良いと考える。電子図書館や郷土資料も利用しやすく工夫されていると感じるので、今後も継続して市民にPRしてもらいたい。

## V 評価のまとめ

令和4年度の登別市教育委員会の重点施策として、点検・評価で取り上げた19項目の評価結果は、

A：達成しているもの・・・・・・・・・・・・・・・・	15項目
B：おおむね達成しているもの・・・・・・・・	4項目
C：おおむね達成しているものの一部課題があるもの・・・・	0項目
D：達成に向け困難な課題があるもの・・・・・・・・	0項目

であり、教育行政執行方針に沿っておおむね適切な教育行政の執行がなされたと考えております。今後も、この点検・評価の効果を高めるために、各種基本計画の内容を再確認するとともに、目標に向かってより多くの具体的な改善策が提示されるようにしなければならぬと考えております。また、PDCA（計画・実行・確認・改善）のマネジメントサイクルを生かしたシステムづくりに心がけ、登別市の教育行政の推進に役立ててまいります。

## VI 参考資料

### 1 令和4年度 教育行政執行方針

令和4年第1回登別市議会定例会にあたり、教育委員会所管の行政執行に関する基本方針を申し上げます。

近年、少子高齢化やグローバル化、デジタル化の進展、さらには新型コロナウイルス感染症の感染拡大などによって、人々の価値観や生活様式が大きく変わり、従来の知識や経験だけでは解を見いだすことが難しい時代となりました。

こうした先行き不透明な時代において、子どもたちが豊かな人生を切り拓いていくためには、一人ひとりが自分のよさや可能性を認識し、多様な人々と協働しながら、持続可能な社会の創り手として成長していくことが必要であります。

教育委員会としましては、「登別市教育振興基本計画」に掲げる「豊かな心を持ち、たくましく生きる人間の育成」を目指し、学校・家庭・地域が一体となって、新しい時代にふさわしい質の高い教育の推進に努めてまいります。

以下、令和4年度の重点項目について申し上げます。

はじめに地域とともにある学校づくりについてであります。

本市においては、これまでも地域と学校が連携・協働して、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支え、地域づくりを進める地域学校協働活動に対し、様々な学校支援を進めてまいりました。

今後も、地域学校協働本部を通して、幅広い地域の方々の参画により、創意ある体験活動や交流活動が展開される環境づくりに取り組んでまいります。

次に学校教育についてであります。

I C Tを活用した学びの充実については、G I G Aスクール構想に基づき「1人1台端末」の整備を完了しましたので、登別市情報教育推進協議会と連携し、児童生徒の情報活用能力を育成するとともに、学校や家庭においてオンライン上で学習できる「文部科学省C B Tシステム」を導入するなど、誰一人取り残すことなく、学びを止めない環境を整備してまいります。

教員の指導力の向上については、登別市教育実践研究奨励校や登別市教育研究会の活動を支援するとともに、授業力向上を目指した研修を充実させるなど、対面での指導とI C Tを効果的に活用した指導の最適な組み合わせにより「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現を図ってまいります。

また、校務支援システムの効果的な活用や道教委の指定を受けた「学校力向上に関する総合実践事業」の成果をもとに、業務改善や効率化を図り、教職員が子どもと向き合う時間をさらに確保できるよう、努めてまいります。

確かな学力の向上については、各学校における検証と改善のサイクルに基づく学習上の課題について、登別市教育課程課題検討委員会で共有するとともに、学習指導要領が示す「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を促してまいります。

また、学校図書館については、学校司書の活用により、環境整備や授業支援、読書支援を通して、機能の充実を図ってまいります。

英語教育については、外国語専科教員や外国語指導助手を効果的に活用しながら、児童生徒の「聞く・話す・読む・書く」など、バランスのとれた英語力と積極的にコミュニケーションを図ろうとする資質・能力を育むとともに、生きた英語に触れる機会の拡充に努めてまいります。

幼保小中連携については、円滑な学校間連携や接続を実現するために、相互参観や教職員・子どもの交流を継続するとともに、スタートカリキュラムの改善など、発達段階や学びの連続性を踏まえた活動の充実に努めてまいります。

また、「登別市小中一貫教育基本方針」に基づき、小中学校9年間を見通した学習指導や生徒指導の充実を図るとともに、「中1ギャップ問題未然防止事業」を推進し、実践校の成果を市内小中学校に還元してまいります。

豊かな心の育成については、教育活動全般を通して、自尊感情や自己有用感を育むとともに、児童生徒に寄り添った授業を通して、誰もが自己の成長を実感し、達成感がもてるよう、取り組んでまいります。

また、ふるさとを愛し、登別の歴史・文化・自然に誇りをもてるよう、地域資源を生かした体験活動やキャリア教育の充実に努めてまいります。

いじめ・不登校対策については、「いじめ・不登校等対策会議」での事例研修や情報交流を通して、問題の未然防止や早期発見・早期対応に努めるとともに、スクールカウンセラーの配置拡充や各種相談体制の充実、さらには適応指導教室の充実などにより、個に応じた指導が適切に実施されるよう、努めてまいります。

特に、「鬼っ子フォーラム」の開催や「ピンクシャツデー」への参画を通して、児童生徒がいじめ問題を主体的に考え、各校の児童会・生徒会活動の成果と課題を共有する機会を設けるなど、引き続き「みんなが通いたくなる学校づくり」の取組を推進してまいります。

健康・体力づくりについては、社会環境や生活様式の変化、コロナ禍の影響などもあり、児童生徒の運動機会の減少や体力の低下が生じておりますので、スポーツ指導員の派遣などを通して、学校における体育指導の充実や運動の習慣化を図ってまいります。

また、「ノーゲームデー」の啓発や「登別市ケータイ・スマホ3つのルール」の周知徹底を通して、家庭における規則正しい生活習慣の定着を促してまいります。

特別支援教育については、登別市教育支援委員会などによる教育相談の充実や関係機関との連携により、特別な支援や合理的な配慮を必要とする児童生徒が幼児期から一貫した支援を受けられるよう、体制の整備に努めてまいります。

安全対策・安全指導については、学校が実施する避難訓練や一日防災教室などを通して、災害等が発生した場合に児童生徒自らが適切に対応することができるよう支援してまいります。

また、新型コロナウイルス感染症対策については、国や北海道の通知に準拠して本市が作成した基本対応マニュアル等に基づき、登別市校長会と協議の上、感染状況に対応しながら、感染症の拡大防止と円滑な教育活動の両立に努めてまいります。

学校の適正配置については、新たに策定した「登別市小中学校の適正規模・適正配置の指針～将来における小中学校のグランドデザイン～」に基づき、現在、第1期の課題について検討しておりますが、このうち幌別東小学校については、令和7年4月に、幌別小学校と統合を行う方向で具体的な取組を進めてまいります。

次に社会教育についてであります。

市民一人ひとりが生きがいを持ち、自分らしさを追い求めることができる生涯学習社会の実現に向け、「第6次社会教育中期計画」に基づき、各種施策に取り組んでまいります。

ふるさと教育については、将来においても、市民が郷土への愛着と関心を深めながら心豊かに暮らしていくことができるよう、郷土資料館において本市のあゆみを形づくる歴史資料の保存・展示に努めてまいります。

また、アイヌ文化の振興については、本年、『アイヌ神謡集』の作者であり、本市を生誕の地とする知里幸恵の没後100年を迎えることを機に、知里幸恵の生涯を描いた一人芝居の鑑賞会を開催するとともに、(仮称)登別市情報発信拠点施設「ヌプル」において、知里家に関連する資料の展示を企画してまいります。

さらに、NPO法人知(ち)里(り)森(しん)舎(しゃ)が取り組むフォーラム等の各種事業を支援するなど、登別に縁のあるアイヌ文化への関心が高まるよう、努めてまいります。

文化・スポーツの振興については、登別市文化・スポーツ振興財団や各関係団体と連携し、市民の文化・スポーツ活動への参加促進と文化講座、各種スポーツ教室の充実を図ってまいります。

また、少子化やスポーツ人口の減少が進む中、国の「地域運動部活動推進事業」を活用し、休日部活動の段階的な地域移行に関する実践研究を推進するとともに、本市の実情に沿った望ましいスポーツ環境の構築を目指してまいります。

さらに、トップアスリートと触れ合いながら、さまざまな種目のスポーツを体験する「SOMPO(ソンプ)ボールゲームフェスタ」を開催いたします。

家庭教育については、家庭教育学級を開設し、子育てに関する啓発資料の提供や学習機会の充実とともに、保護者同士の交流や親子の時間の確保が図られるよう、努めてまいります。

青少年の健全育成については、青少年センターを中心に、学校・家庭・地域・関係機関と連携し、街頭指導や巡回指導などに取り組み、子どもの非行防止と登下校時の安全確保に努めてまいります。

また、不審者情報を地域と共有し、監視と巡回パトロールを実施するとともに、「こども110番スタディちゃんの家」を活用し、子どもが不審者と遭遇した場合に備える「駆け込み訓練」を実施してまいります。

学校給食については、衛生管理の徹底を図り、安全で安心な給食を提供するとともに、郷土を実感できる食材を取り入れ、ふるさとへの愛着が深まる献立の提供に努めてまいります。

図書館については、市民活動サポーターとの協働により、郷土資料のデジタル化を進めるとともに、電子図書館を広く市民へ周知し利用の促進に努めるなど、市民一人ひとりが自己実現に向けて、豊かな時間を過ごすことができる図書館を目指してまいります。

以上、令和4年度の重点項目について申し上げます。

教育委員会としましては、市長部局との連携を深めながら、持続可能な社会を目指すSDGsの理念を踏まえ、市民誰もが多様な学びを实践できるよう、包摂的かつ公正な質の高い教育を推進してまいります。

市民の皆さん並びに議会議員の皆さんのご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

## 教育に関する具体的な計画とその点検・評価の流れ

